

令和7年度  
若年層における仕事と育児の両立に関する意識調査  
(確報)

厚生労働省 <sup>トモイク</sup> 共育プロジェクト

---

2026年3月



# 調查概要

## 調査目的

- 今年度事業の核でもある共働き・共育てに関する若年層の意識を把握する。
- 若年層の育休やワークライフバランスへの意向を明らかにする。
- 学生時代と社会人になってからの意識の変化についても調査を行う。

## 調査手法

WEBによる定量調査

## 対象者条件

全国 15-30歳男女 高校生・大学生など及び若手社会人

## 回答数

13,709人(この調査は、性年代別等人口に合わせたウェイトバック集計を行っています。)

## 調査実施日

2025年6月21日(土) ～ 2025年6月30日(月)

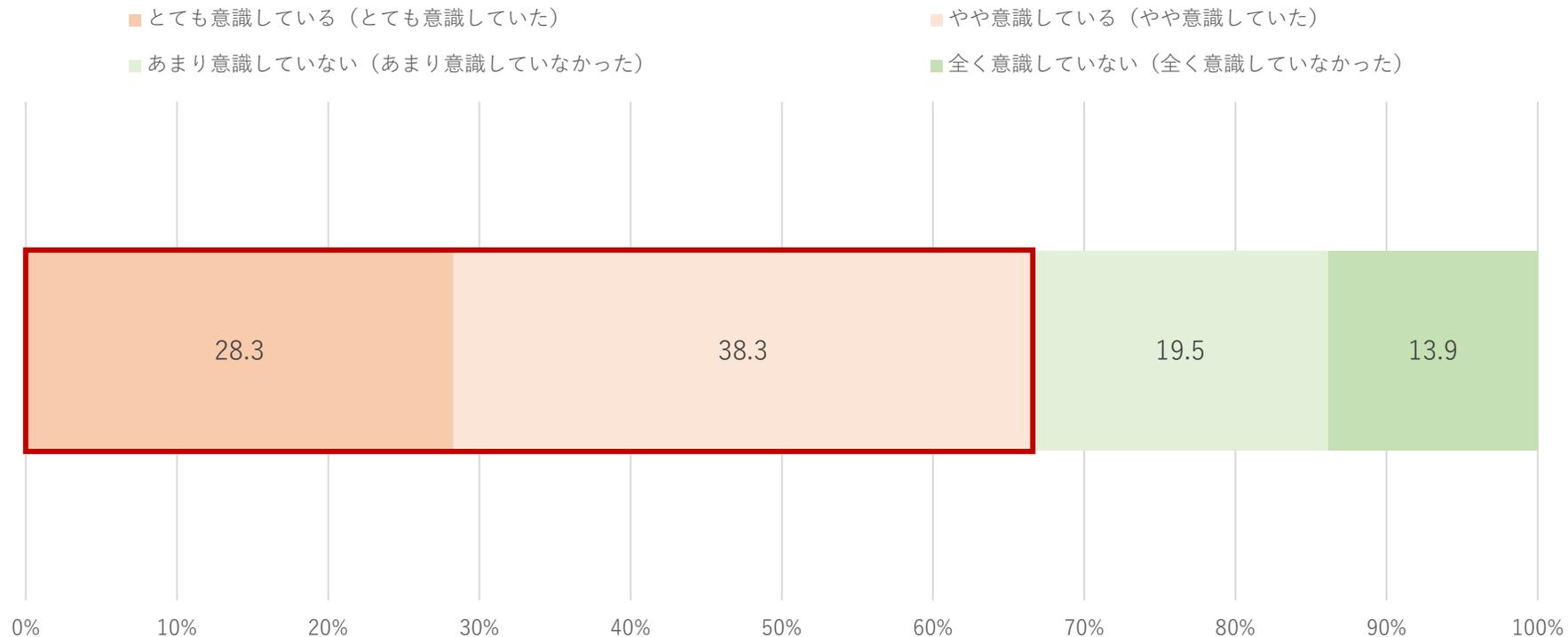
## 分析軸

各設問、「全体」「男女別」「学生/社会人別」で分析を実施  
※P63以降の社会人調査における各設問は「全体」「男女別」のみ

# 学生 + 社会人調査

仕事とプライベートの両立を意識している若年層は66.6%。

■あなたは、新卒で入社する会社を選ぶ際に、将来の仕事（キャリア）とプライベートの両立を意識していますか（意識していましたか）。

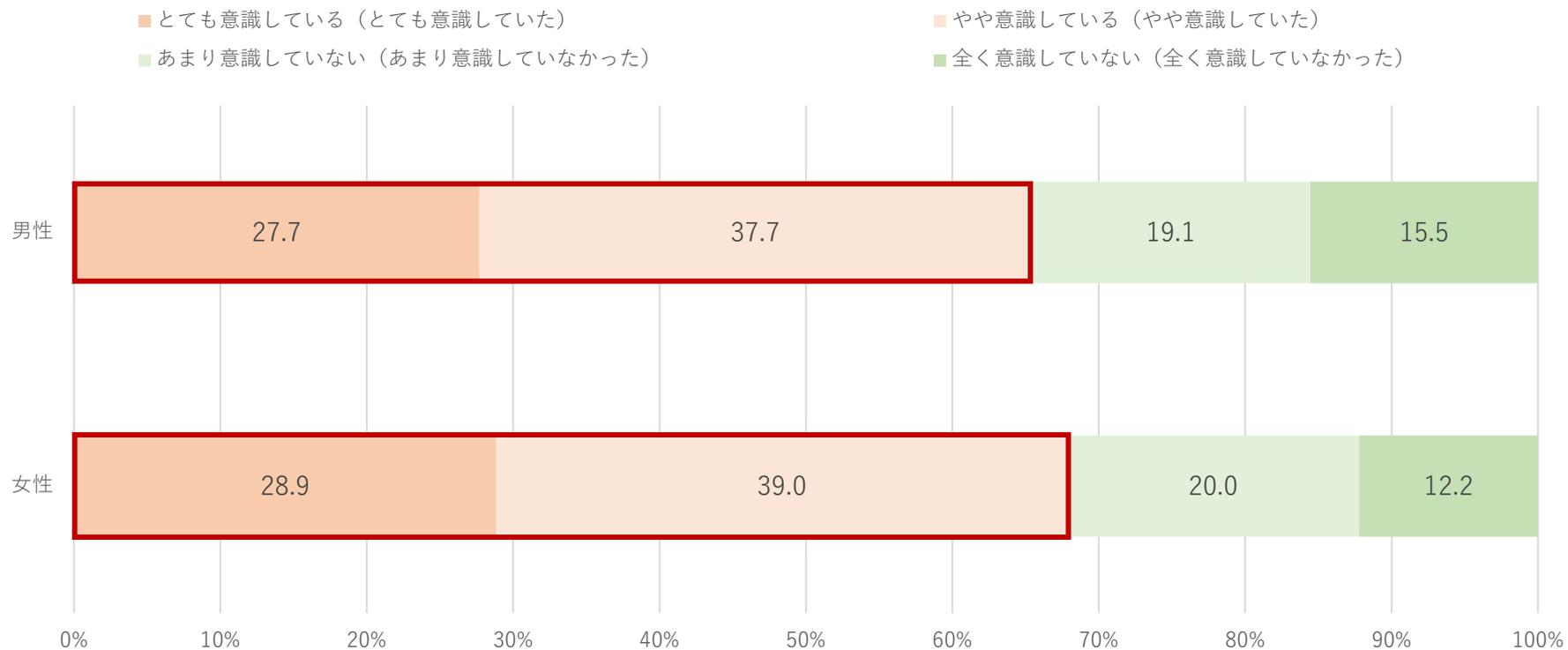


とても意識している  
+  
やや意識している

66.6%

仕事とプライベートの両立を意識している男性は65.4%、女性は67.9%。

■あなたは、新卒で入社する会社を選ぶ際に、将来の仕事（キャリア）とプライベートの両立を意識していますか（意識していましたか）。



とても意識している  
+  
やや意識している

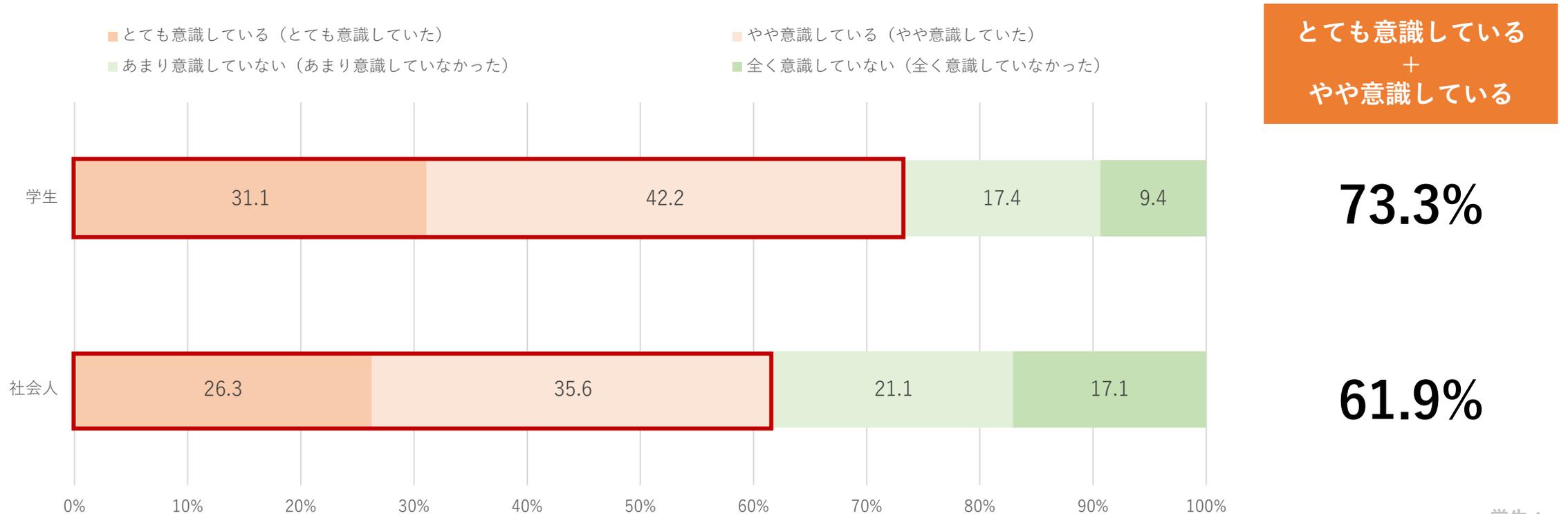
65.4%

67.9%

男性：  
N = 5,520  
女性：  
N = 8,189

仕事とプライベートの両立を意識している学生は73.3%、社会人は61.9%。

■あなたは、新卒で入社する会社を選ぶ際に、将来の仕事（キャリア）とプライベートの両立を意識していますか（意識していましたか）。

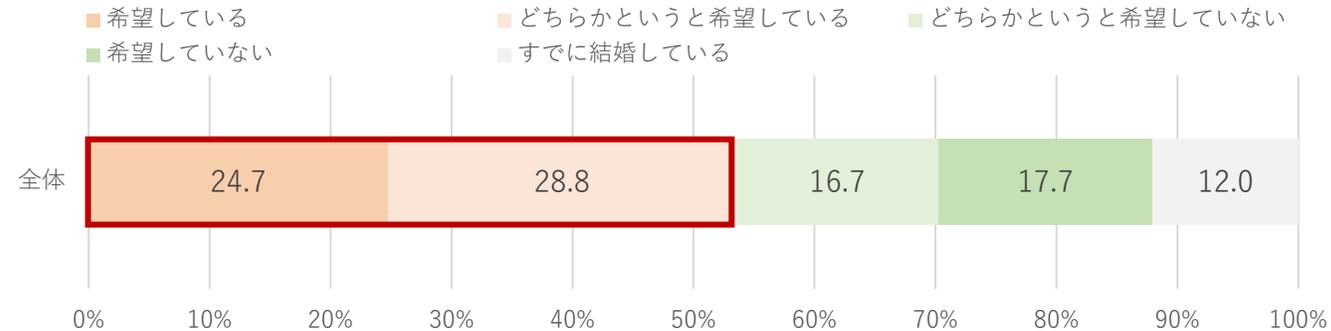


学生：  
N = 5,359  
社会人：  
N = 8,350

結婚することを希望している若年層は53.5%。  
子どもを授かることを希望している若年層は51.3%。

■あなたは、将来結婚したい、または子どもがほしいと思いますか。  
希望としてあてはまるものをそれぞれお選びください。

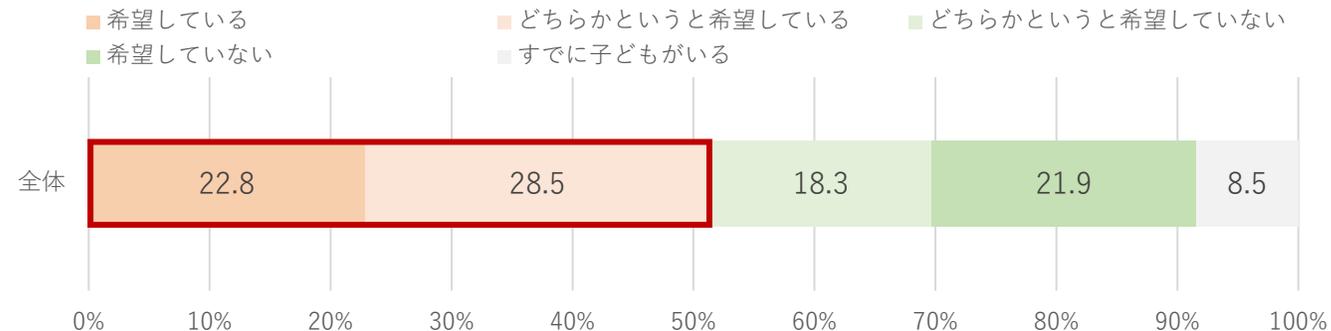
### 結婚することへの希望



希望している  
+どちらかという  
希望している

53.5%

### 子どもを授かることへの希望

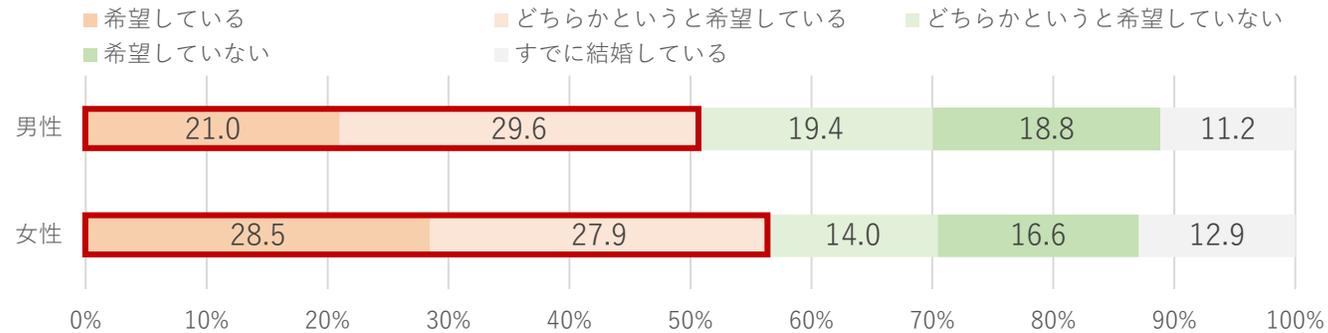


51.3%

結婚することを希望している男性は50.6%、女性は56.4%。  
子どもを授かることを希望している男性は50.1%、女性は52.7%。

■あなたは、将来結婚したい、または子どもがほしいと思いますか。  
希望としてあてはまるものをそれぞれお選びください。

### 結婚することへの希望

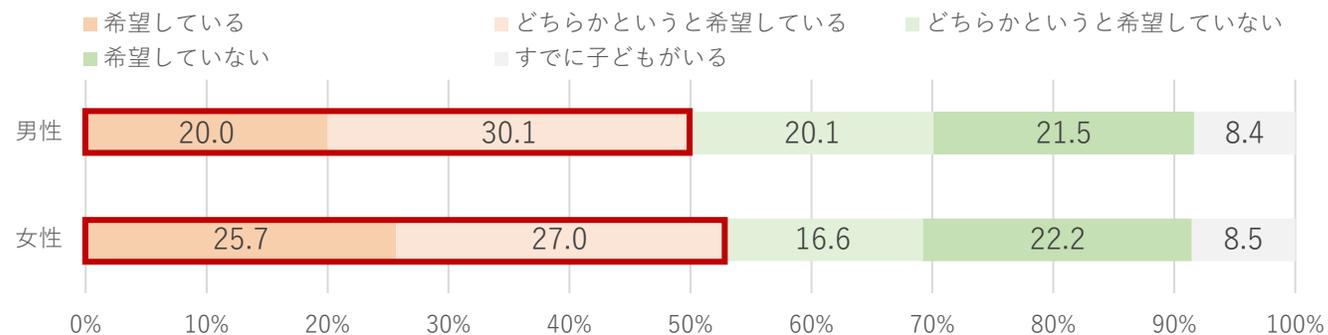


希望している  
+どちらかという  
希望している

50.6%

56.4%

### 子どもを授かることへの希望



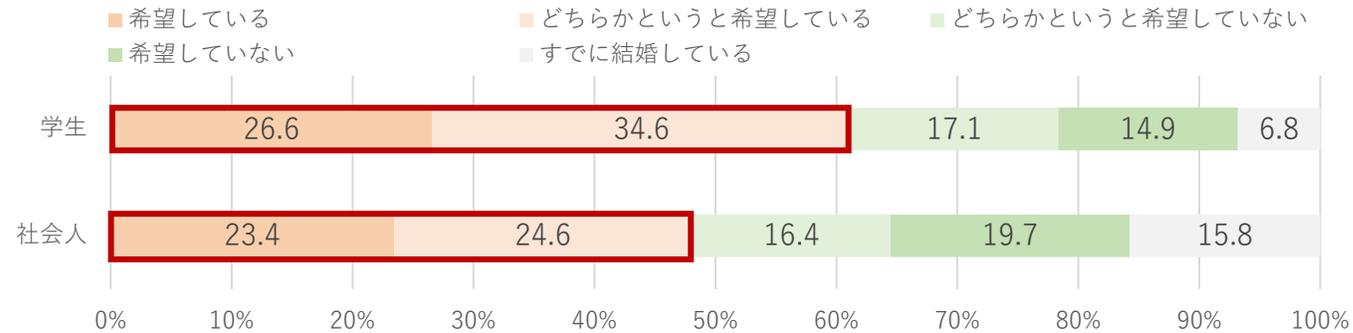
50.1%

52.7%

結婚することを希望している学生は61.2%、社会人は48.0%。  
子どもを授かることを希望している学生は55.5%、社会人は48.4%。

■あなたは、将来結婚したい、または子どもがほしいと思いますか。  
希望としてあてはまるものをそれぞれお選びください。

### 結婚することへの希望

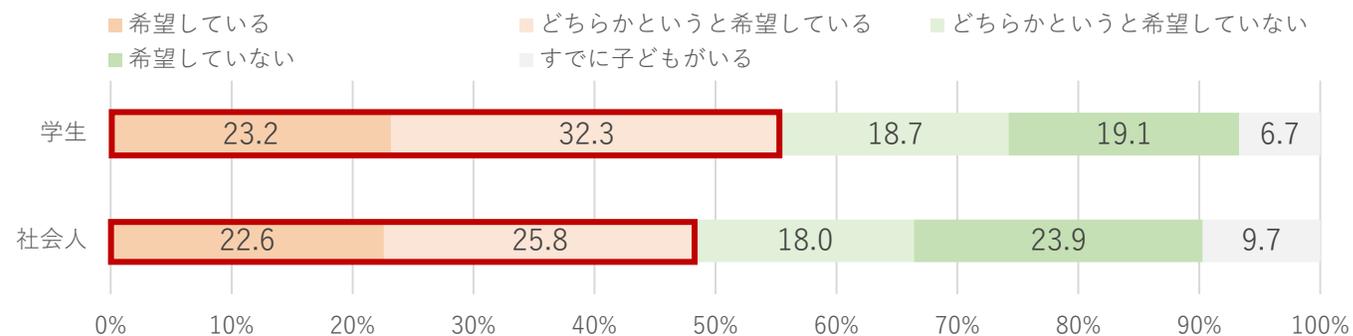


希望している  
+どちらかという  
希望している

61.2%

48.0%

### 子どもを授かることへの希望



55.5%

48.4%

仕事に熱心に取り組んでいる（取り組むつもり）若年層は71.9%。  
 仕事以外の生活を大事にしている（大事にするつもり）若年層は76.4%。  
 仕事も育児も熱心に取り組んでいる（取り組むつもり）若年層は69.2%。  
 仕事と育児の両立に不安がある若年層は72.2%。

■ あなたの仕事や育児に対しての思いとして、それぞれどのように思いますか。

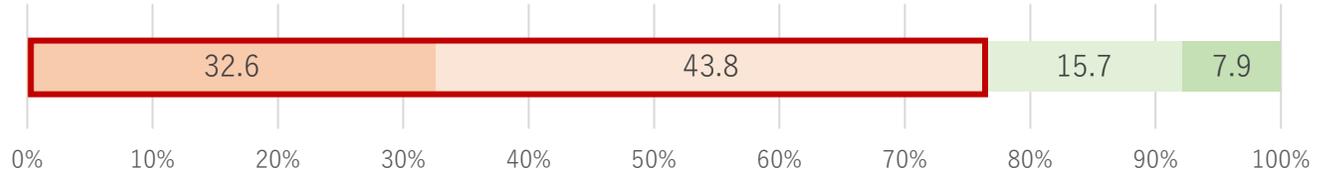
そう思う+  
どちらかという  
そう思う

私は、仕事に熱心  
取り組んでいる  
(取り組むつもりだ)



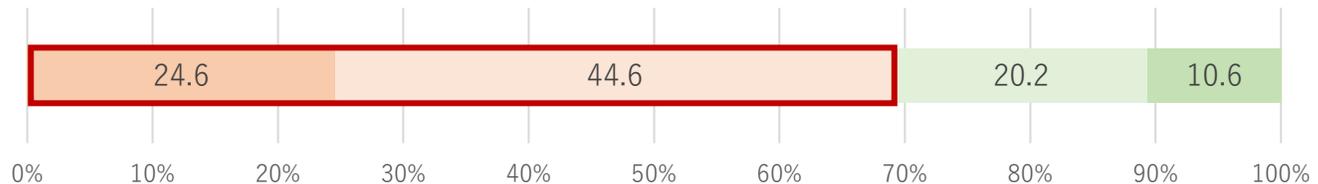
71.9%

私は、育児など、仕事以外の  
生活を大事にしている  
(大事にするつもりだ)



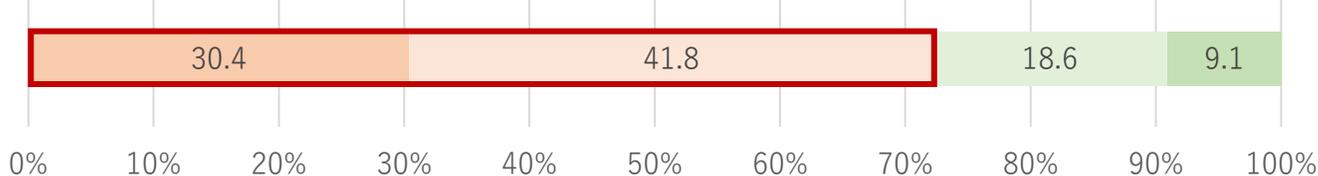
76.4%

私は、仕事も育児も  
熱心に取り組んでいる  
(取り組むつもりだ)



69.2%

私は、仕事と育児の両立に  
不安がある



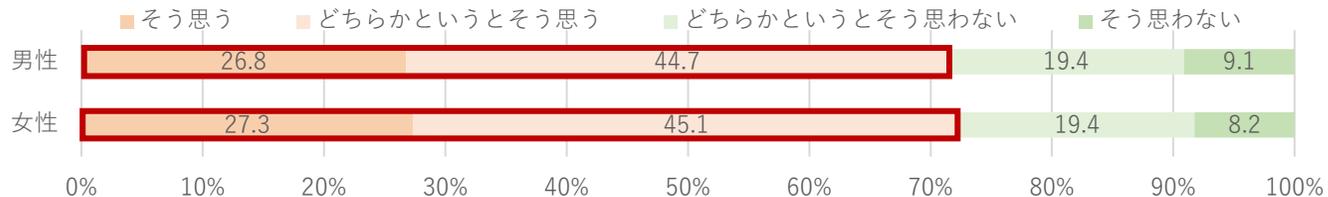
72.2%

仕事に熱心に取り組んでいる（取り組むつもり）男性は71.5%、女性は72.4%。  
 仕事以外の生活を大事にしている（大事にするつもり）男性は73.8%、女性は79.1%。  
 仕事も育児も熱心に取り組んでいる（取り組むつもり）男性は69.1%、女性は69.1%。  
 仕事と育児の両立に不安がある男性は67.1%、女性は77.4%。

■ あなたの仕事や育児に対しての想いとして、それぞれどのように思いますか。

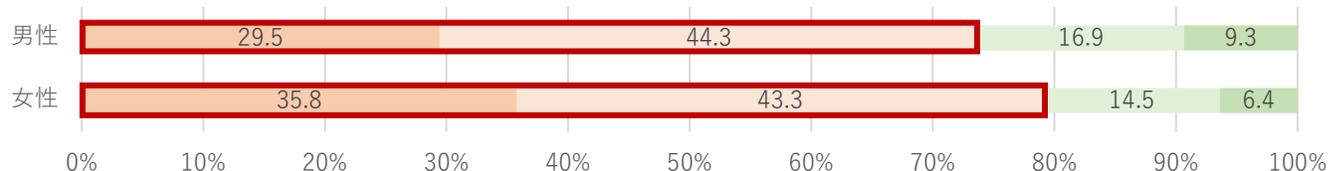
そう思う+  
どちらかという  
そう思う

私は、仕事に熱心に取り組んでいる  
(取り組むつもりだ)



71.5%  
72.4%

私は、育児など、仕事以外の生活を大事にしている  
(大事にするつもりだ)



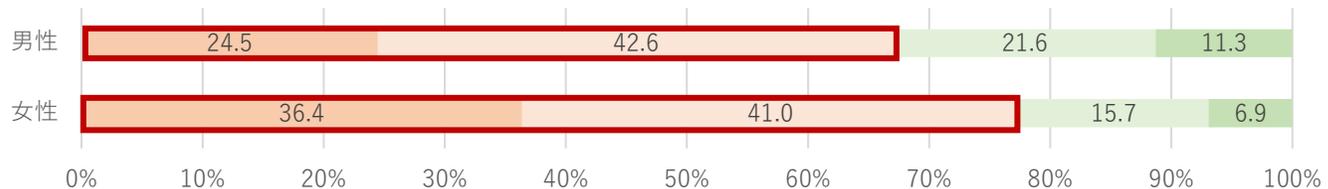
73.8%  
79.1%

私は、仕事も育児も熱心に取り組んでいる  
(取り組むつもりだ)



69.1%  
69.1%

私は、仕事と育児の両立に不安がある



67.1%  
77.4%

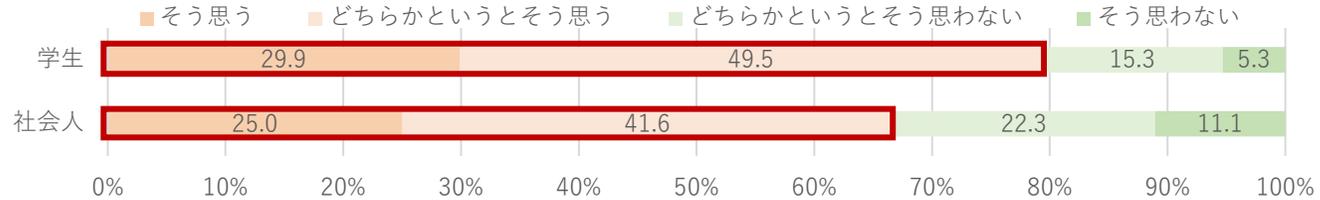
男性：  
N = 5,520  
女性：  
N = 8,189

仕事に熱心に取り組んでいる（取り組むつもりの）学生は79.4%、社会人は66.6%。  
 仕事以外の生活を大事にしている（大事にするつもりの）学生は79.3%、社会人は74.4%。  
 仕事も育児も熱心に取り組んでいる（取り組むつもりの）学生は75.1%、社会人は64.9%。  
 仕事と育児の両立に不安がある学生は73.1%、社会人は71.6%。

■ あなたの仕事や育児に対しての想いとして、それぞれどのように思いますか。

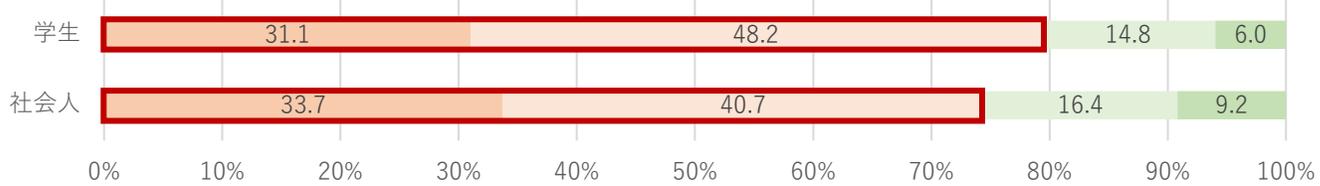
そう思う+  
どちらかという  
そう思う

私は、仕事に熱心に取り組んでいる  
(取り組むつもりだ)



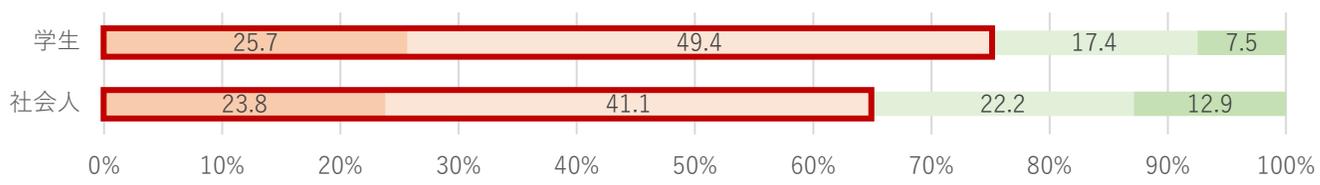
79.4%  
66.6%

私は、育児など、仕事以外の生活を大事にしている  
(大事にするつもりだ)



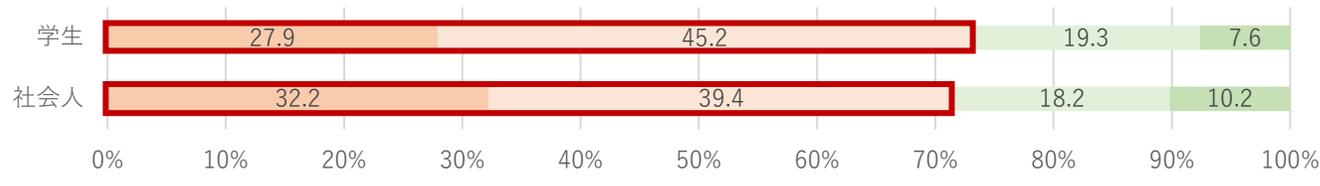
79.3%  
74.4%

私は、仕事も育児も熱心に取り組んでいる  
(取り組むつもりだ)



75.1%  
64.9%

私は、仕事と育児の両立に不安がある



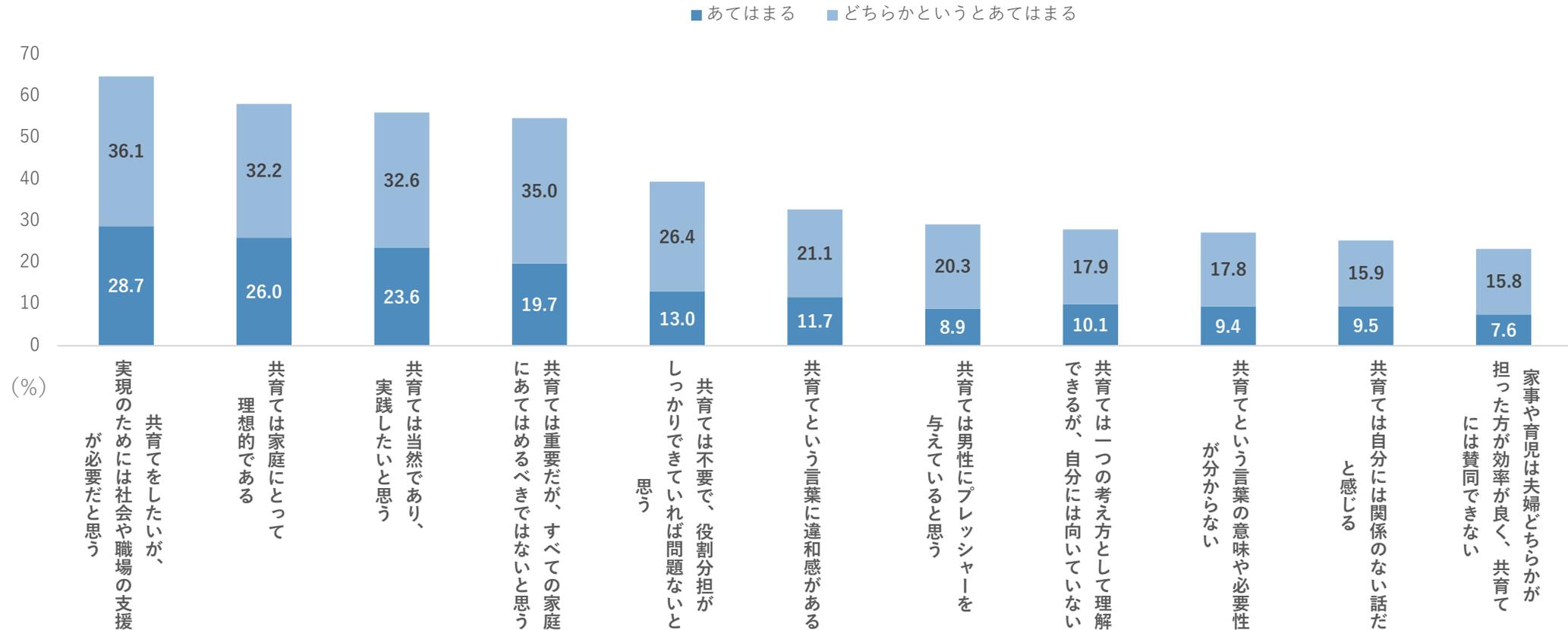
73.1%  
71.6%

学生：  
N = 5,359  
社会人：  
N = 8,350

「共育てをしたいが、実現のためには社会や職場の支援が必要だと思う」を選んだ割合が最も高く、次いで「共育ては家庭にとって理想的である」が高い。

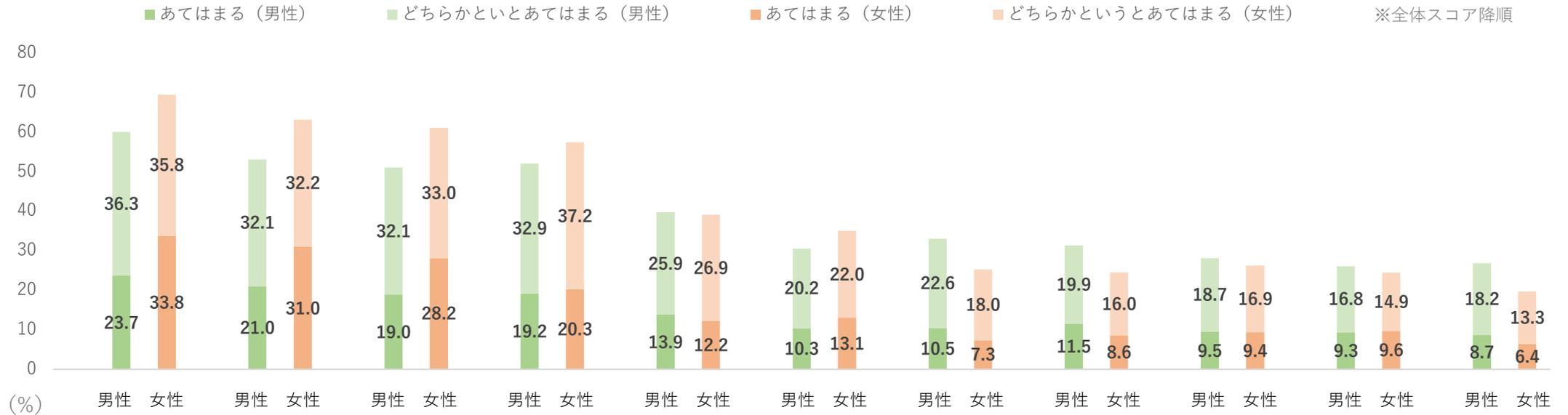
※「共育て」とは、パートナー同士が協力し合って、家事・育児に取り組むことをいいます。

■ 「共育て」について、あなたの考えに最も近いものをお選びください。



男女ともに、「共育てをしたいが、実現のためには社会や職場の支援が必要だと思ふ」を選んだ割合が最も高く、次いで「共育ては家庭にとって理想的である」が高い。

■ 「共育て」について、あなたの考えに最も近いものをお選びください。



共育てをしたいが、実現のためには社会や職場の支援が必要だと思ふ

共育ては家庭にとって理想的である

共育ては当然であり、実践したいと思ふ

共育ては重要だが、あてはめるべきではないと思ふ

共育ては不要で、役割分担がしっかりできていれば問題ないと思ふ

共育てという言葉に違和感がある

共育ては男性にプレッシャーを与えていると思ふ

共育ては一つの考え方として理解できるが、自分には向いていない

共育てという言葉の意味や必要性が分からない

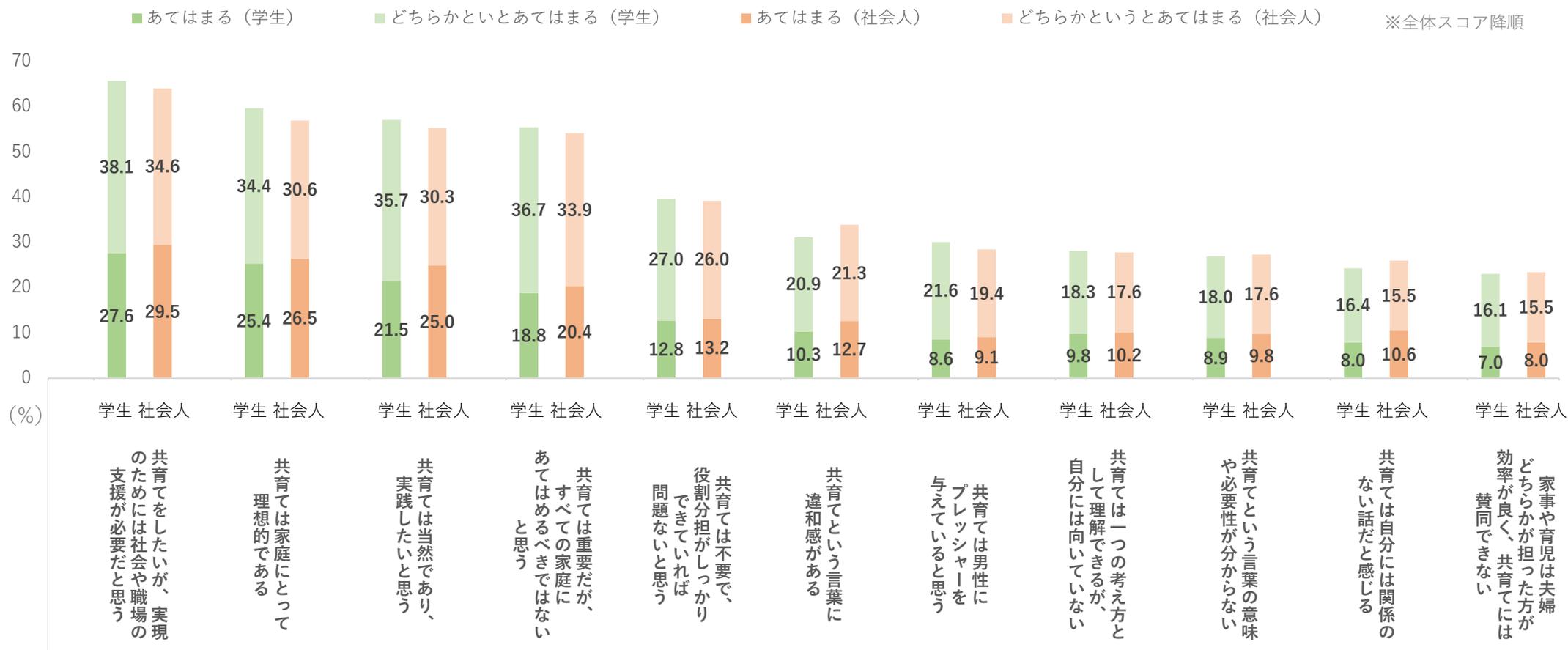
共育ては自分には関係のない話だと感じる

家事や育児は夫婦どちらかが担った方が効率が良く、共育てには賛同できない

男性：N = 5,520  
女性：N = 8,189

学生・社会人ともに、「共育てをしたいが、実現のためには社会や職場の支援が必要だと思う」を選んだ割合が最も高く、次いで「共育ては家庭にとって理想的である」が高い。

■ 「共育て」について、あなたの考えに最も近いものをお選びください。



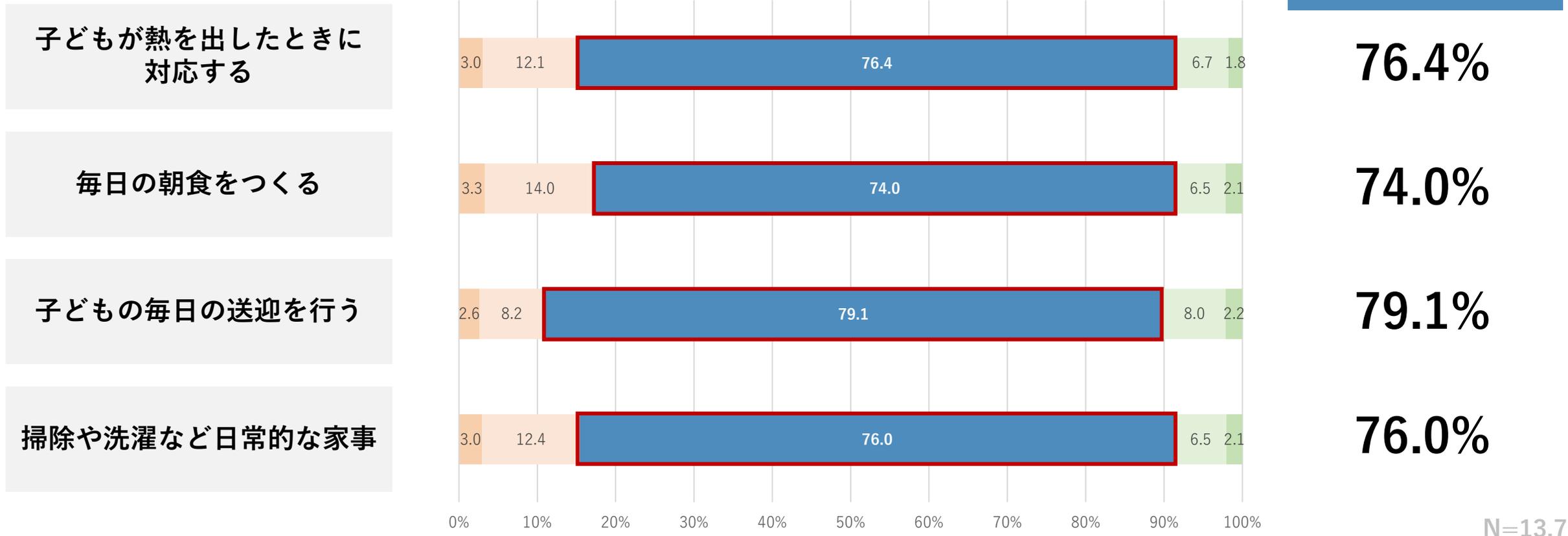
学生：N=5,359  
社会人：N=8,350

家事育児に関する項目について、7割以上が男女は関係ないと回答。

■ 以下の項目について、あなたは男性と女性のどちらが行うべきだと思いますか。

■ 女性が行うべき ■ どちらかというと女性が行うべき ■ 男女は関係ない ■ どちらかというと男性が行うべき ■ 男性が行うべき

男女は関係ない



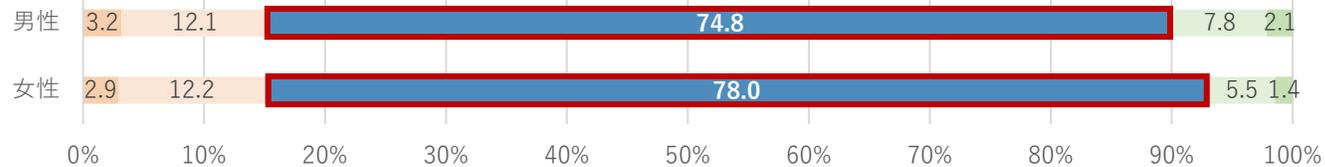
家事育児に関する項目について、  
男女別でみても7割以上が男女は関係ないと回答。

■ 以下の項目について、あなたは男性と女性のどちらが行うべきだと思いますか。

男女は関係ない

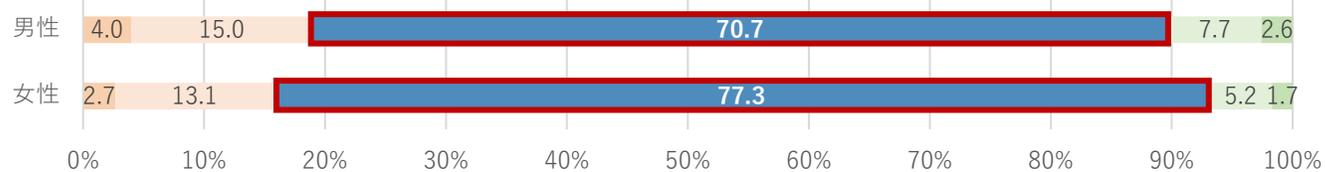
■ 女性が行うべき ■ どちらかというとな女性が行うべき ■ 男女は関係ない ■ どちらかというとな男性が行うべき ■ 男性が行うべき

子どもが熱を出したときに  
対応する



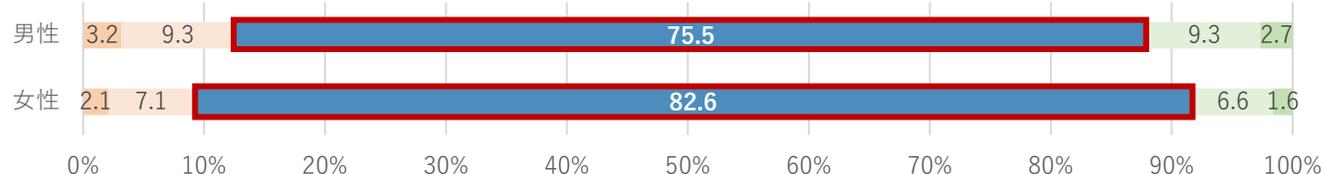
74.8%  
78.0%

毎日の朝食をつくる



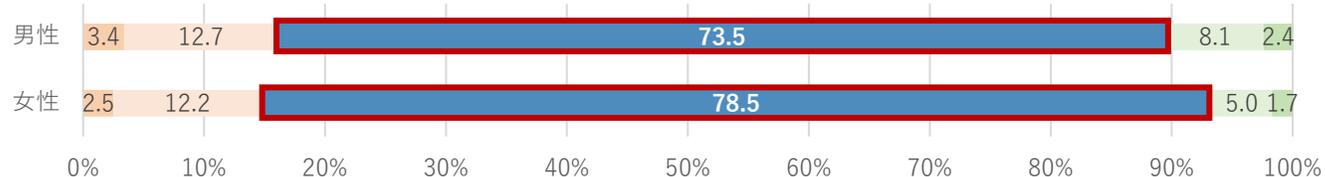
70.7%  
77.3%

子どもの毎日の送迎を行う



75.5%  
82.6%

掃除や洗濯など日常的な家事



73.5%  
78.5%

男性：  
N = 5,520  
女性：  
N = 8,189

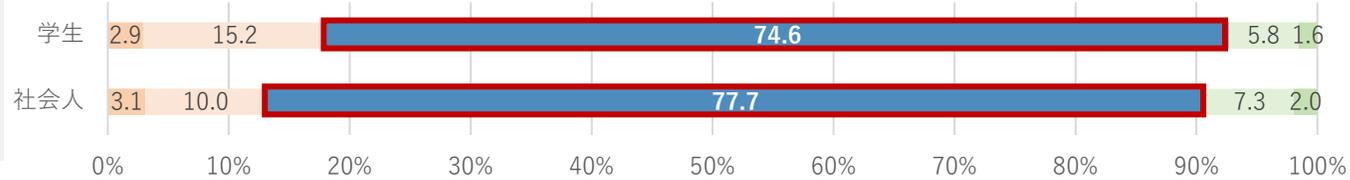
家事育児に関する項目について、  
学生・社会人別でも7割以上が男女は関係ないと回答。

■以下の項目について、あなたは男性と女性のどちらが行うべきだと思いますか。

男女は関係ない

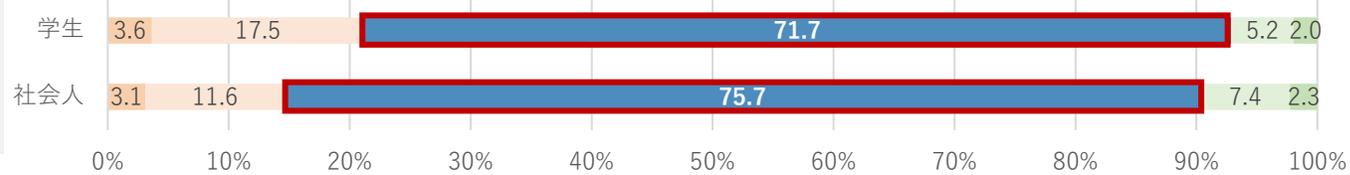
■ 女性が行うべき ■ どちらかというとな性が行うべき ■ 男女は関係ない ■ どちらかというとな性が行うべき ■ 男性が行うべき

子どもが熱を出したときに対応する



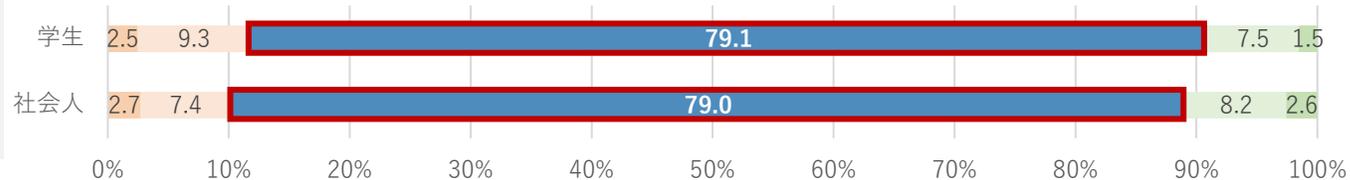
74.6%  
77.7%

毎日の朝食をつくる



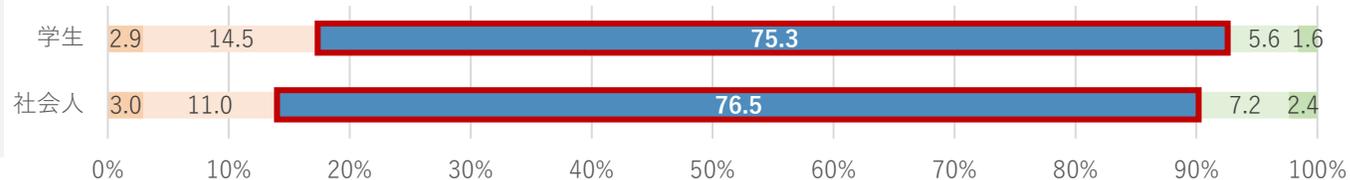
71.7%  
75.7%

子どもの毎日の送迎を行う



79.1%  
79.0%

掃除や洗濯など日常的な家事



75.3%  
76.5%

学生：  
N = 5,359  
社会人：  
N = 8,350

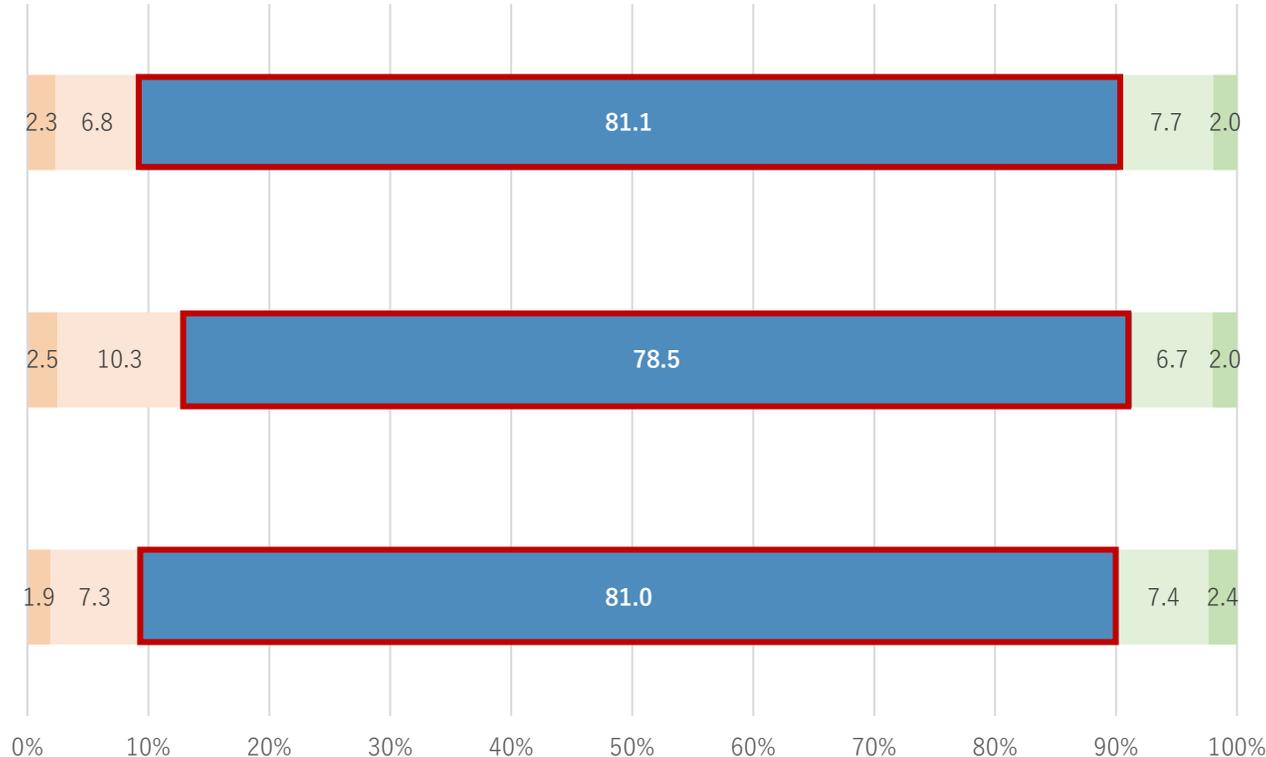
子どもの学校に関わる項目について、8割前後が男女は関係ないと回答。

■ 以下の項目について、あなたは男性と女性のどちらが行うべきだと思いますか。

男女は関係ない

■ 女性が行うべき ■ どちらかというと女性が行うべき ■ 男女は関係ない ■ どちらかというと男性が行うべき ■ 男性が行うべき

子どもの宿題をみる/  
勉強を教える



81.1%

78.5%

81.0%

子どもの学校に関わる項目について、  
男女別で見ても約7割～8割が男女は関係ないと回答。

■ 以下の項目について、あなたは男性と女性のどちらが行うべきだと思いますか。

男女は関係ない

■ 女性が行うべき ■ どちらかというと女性が行うべき ■ 男女は関係ない ■ どちらかというと男性が行うべき ■ 男性が行うべき

子どもの宿題をみる/  
勉強を教える



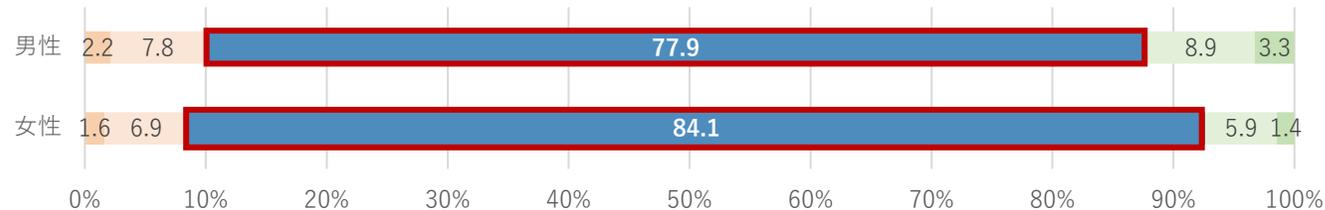
78.0%  
84.2%

学校行事に出席する



74.9%  
82.3%

子どもの進学・進路の  
相談にのる



77.9%  
84.1%

男性：  
N = 5,520  
女性：  
N = 8,189

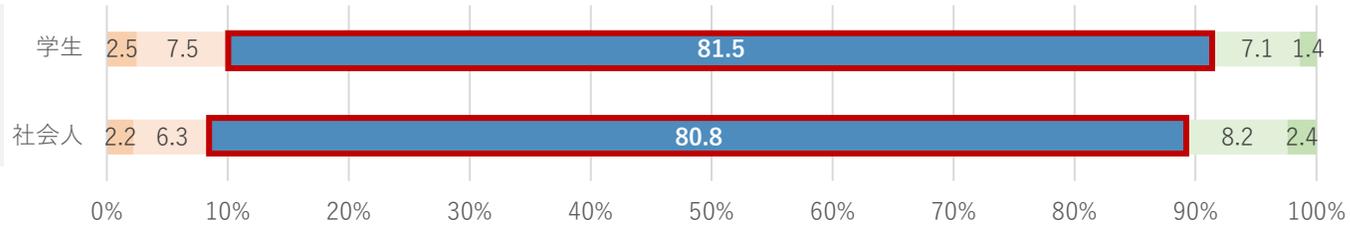
子どもの学校に関わる項目について、  
学生・社会人別に見ても8割前後が男女は関係ないと回答。

■ 以下の項目について、あなたは男性と女性のどちらが行うべきだと思いますか。

男女は関係ない

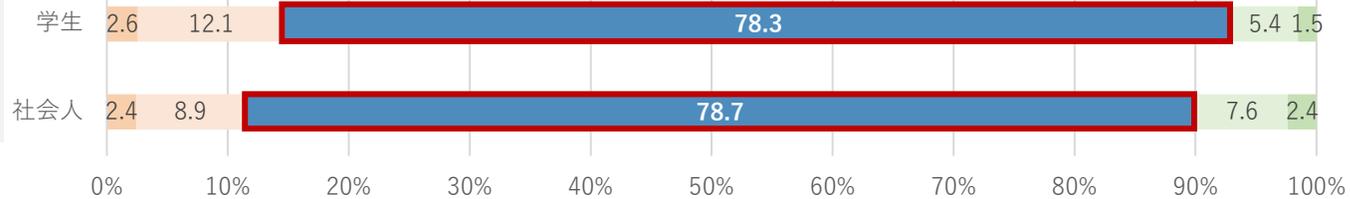
■ 女性が行うべき ■ どちらかというと女性が行うべき ■ 男女は関係ない ■ どちらかというと男性が行うべき ■ 男性が行うべき

子どもの宿題をみる/  
勉強を教える



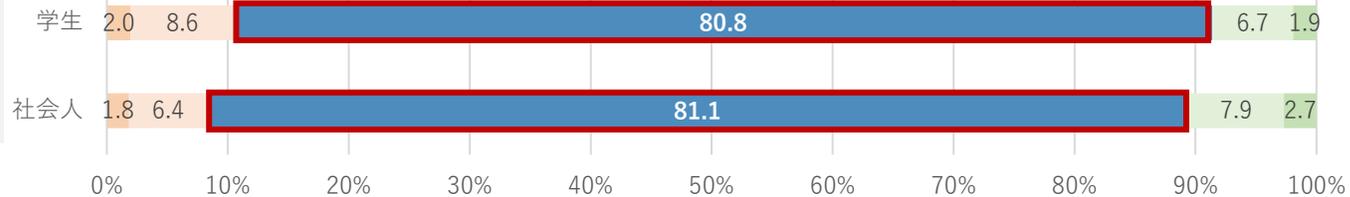
81.5%  
80.8%

学校行事に出席する



78.3%  
78.7%

子どもの進学・進路の  
相談にのる



80.8%  
81.1%

学生：  
N = 5,359  
社会人：  
N = 8,350

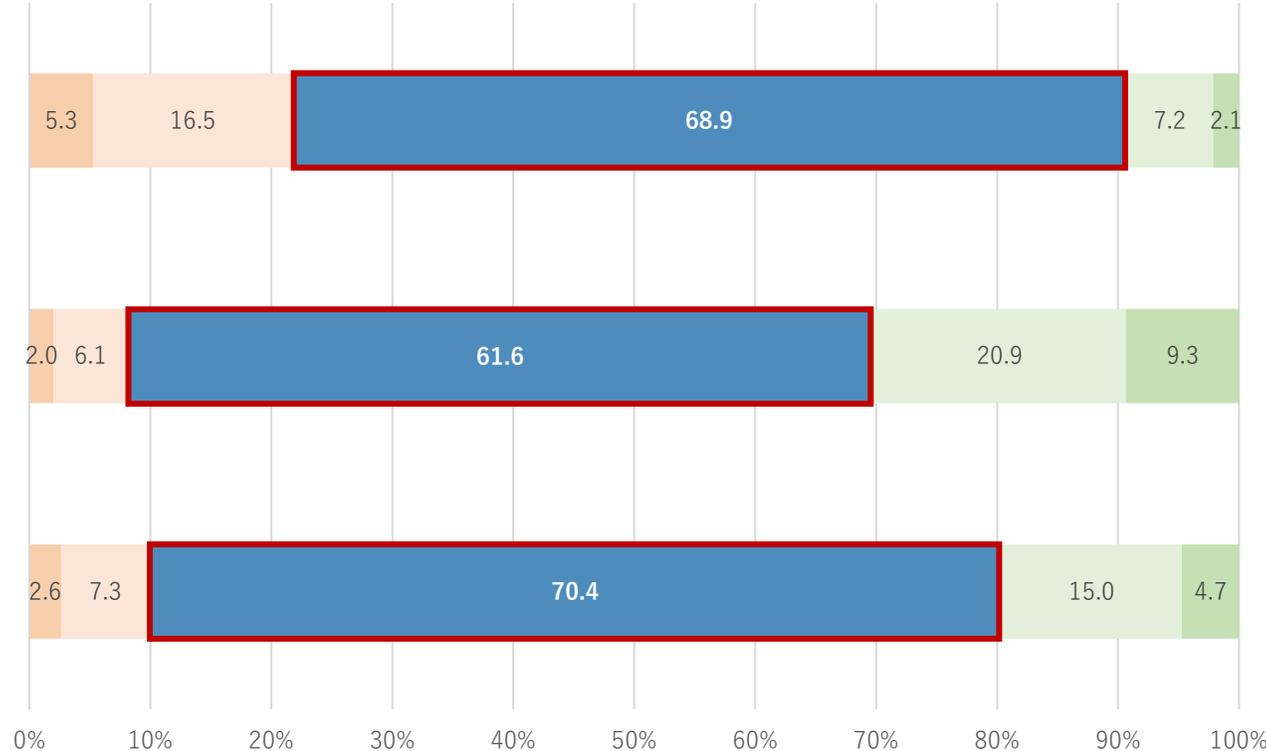
家計に関わる項目について、約6割～7割が男女は関係ないと回答。

■ 以下の項目について、あなたは男性と女性のどちらが行うべきだと思いますか。

男女は関係ない

■ 女性が行うべき ■ どちらかというと女性が行うべき ■ 男女は関係ない ■ どちらかというと男性が行うべき ■ 男性が行うべき

家計を管理する  
(支出の管理、節約など)



68.9%

世帯の主な収入源を担う

61.6%

住宅や車の購入など  
大きな買い物を決定する

70.4%

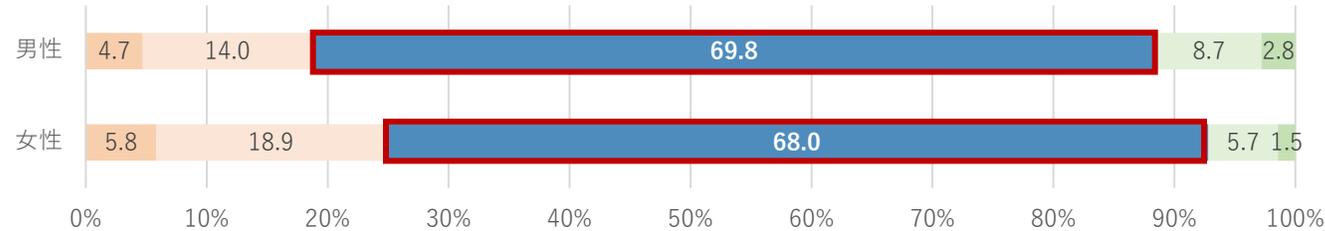
家計に関わる項目について、  
男女別で見ても約6割～7割が男女は関係ないと回答。

■ 以下の項目について、あなたは男性と女性のどちらが行うべきだと思いますか。

男女は関係ない

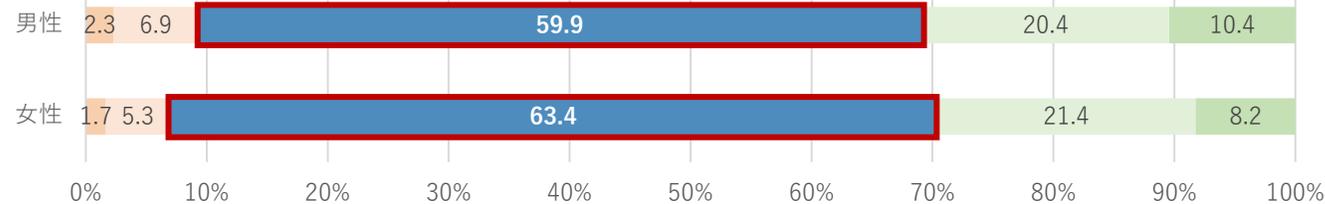
■ 女性が行うべき ■ どちらかというと女性が行うべき ■ 男女は関係ない ■ どちらかというと男性が行うべき ■ 男性が行うべき

家計を管理する  
(支出の管理、節約など)



69.8%  
68.0%

世帯の主な収入源を担う



59.9%  
63.4%

住宅や車の購入など  
大きな買い物を決定する



68.0%  
72.8%

男性：  
N = 5,520  
女性：  
N = 8,189

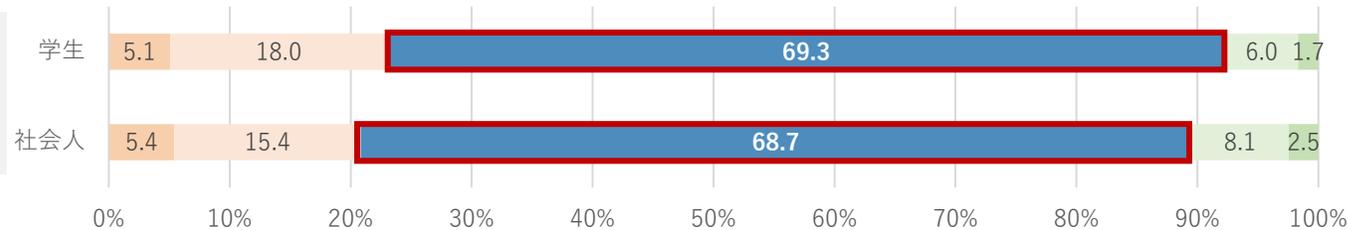
家計に関わる項目について、  
学生・社会人別でみても約6割～7割が男女は関係ないと回答。

■ 以下の項目について、あなたは男性と女性のどちらが行うべきだと思いますか。

男女は関係ない

■ 女性が行うべき ■ どちらかというと女性が行うべき ■ 男女は関係ない ■ どちらかというと男性が行うべき ■ 男性が行うべき

家計を管理する  
(支出の管理、節約など)



69.3%  
68.7%

世帯の主な収入源を担う



61.2%  
62.0%

住宅や車の購入など  
大きな買い物を決定する



71.0%  
70.0%

学生：  
N = 5,359  
社会人：  
N = 8,350

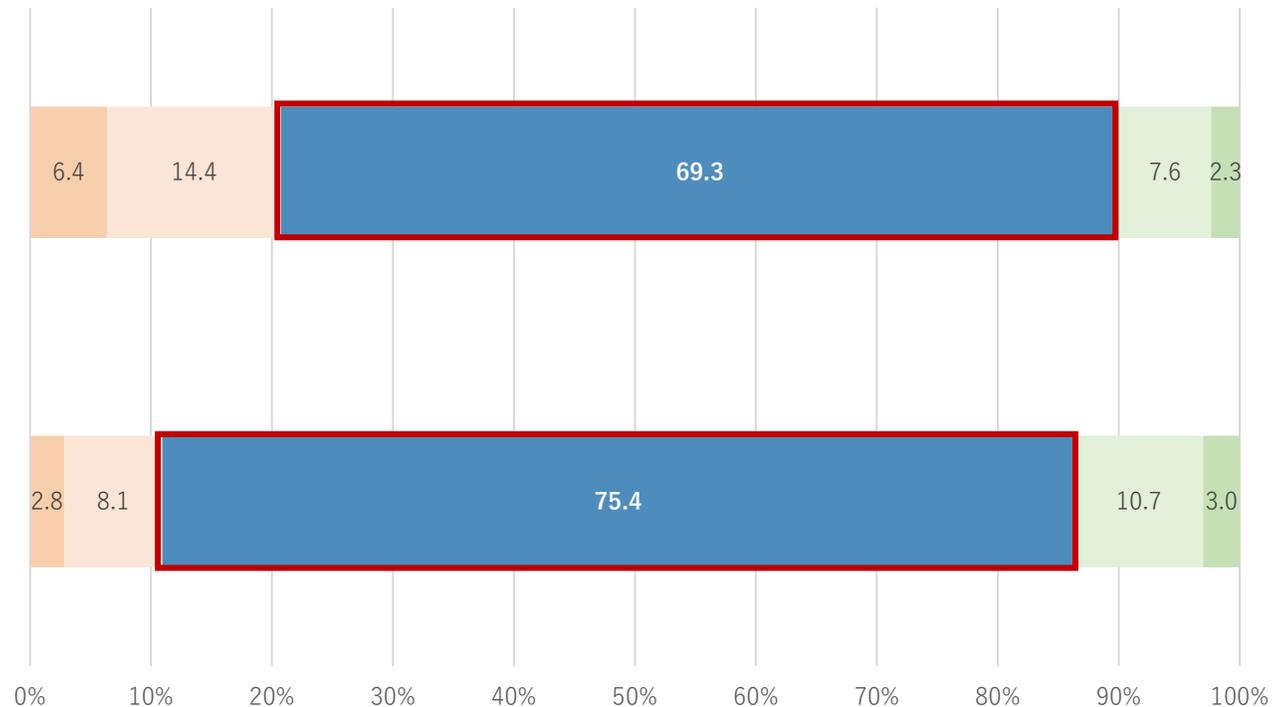
結婚後の姓や居住地の決定について、7割程度が男女は関係ないと回答。

■ 以下の項目について、あなたは男性と女性のどちらが行うべきだと思いますか。

男女は関係ない

■ 女性が行うべき ■ どちらかというと女性が行うべき ■ 男女は関係ない ■ どちらかというと男性が行うべき ■ 男性が行うべき

結婚後に姓を相手に合わせる



69.3%

転勤や引越しなど  
居住地における決定権を持つ

75.4%

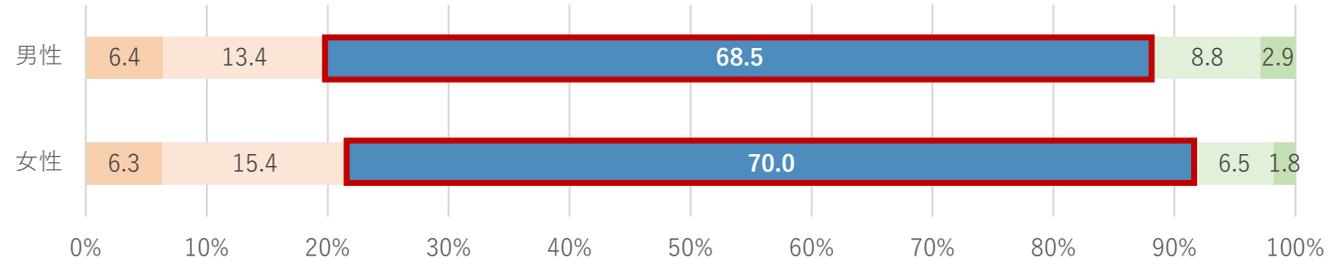
結婚後の姓や居住地の決定について、  
男女別でみても7割程度が男女は関係ないと回答。

■ 以下の項目について、あなたは男性と女性のどちらが行うべきだと思いますか。

男女は関係ない

■ 女性が行うべき ■ どちらかというと女性が行うべき ■ 男女は関係ない ■ どちらかというと男性が行うべき ■ 男性が行うべき

結婚後に姓を相手に合わせる



68.5%

70.0%

転勤や引越しなど  
居住地における決定権を持つ



73.5%

77.4%

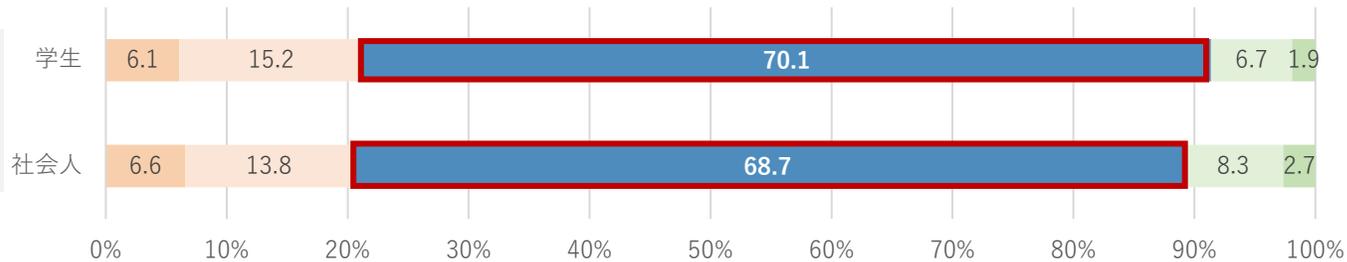
結婚後の姓や居住地の決定について、  
学生・社会人別でみても7割程度が男女は関係ないと回答。

■ 以下の項目について、あなたは男性と女性のどちらが行うべきだと思いますか。

男女は関係ない

■ 女性が行うべき ■ どちらかというと女性が行うべき ■ 男女は関係ない ■ どちらかというと男性が行うべき ■ 男性が行うべき

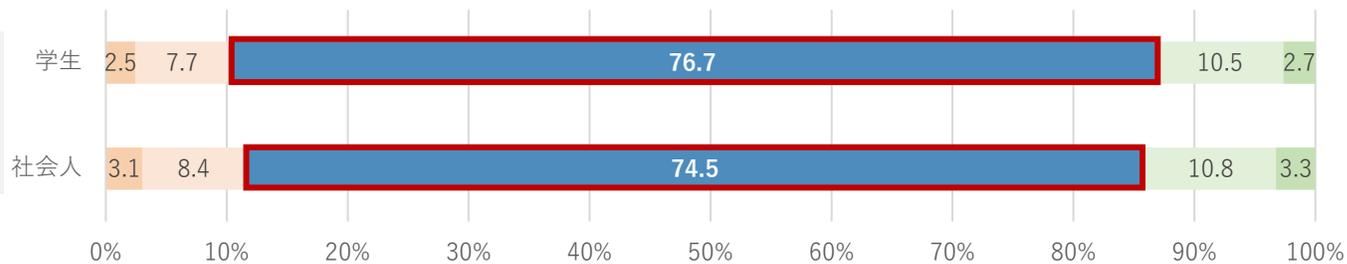
結婚後に姓を相手に合わせる



70.1%

68.7%

転勤や引越しなど  
居住地における決定権を持つ



76.7%

74.5%

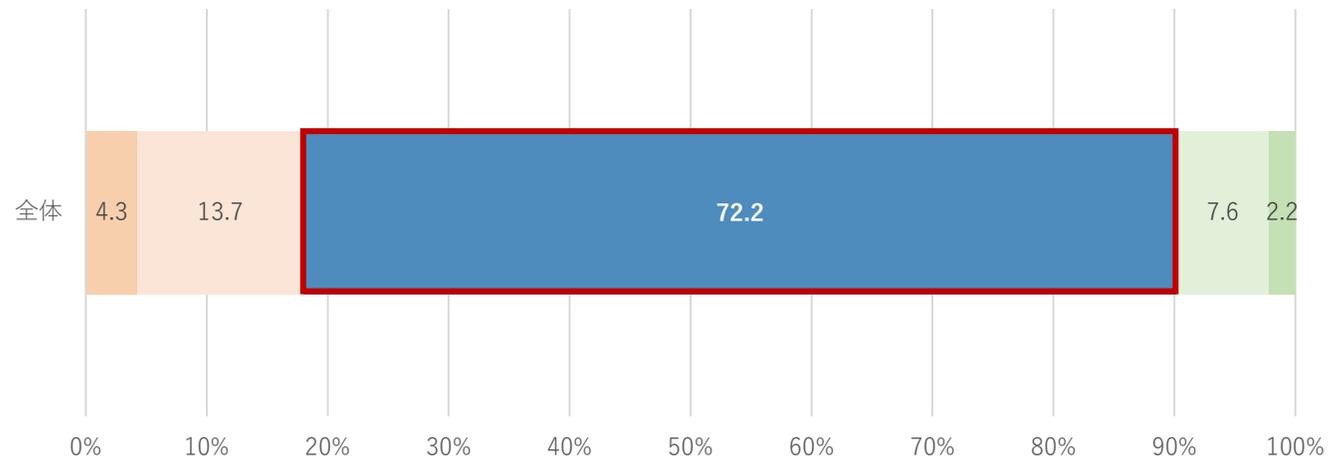
育児休業の取得について、7割以上が男女は関係ないと回答。

■ 以下の項目について、あなたは男性と女性のどちらが行うべきだと思いますか。

男女は関係ない

■ 女性が行うべき ■ どちらかというと女性が行うべき ■ 男女は関係ない ■ どちらかというと男性が行うべき ■ 男性が行うべき

育児休業を取得する



72.2%

育児休業の取得について、男女別でも7割以上が男女は関係ないと回答。

■ 以下の項目について、あなたは男性と女性のどちらが行うべきだと思いますか。

男女は関係ない

■ 女性が行うべき ■ どちらかというと女性が行うべき ■ 男女は関係ない ■ どちらかというと男性が行うべき ■ 男性が行うべき

育児休業を取得する



71.2%

73.3%

男性：  
N = 5,520  
女性：  
N = 8,189

育児休業の取得について、学生・社会人別でも7割以上が男女は関係ないと回答。

■ 以下の項目について、あなたは男性と女性のどちらが行うべきだと思いますか。

男女は関係ない

■ 女性が行うべき ■ どちらかというと女性が行うべき ■ 男女は関係ない ■ どちらかというと男性が行うべき ■ 男性が行うべき

育児休業を取得する



71.9 %

72.4 %

学生：  
N = 5,359  
社会人：  
N = 8,350

家庭と仕事（キャリア）の優先順位付けについて、  
約7割が男女は関係ないと回答。

■ 以下の項目について、あなたは男性と女性のどちらが行うべきだと思いますか。

男女は関係ない

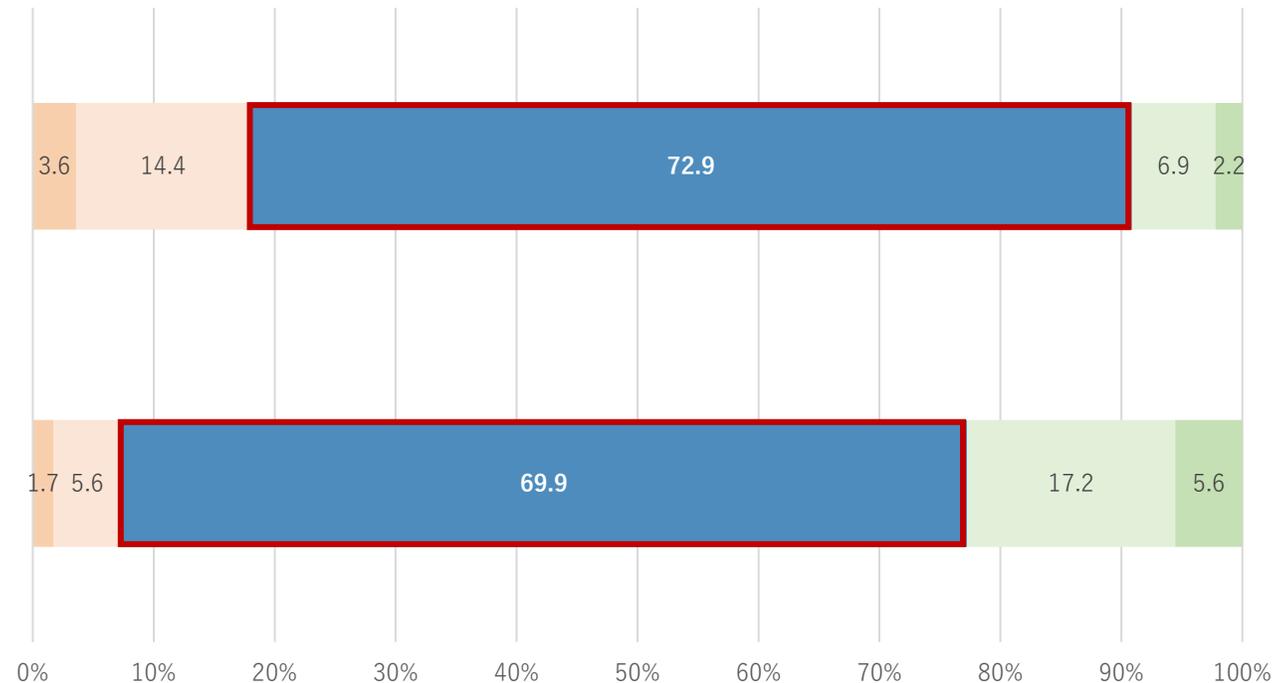
■ 女性が行うべき ■ どちらかというと女性が行うべき ■ 男女は関係ない ■ どちらかというと男性が行うべき ■ 男性が行うべき

自分のキャリアよりも家庭を  
優先する

72.9%

家庭よりも仕事を優先する

69.9%



家庭と仕事（キャリア）の優先順位付けについて、  
男女別でみても約7割が男女は関係ないと回答。

■ 以下の項目について、あなたは男性と女性のどちらが行うべきだと思いますか。

男女は関係ない

■ 女性が行うべき ■ どちらかというと女性が行うべき ■ 男女は関係ない ■ どちらかというと男性が行うべき ■ 男性が行うべき

自分のキャリアよりも家庭を  
優先する



72.7%

73.0%

家庭よりも仕事を優先する



67.8%

72.1%

男性：  
N = 5,520  
女性：  
N = 8,189

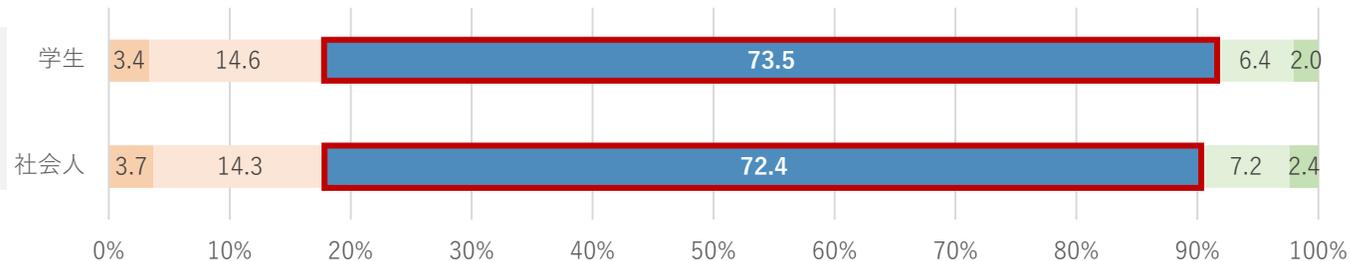
家庭と仕事（キャリア）の優先順位付けについて、  
学生・社会人別でみても約7割が男女は関係ないと回答。

■ 以下の項目について、あなたは男性と女性のどちらが行うべきだと思いますか。

男女は関係ない

■ 女性が行うべき ■ どちらかというと女性が行うべき ■ 男女は関係ない ■ どちらかというと男性が行うべき ■ 男性が行うべき

自分のキャリアよりも家庭を  
優先する



73.5%

72.4%

家庭よりも仕事を優先する



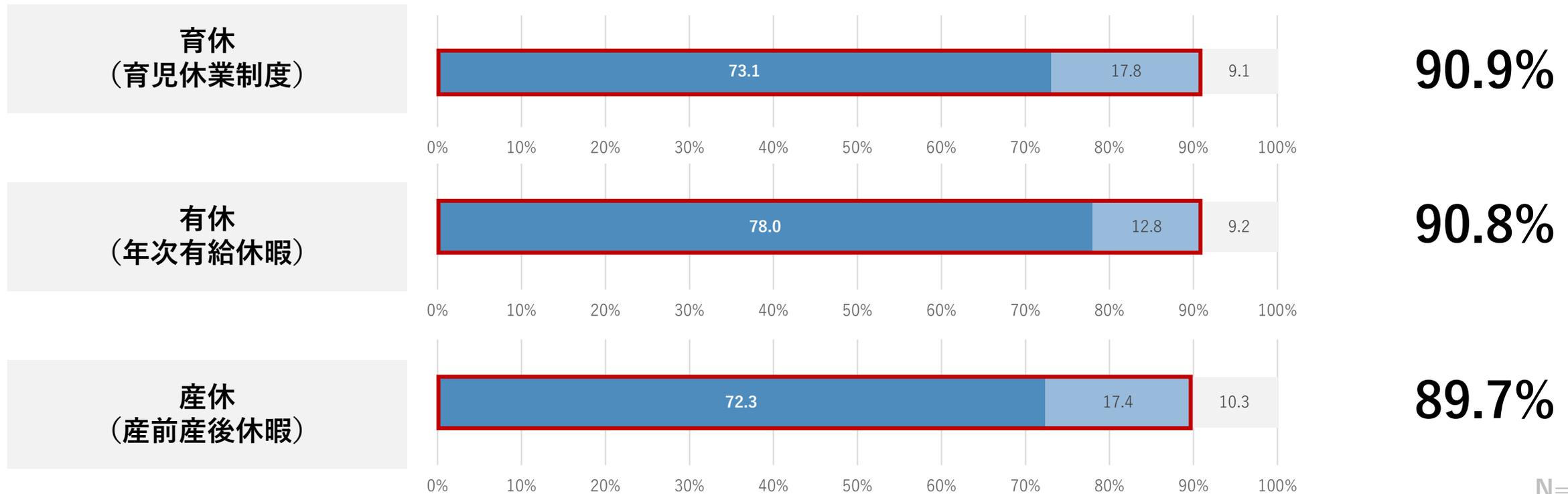
68.0%

71.3%

## 育休の名称を知っている若年層は90.9%。

■あなたは、以下のそれぞれのお休みの制度について知っていますか。

知っている+  
名前は聞いたことが  
あるが、内容は知らない



育休の名称を知っている男性は88.5%、女性は93.3%。

■あなたは、以下のそれぞれのお休みの制度について知っていますか。

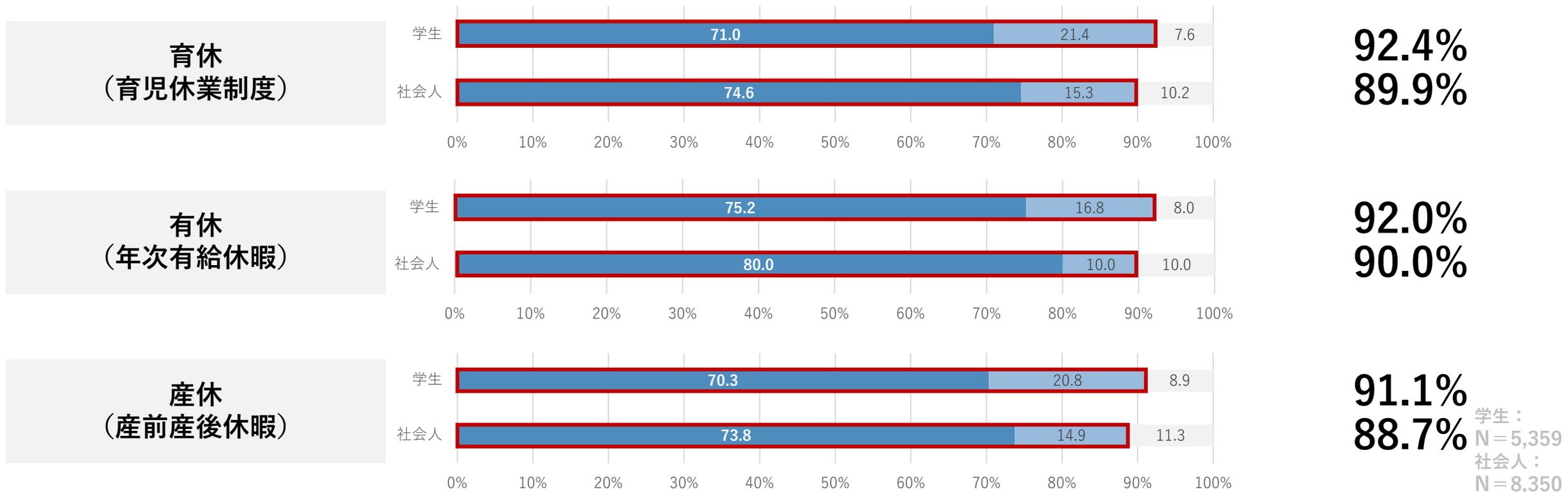
知っている+  
名前は聞いたことが  
あるが、内容は知らない



育休の名称を知っている学生は92.4%、社会人は89.8%。

■あなたは、以下のそれぞれのお休みの制度について知っていますか。

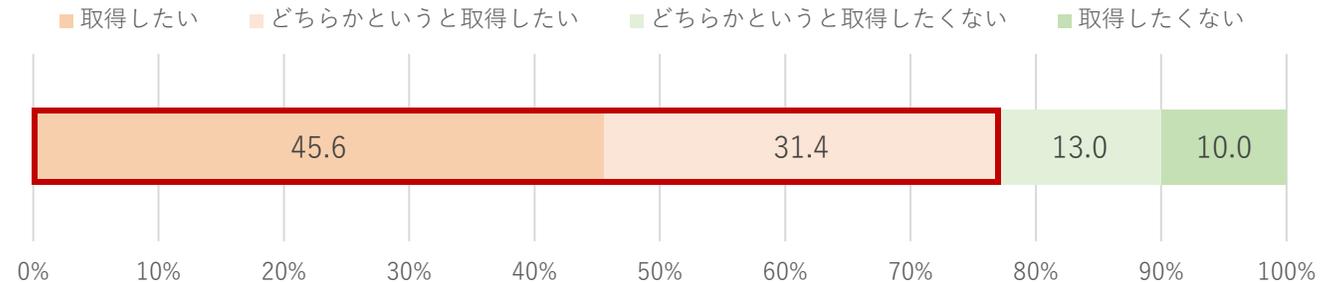
知っている+  
名前は聞いたことが  
あるが、内容は知らない



自身が育休を取得したいと考えている若年層は77.0%。  
配偶者に育休を取得してほしいと考えている若年層は79.4%。

■あなたは、ご自身で育休をどの程度取得したいと思いますか。  
また、配偶者に育休をどの程度取得してほしいと思いますか。

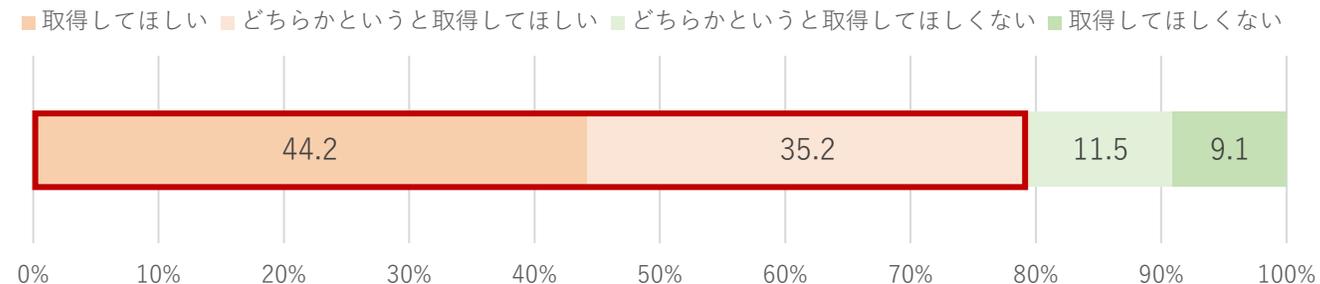
### 自身の育休取得意向



取得したい+  
どちらかという  
取得したい

77.0%

### 配偶者に対する 育休取得意向



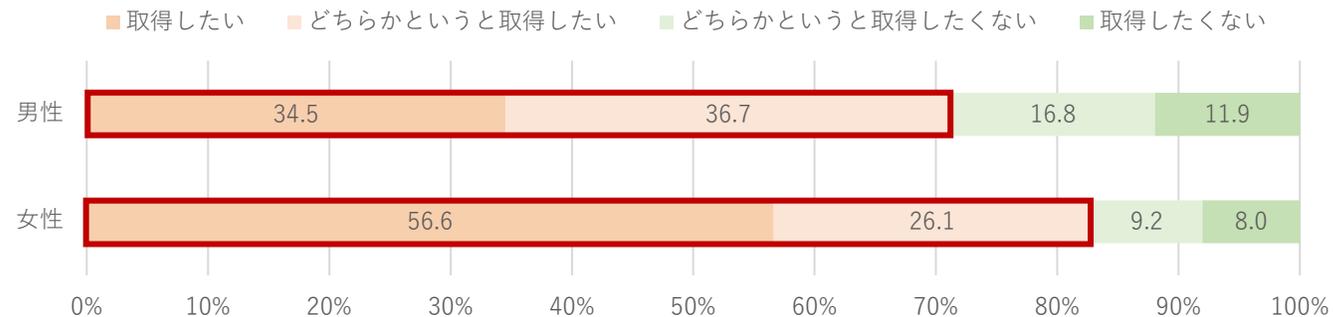
取得してほしい+  
どちらかという  
取得してほしい

79.4%

自身が育休を取得したいと考えている男性は71.2%、女性は82.7%。  
配偶者に育休を取得してほしいと考えている男性は77.0%、女性は81.8%。

■あなたは、ご自身で育休をどの程度取得したいと思いますか。  
また、配偶者に育休をどの程度取得してほしいと思いますか。

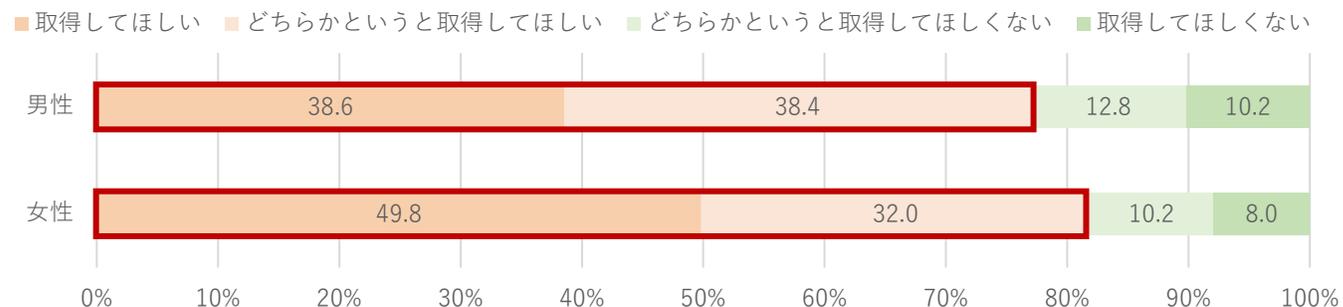
### 自身の育休取得意向



取得したい+  
どちらかという  
取得したい

71.2%  
82.7%

### 配偶者に対する 育休取得意向



取得してほしい+  
どちらかという  
取得してほしい

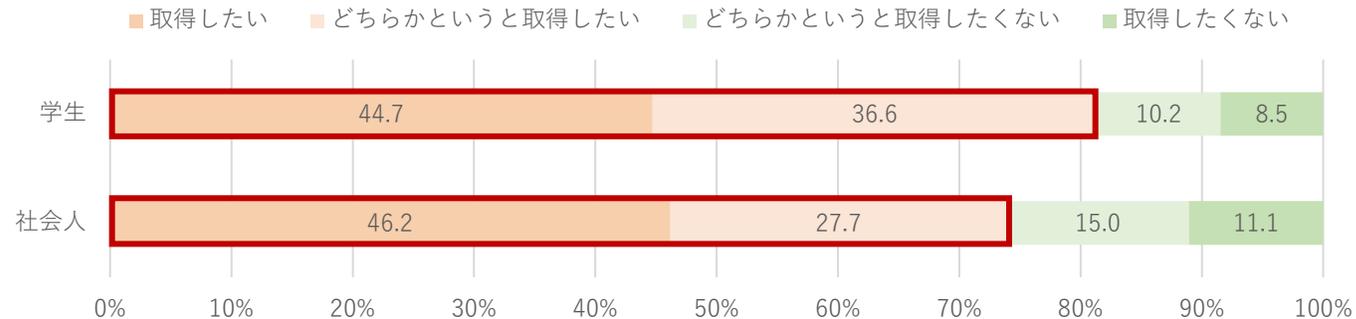
77.0%  
81.8%

男性：  
N = 5,520  
女性：  
N = 8,189

自身が育休を取得したいと考えている学生は81.3%、社会人は73.9%。  
配偶者に育休を取得してほしいと考えている学生は81.6%、社会人は77.9%。

■あなたは、ご自身で育休をどの程度取得したいと思いますか。  
また、配偶者に育休をどの程度取得してほしいと思いますか。

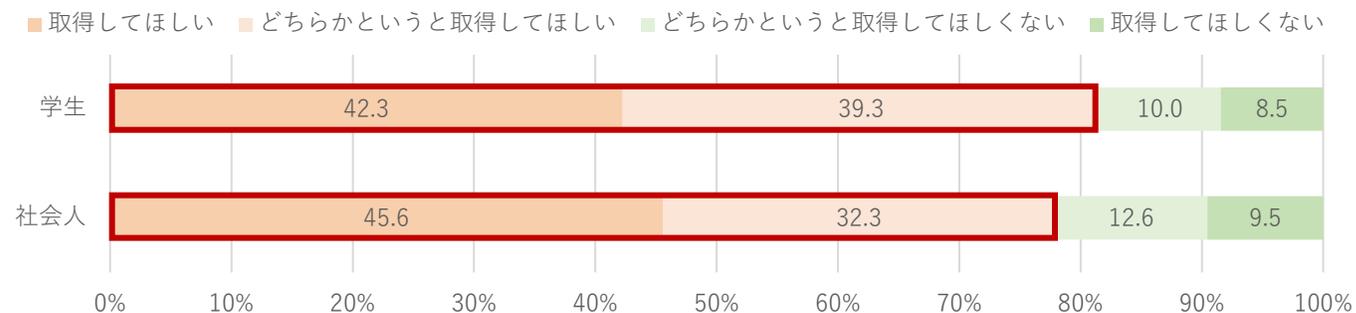
### 自身の育休取得意向



取得したい+  
どちらかという  
取得したい

81.3%  
73.9%

### 配偶者に対する 育休取得意向

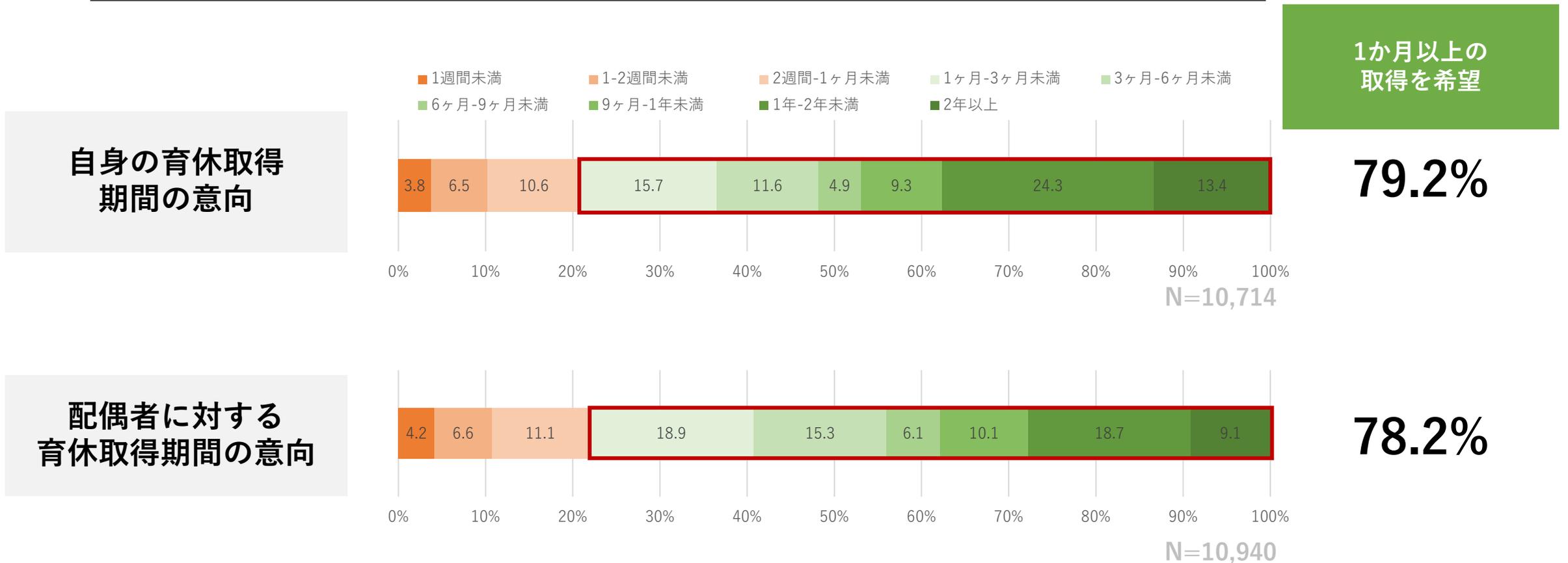


取得してほしい+  
どちらかという  
取得してほしい

81.6%  
77.9%

自身の育休を1か月以上取得したいと考えている若年層は79.2%。  
配偶者に育休を1か月以上取得してほしいと考えている若年層は78.2%。

■あなたは、ご自身で育休をどの程度取得したいと思いますか。  
また、配偶者に育休をどの程度取得してほしいと思いますか。 ※育休を取得したいと考えている方が対象



自身の育休を1か月以上取得したいと考えている男性は67.5%、女性は89.0%。  
配偶者に育休を1か月以上取得してほしいと考えている男性は74.3%、女性は81.6%。

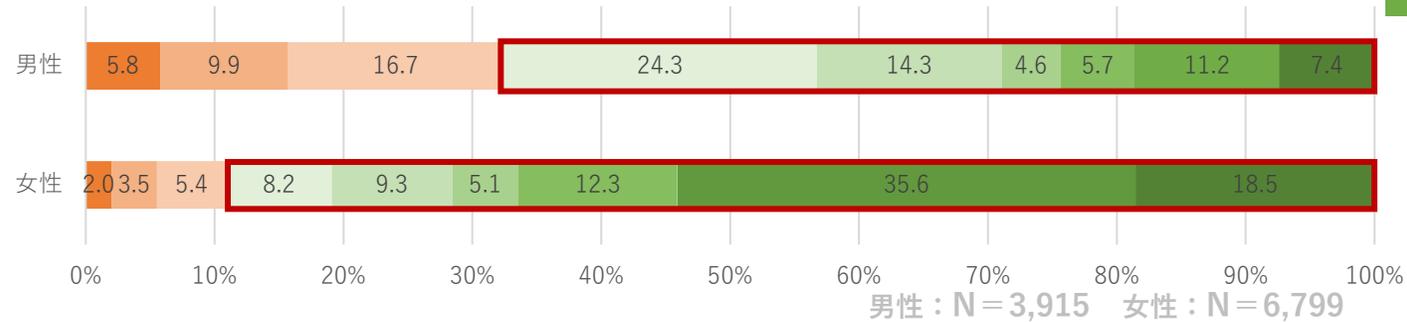
■あなたは、ご自身で育休をどの程度取得したいと思いますか。  
また、配偶者に育休をどの程度取得してほしいと思いますか。

※育休を取得したいと考えている方が対象

1週間未満 1-2週間未満 2週間-1ヶ月未満 1ヶ月-3ヶ月未満 3ヶ月-6ヶ月未満  
6ヶ月-9ヶ月未満 9ヶ月-1年未満 1年-2年未満 2年以上

1か月以上の  
取得を希望

自身の育休取得  
期間の意向



67.5%

89.0%

配偶者に対する  
育休取得期間の意向



74.3%

81.6%

自身の育休を1か月以上取得したいと考えている学生は75.3%、社会人は82.1%。  
配偶者に育休を1か月以上取得してほしいと考えている学生は79.7%、社会人は77.0%。

■あなたは、ご自身で育休をどの程度取得したいと思いますか。  
また、配偶者に育休をどの程度取得してほしいと思いますか。 ※育休を取得したいと考えている方が対象

1か月以上の  
取得を希望

自身の育休取得  
期間の意向

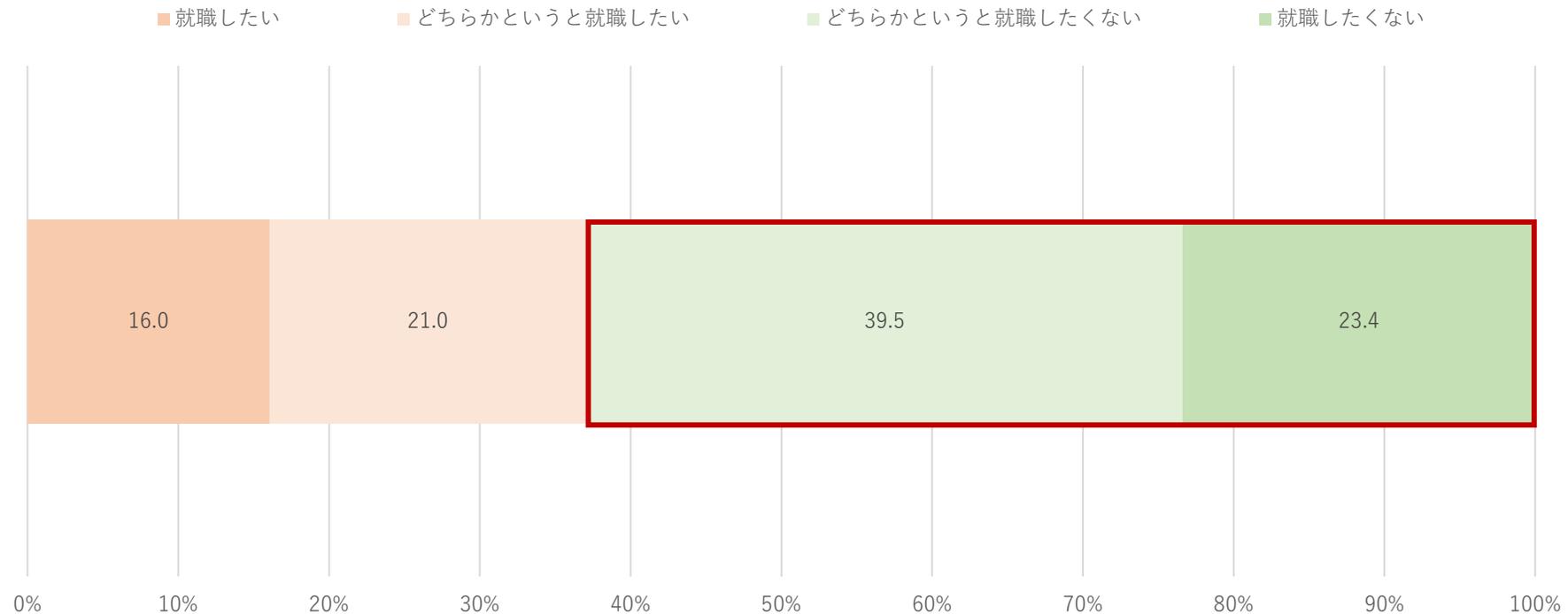


配偶者に対する  
育休取得期間の意向



男性の育休取得実績がない企業に就職したくないと回答した若年層は62.9%。

■ 仮に男性の育休取得の実績がない企業があったとして、あなたは、その企業に就職したいと思いますか。

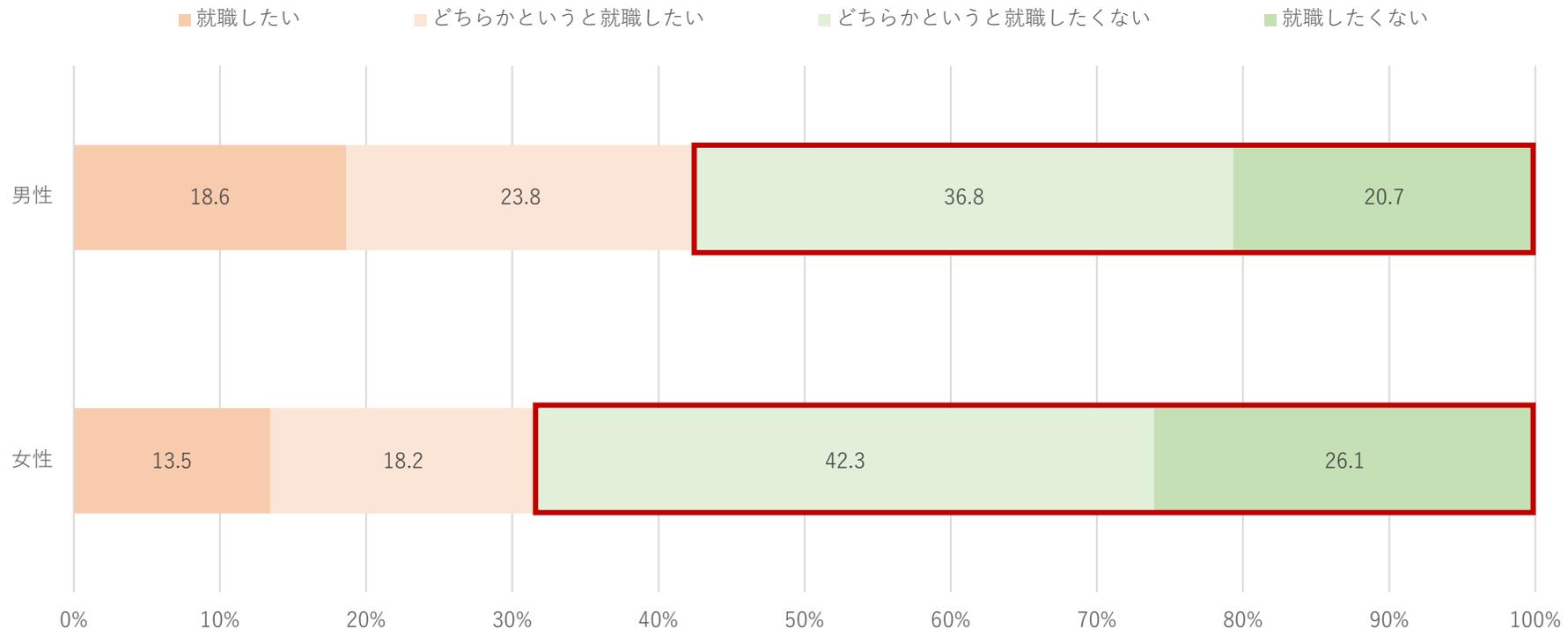


就職したくない +  
どちらかという  
就職したくない

62.9%

男性の育休取得実績がない企業に就職したくないと回答した男性は57.5%、女性は68.4%。

■ 仮に男性の育休取得の実績がない企業があったとして、あなたは、その企業に就職したいと思いますか。



就職したくない+  
どちらかという  
就職したくない

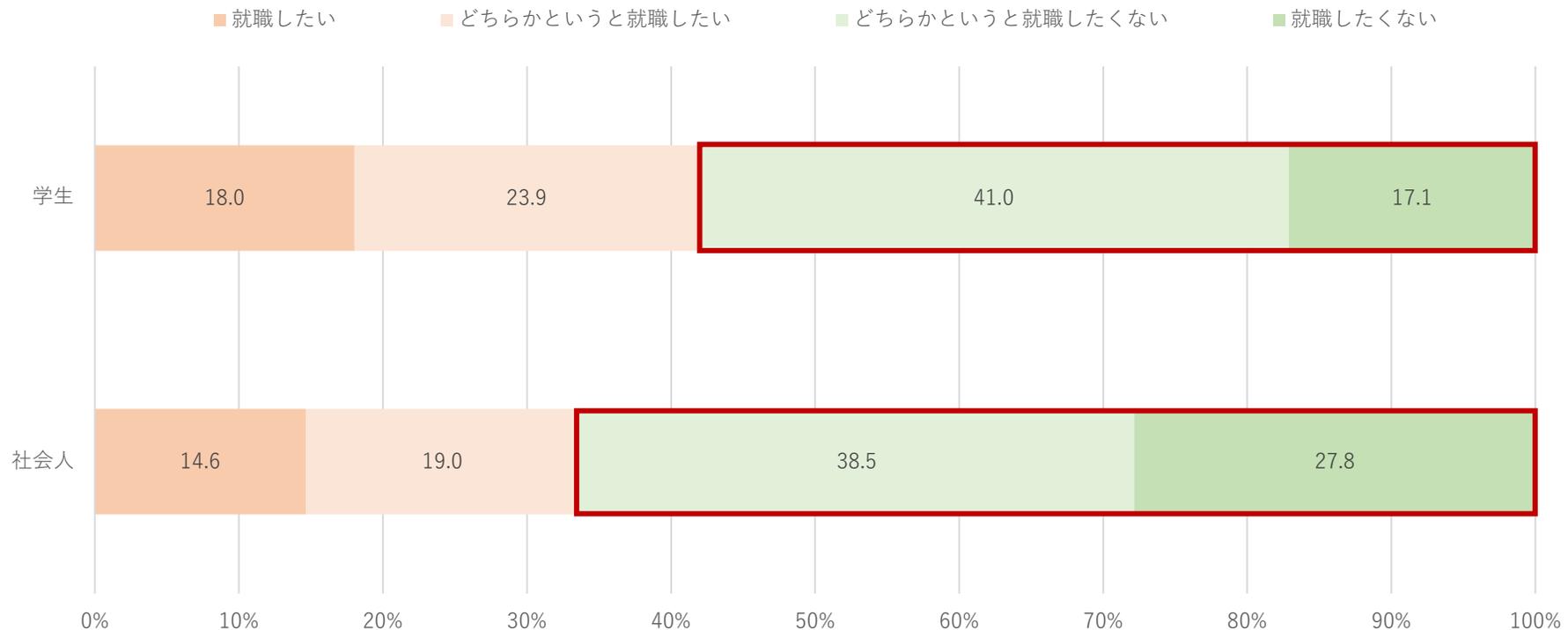
57.5%

68.4%

男性：  
N = 5,520  
女性：  
N = 8,189

男性の育休取得実績がない企業に就職したくないと回答した学生は58.1%、社会人は66.3%。

■ 仮に男性の育休取得の実績がない企業があったとして、あなたは、その企業に就職したいと思いますか。



就職したくない+  
どちらかという  
就職したくない

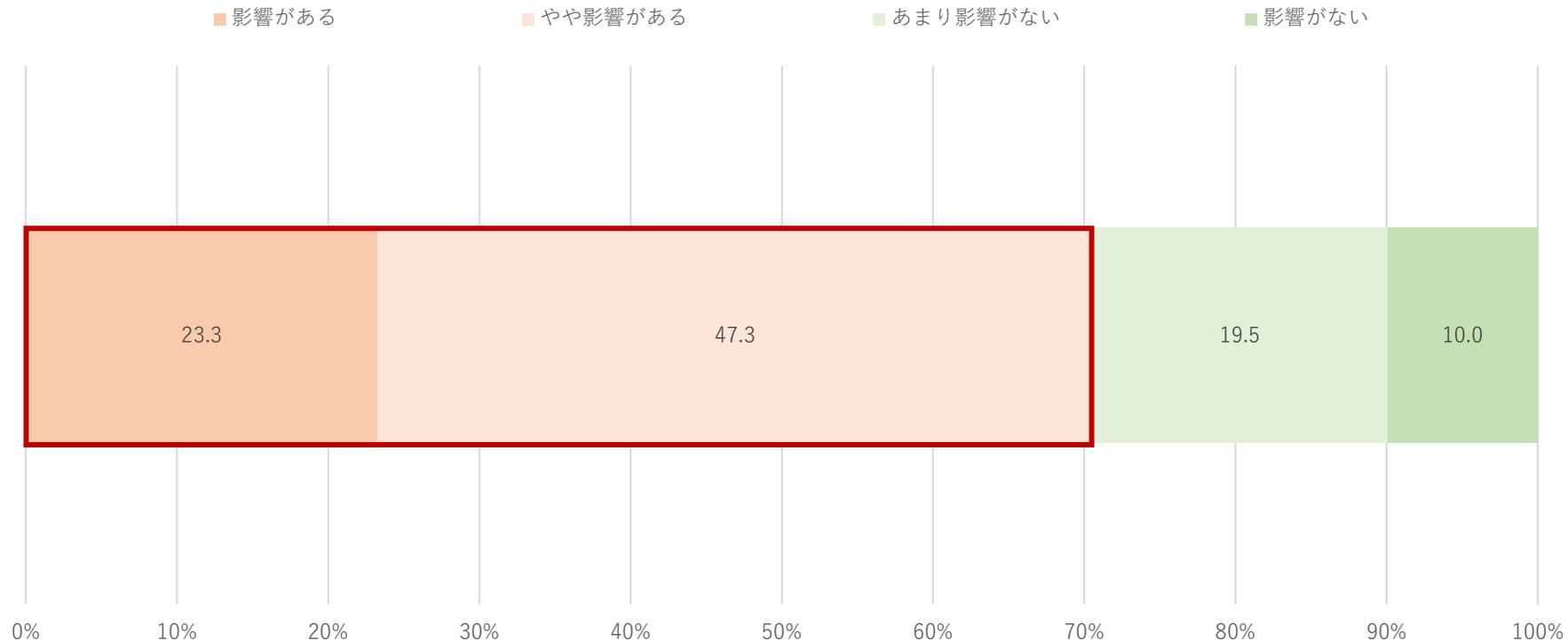
58.1%

66.3%

学生：  
N = 5,359  
社会人：  
N = 8,350

企業の育休取得状況が、  
就職活動時の企業選定に影響があると回答した若年層は70.6%。

■あなたが就職活動をするにあたって、企業の育休取得状況は、どの程度あなたの企業選定に影響を与えていますか。

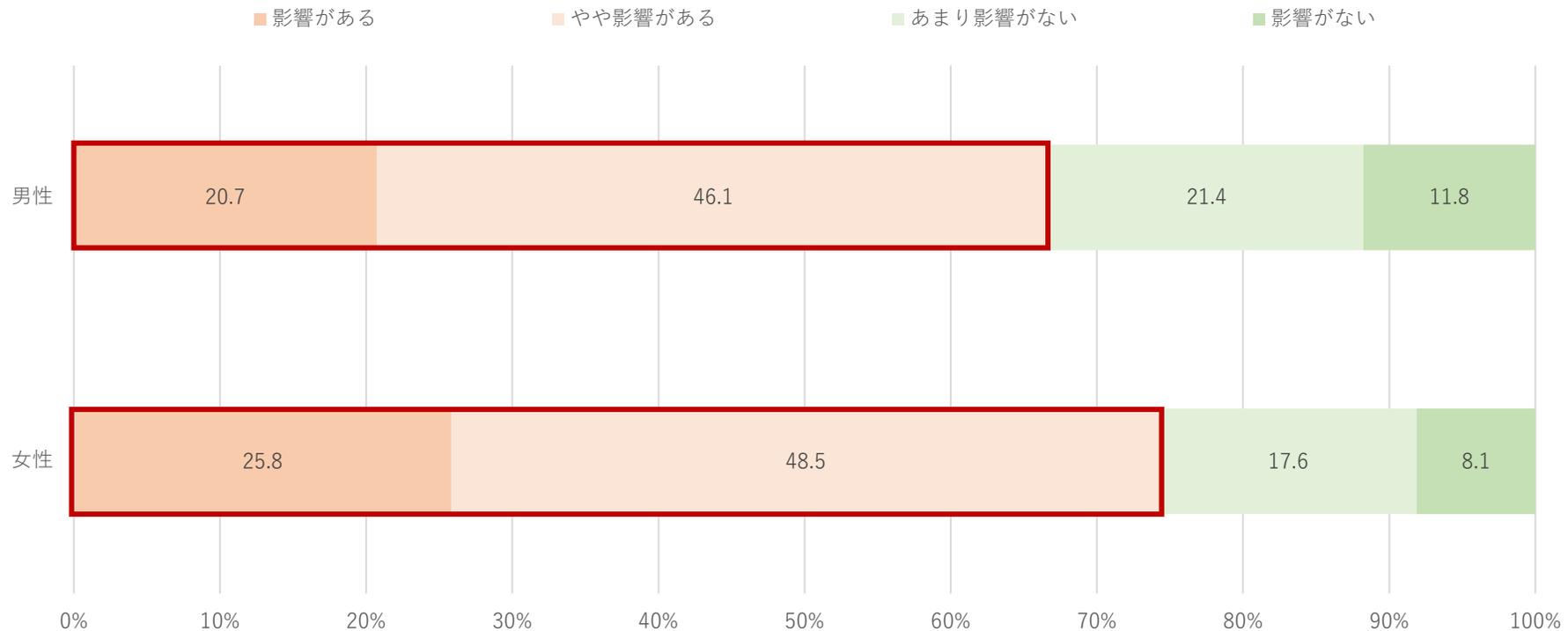


影響がある  
+  
やや影響がある

70.6%

企業の育休取得状況が、  
就職活動時の企業選定に影響があると回答した男性は66.8%、女性は74.3%。

■あなたが就職活動をするにあたって、企業の育休取得状況は、どの程度あなたの企業選定に影響を与えていますか。



影響がある  
+  
やや影響がある

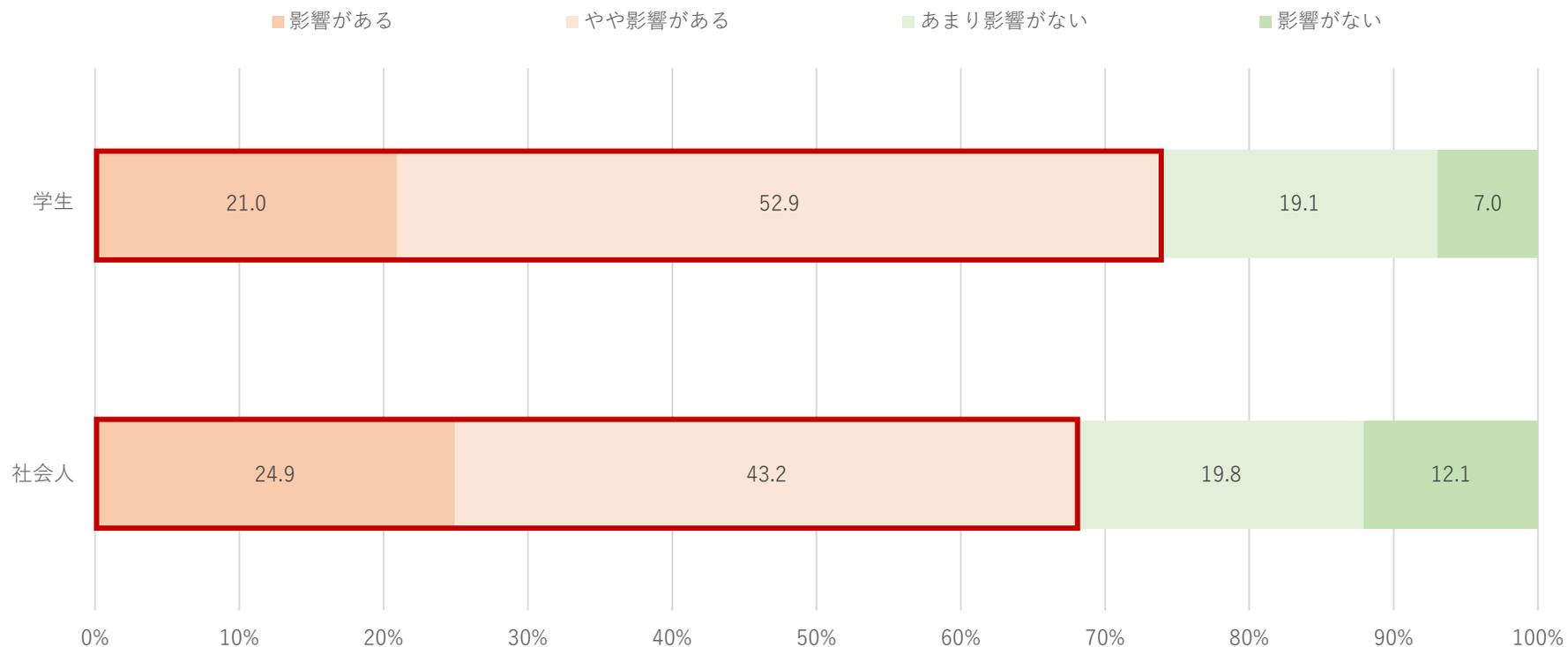
66.8%

74.3%

男性：  
N = 5,520  
女性：  
N = 8,189

企業の育休取得状況が、  
就職活動時の企業選定に影響があると回答した学生は73.9%、社会人は68.1%。

■あなたが就職活動をするにあたって、企業の育休取得状況は、どの程度あなたの企業選定に影響を与えていますか。



影響がある  
+  
やや影響がある

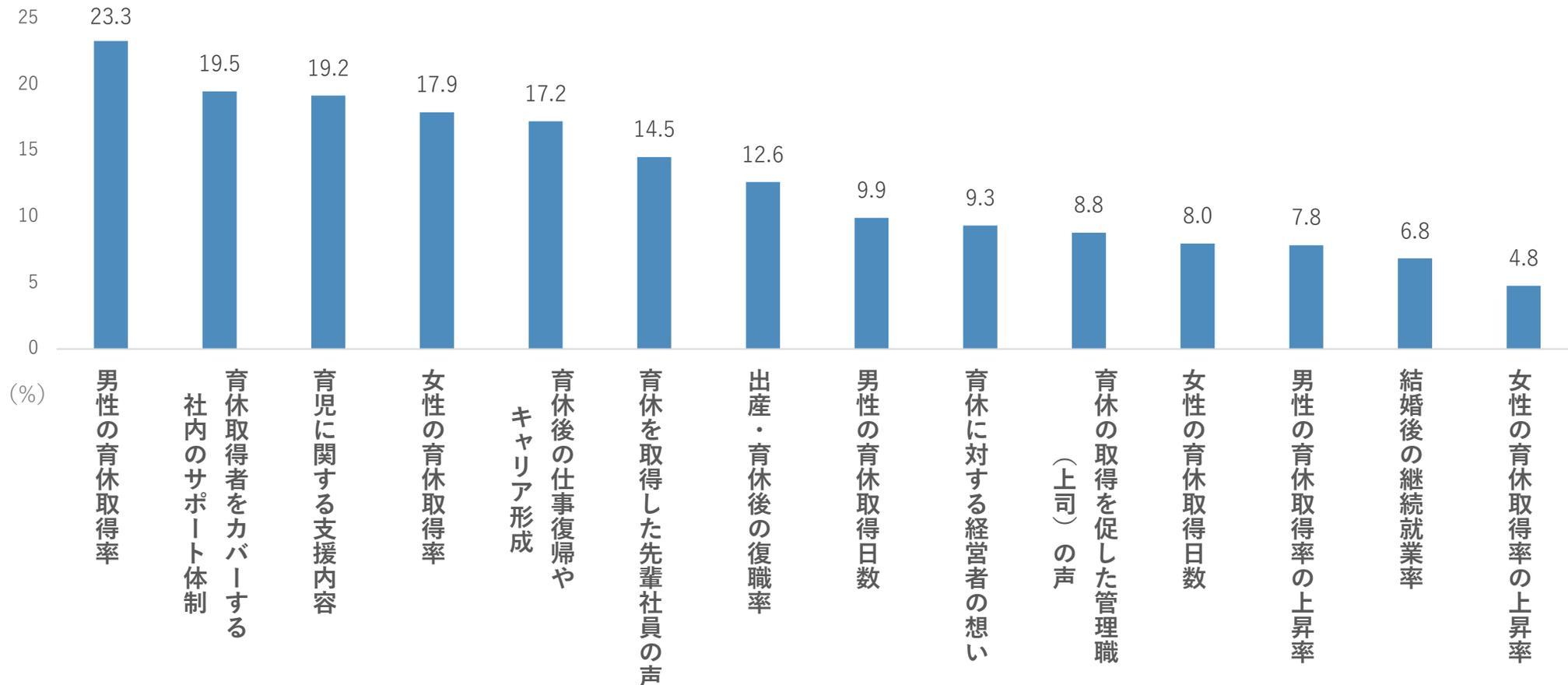
73.9%

68.1%

学生：  
N = 5,359  
社会人：  
N = 8,350

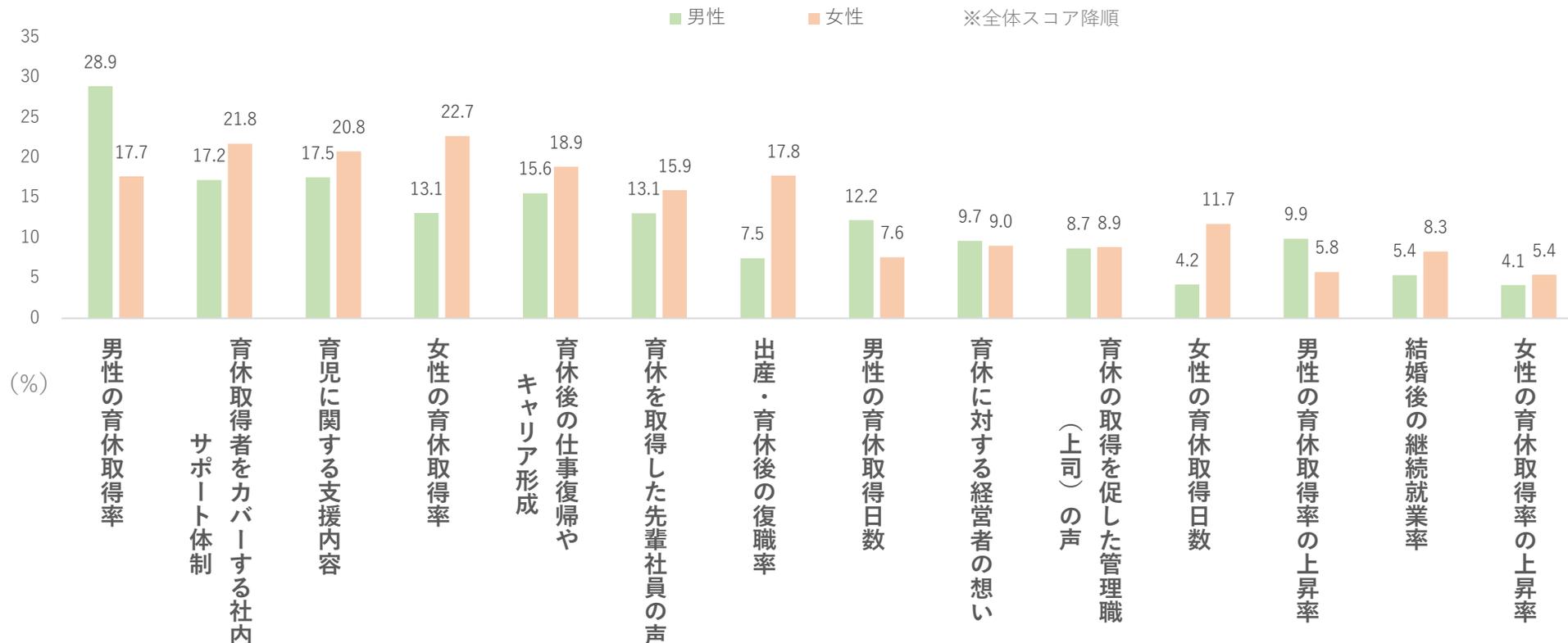
若年層が就活で重視する「結婚や出産に関わる情報」は、「男性の育休取得率」が最も高く、次いで「育休取得者をカバーする社内のサポート体制」が高い。

■あなたは企業からどのような結婚や出産に関わる情報があると就職したい気持ちが高まりますか。



若年層が就活で重視する「結婚や出産に関わる情報」は、男性で「男性の育休取得率」、女性で「女性の育休取得率」が最も高い。

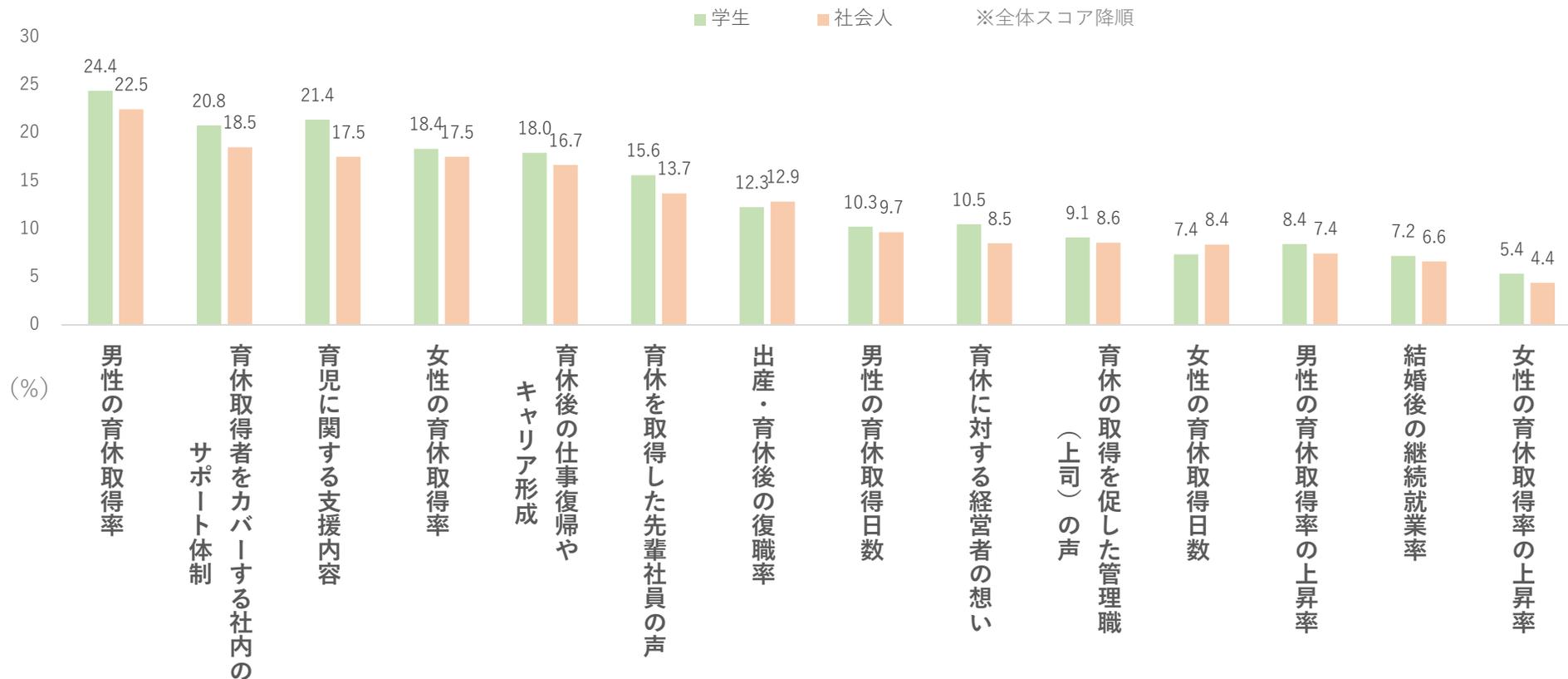
■あなたは企業からどのような結婚や出産に関わる情報があると就職したい気持ちが高まりますか。



男性：  
N = 5,520  
女性：  
N = 8,189

学生・社会人が就活で重視する「結婚や出産に関わる情報」は、学生、社会人ともに「男性の育休取得率」が最も高い。

■あなたは企業からどのような結婚や出産に関わる情報があると就職したい気持ちが高まりますか。



学生：  
N = 5,359  
社会人：  
N = 8,350

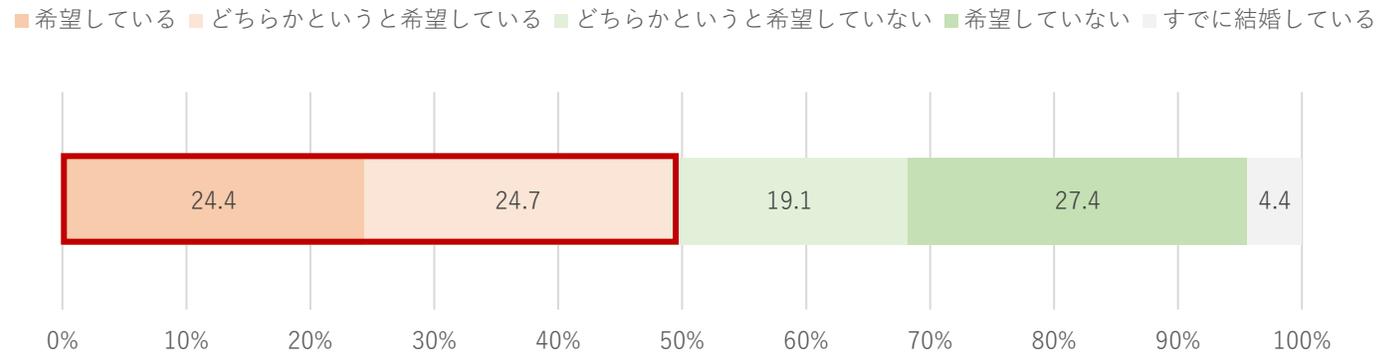
# 社会人が学生時代に抱いていた 結婚・子育てへの意向

※調査対象者のうち、社会人8,350名が対象

「学生時代」の意向として、  
結婚を希望していた社会人は49.1%。  
子どもを授かることを希望していた社会人は43.6%。

■あなたは、将来結婚したい、または子どもがほしいと思いますか。  
希望としてあてはまるものをそれぞれお選びください。

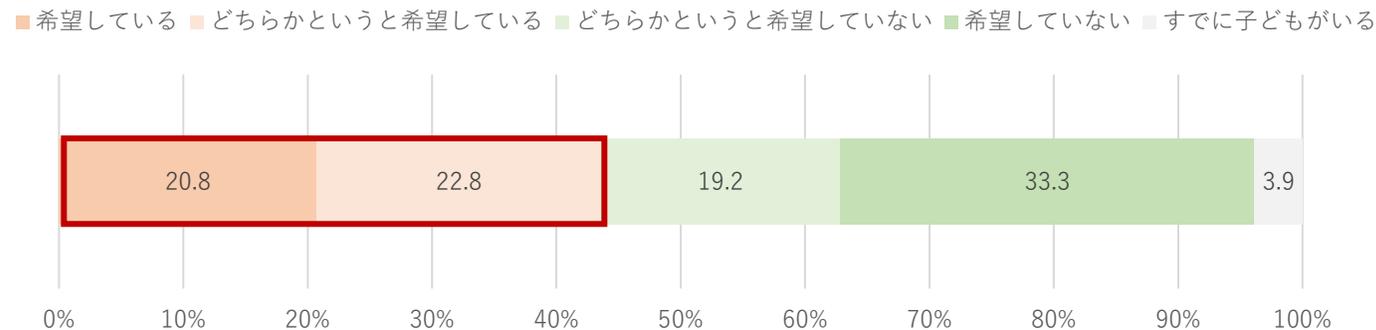
【学生時代】  
結婚することへの希望



希望している  
+どちらかという  
希望している

49.1%

【学生時代】  
子どもを授かることへの希望



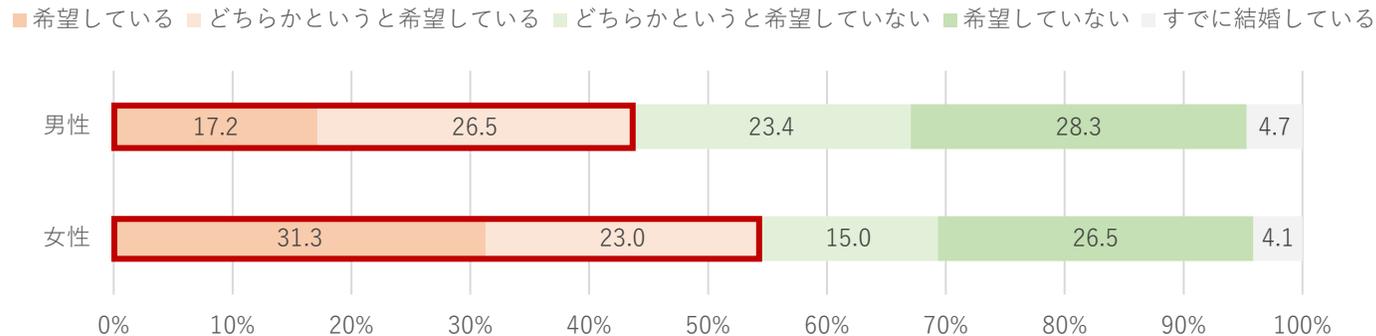
43.6%

社会人の「学生時代」の意向として、  
結婚を希望していた男性は43.7%、女性は54.3%。  
子どもを授かることを希望していた男性は38.3%、女性は48.6%。

■あなたは、将来結婚したい、または子どもがほしいと思いますか。  
希望としてあてはまるものをそれぞれお選びください。

希望している  
+どちらかという  
希望している

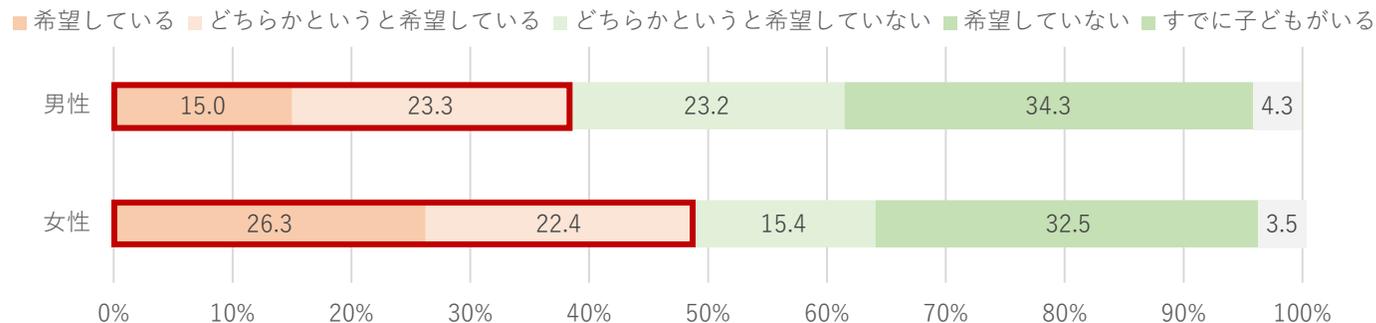
【学生時代】  
結婚することへの希望



43.7%

54.3%

【学生時代】  
子どもを授かることへの希望



38.3%

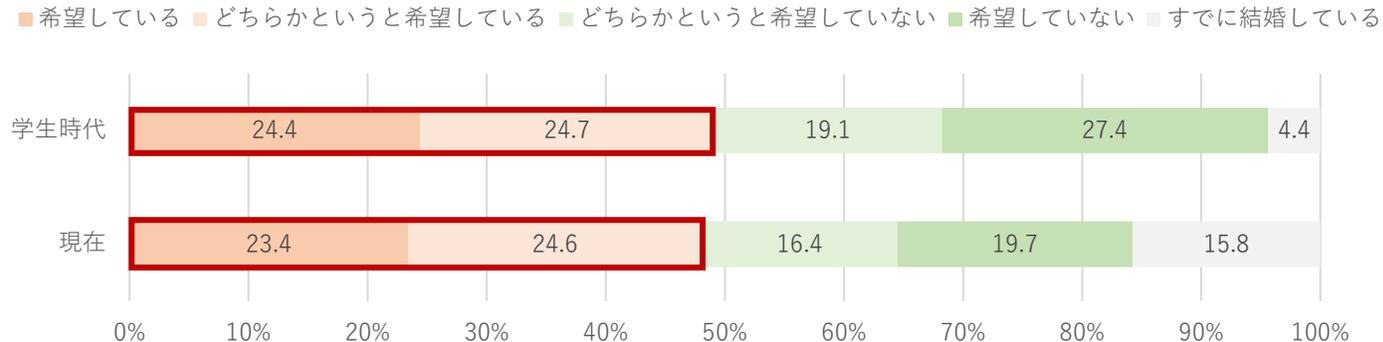
48.7%

男性：  
N = 3,327  
女性：  
N = 5,023

社会人の「学生時代」と「現在」の意向を比較すると、  
 結婚を希望：学生時代49.1%、現在48.0%  
 子どもを授かることを希望：学生時代43.6%、現在48.4%

■あなたは、将来結婚したい、または子どもがほしいと思いますか。  
 希望としてあてはまるものをそれぞれお選びください。

結婚することへの希望

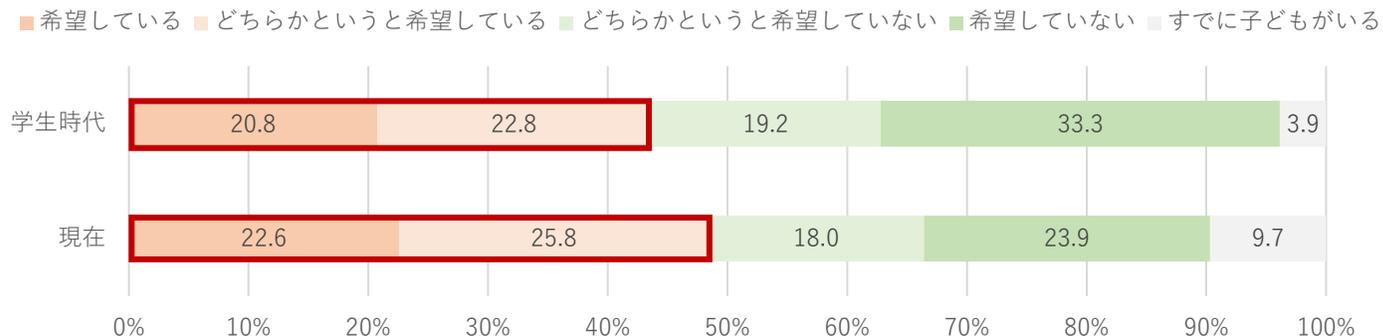


希望している  
+どちらかという  
希望している

49.1%

48.0%

子どもを授かることへの希望



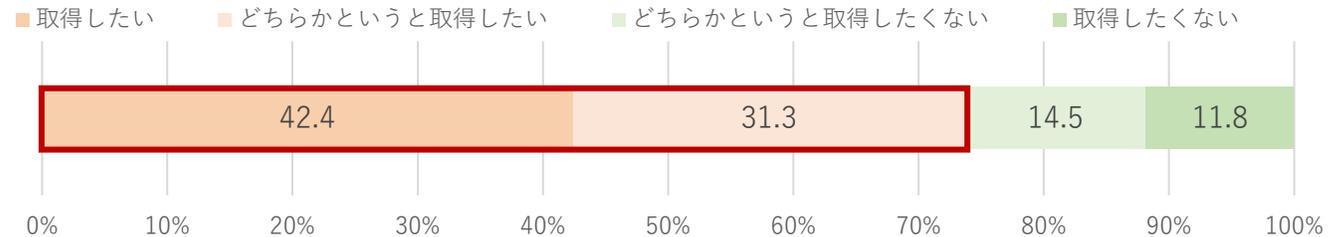
43.6%

48.4%

「学生時代」の意向として、  
自身が育休を取得したいと考えていた社会人は73.7%、  
配偶者に育休を取得してほしいと考えていた社会人は69.8%。

■あなたは、ご自身で育休をどの程度取得したいと思いますか。  
また、配偶者に育休をどの程度取得してほしいと思いますか。

### 【学生時代】 自身の育休取得意向



取得したい+  
どちらかという  
取得したい

73.7%

### 【学生時代】 配偶者に対する 育休取得意向



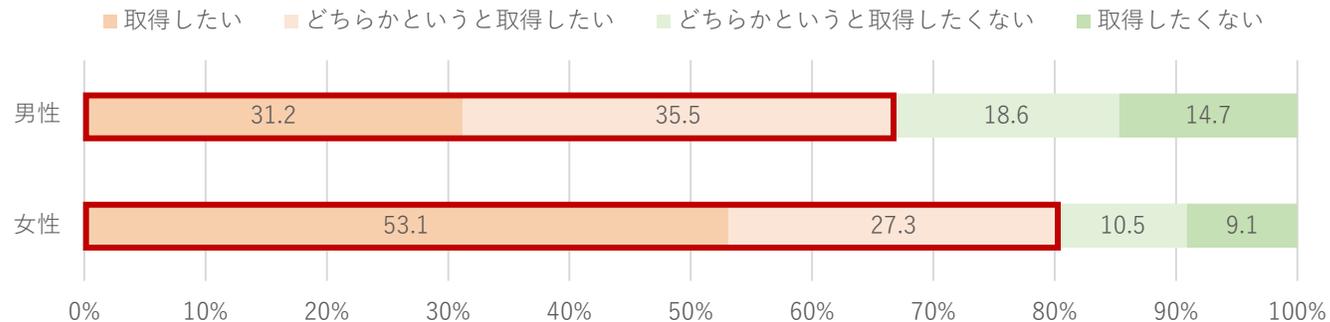
取得してほしい+  
どちらかという  
取得してほしい

69.8%

社会人の「学生時代」の意向として、  
自身が育休を取得したいと考えていた男性は66.7%、女性は80.4%。  
配偶者に育休を取得してほしいと考えていた男性は64.3%、女性は74.9%。

■あなたは、ご自身で育休をどの程度取得したいと思いますか。  
また、配偶者に育休をどの程度取得してほしいと思いますか。

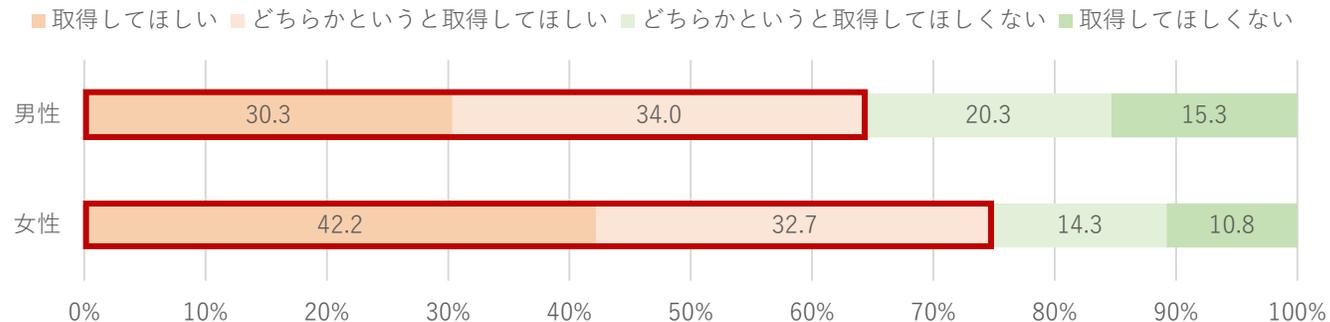
【学生時代】  
自身の育休取得意向



取得したい+  
どちらかという  
取得したい

66.7%  
80.4%

【学生時代】  
配偶者に対する  
育休取得意向



取得してほしい+  
どちらかという  
取得してほしい

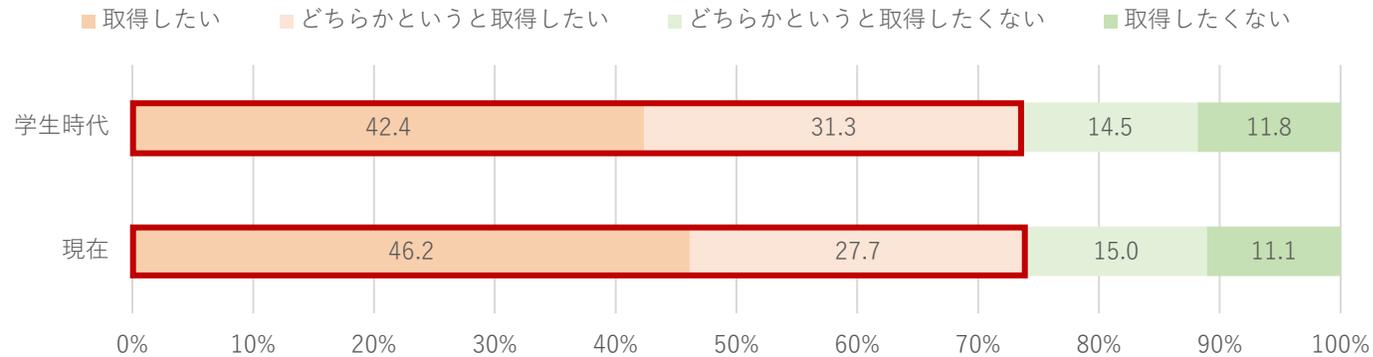
64.3%  
74.9%

男性：  
N = 3,327  
女性：  
N = 5,023

社会人の「学生時代」と「現在」の意向を比較すると、  
 自身が育休を取得したい：学生時代73.7%、現在73.9%  
 配偶者に育休を取得してほしい：学生時代69.8%、現在77.9%

■あなたは、ご自身で育休をどの程度取得したいと思いますか。  
 また、配偶者に育休をどの程度取得してほしいと思いますか。

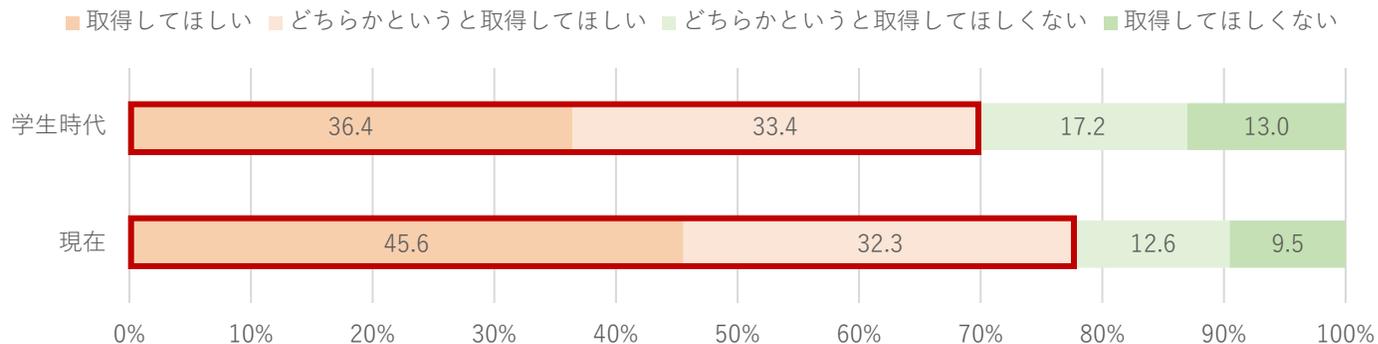
自身の育休取得意向



取得したい+  
どちらかという  
取得したい

73.7%  
73.9%

配偶者に対する  
育休取得意向



取得してほしい+  
どちらかという  
取得してほしい

69.8%  
77.9%

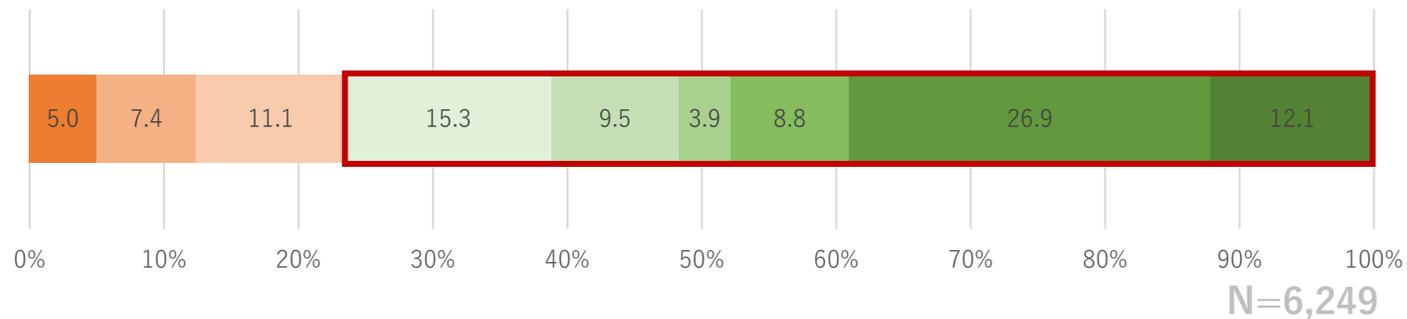
「学生時代」の意向として、  
自身が育休を1か月以上取得したいと考えていた社会人は76.5%。  
配偶者に育休を1か月以上取得してほしいと考えていた社会人は76.5%。

■あなたは、ご自身で育休をどの程度取得したいと思いますか。  
また、配偶者に育休をどの程度取得してほしいと思いますか。  
※育休を取得したいと考えている方が対象

1か月以上の  
取得を希望

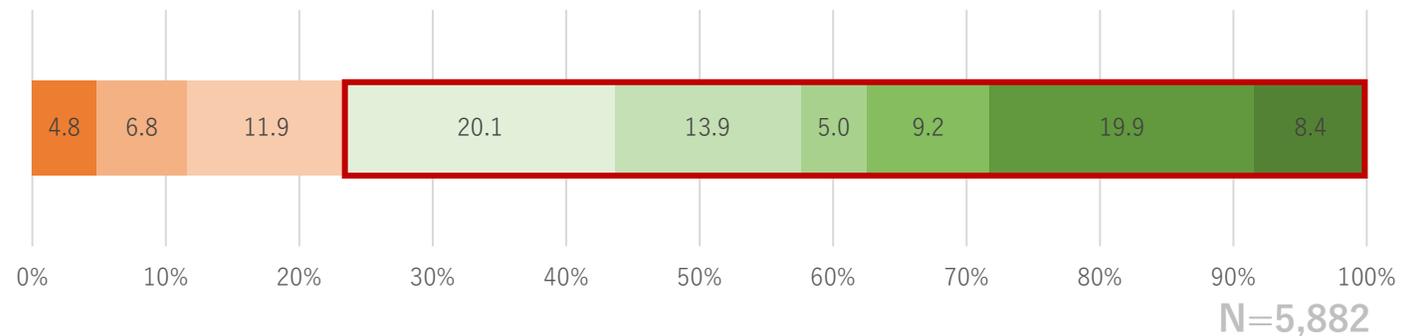
1週間未満    1-2週間未満    2週間-1ヶ月未満    1ヶ月-3ヶ月未満    3ヶ月-6ヶ月未満  
6ヶ月-9ヶ月未満    9ヶ月-1年未満    1年-2年未満    2年以上

【学生時代】  
自身の  
育休取得期間の意向



76.5%

【学生時代】  
配偶者に対する  
育休取得期間の意向



76.5%

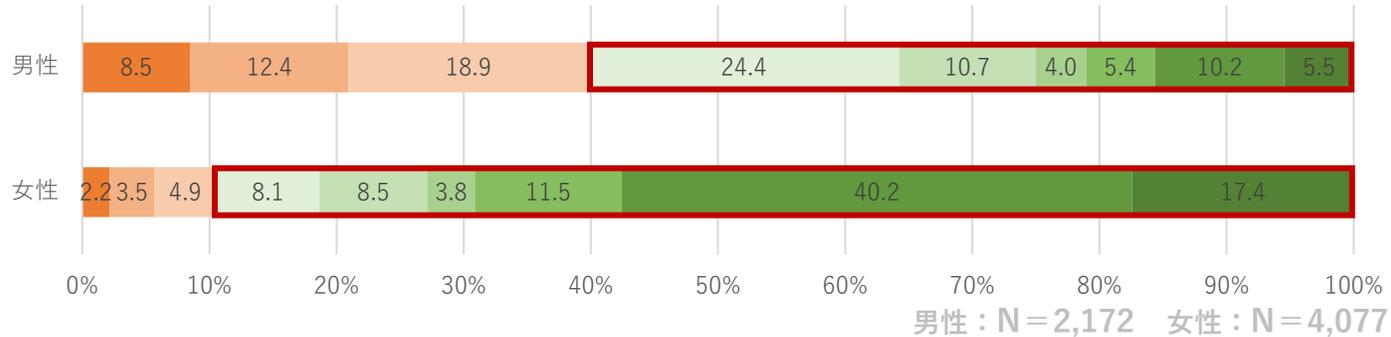
社会人の「学生時代」の意向として、  
自身が育休を1か月以上取得したいと考えていた男性は60.2%、女性は89.5%。  
配偶者に育休を1か月以上取得してほしいと考えていた男性は72.4%、女性は79.9%。

■あなたは、ご自身で育休をどの程度取得したいと思いますか。  
また、配偶者に育休をどの程度取得してほしいと思いますか。 ※育休を取得したいと考えている方が対象

1か月以上の  
取得を希望

1週間未満 1-2週間未満 2週間-1ヶ月未満 1ヶ月-3ヶ月未満 3ヶ月-6ヶ月未満  
6ヶ月-9ヶ月未満 9ヶ月-1年未満 1年-2年未満 2年以上

【学生時代】  
自身の  
育休取得期間の意向



60.2%

89.5%

【学生時代】  
配偶者に対する  
育休取得期間の意向



72.4%

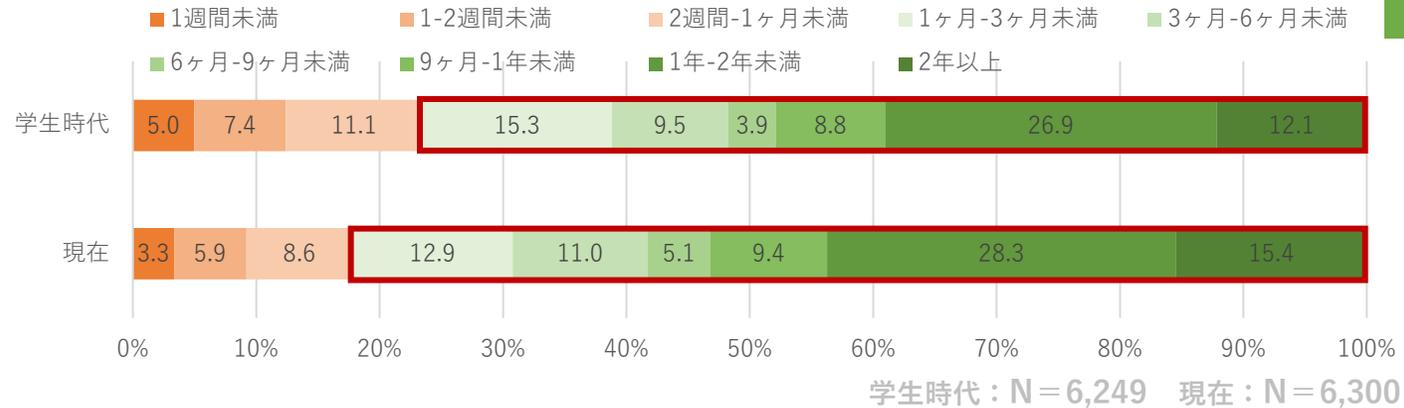
79.9%

社会人の「学生時代」と「現在」の意向を比較すると、  
 自身が育休を1か月以上取得したい：学生時代76.5%、現在82.1%  
 配偶者に育休を1か月以上取得してほしい：学生時代76.5%、現在77.0%

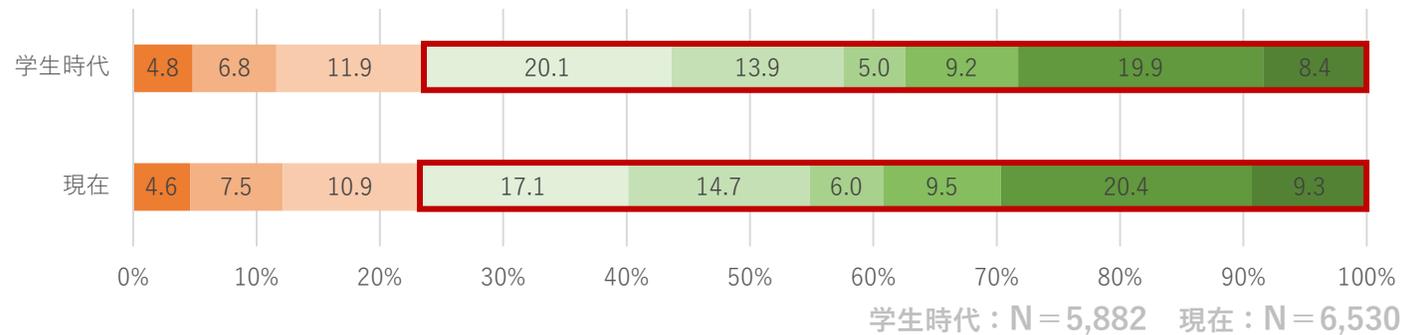
■あなたは、ご自身で育休をどの程度取得したいと思いますか。  
 また、配偶者に育休をどの程度取得してほしいと思いますか。  
※育休を取得したいと考えている方が対象

1か月以上の  
取得を希望

自身の育休取得  
期間の意向



配偶者に対する  
育休取得期間の意向

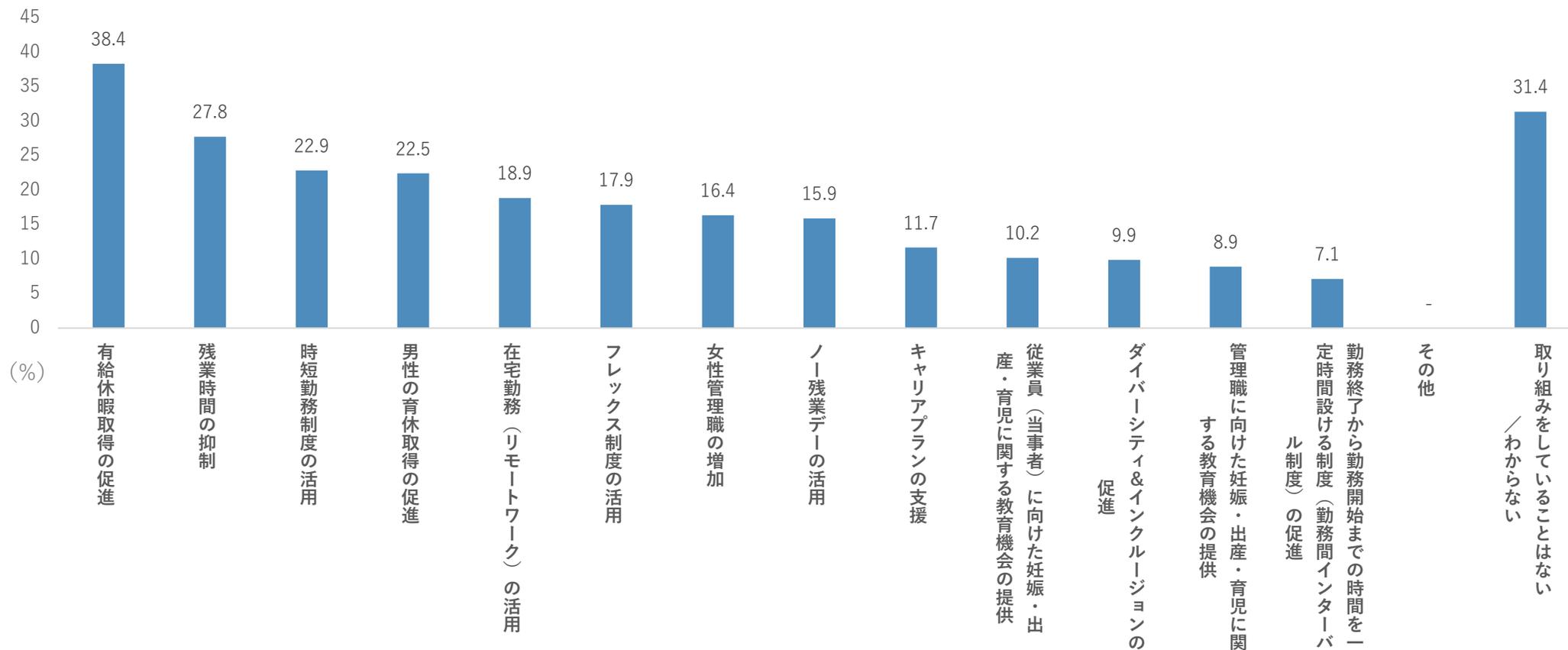


# 社会人調査

※社会人調査対象者のうち、結婚や子育て意向のある社会人1-5年目の社会人1,011名が対象

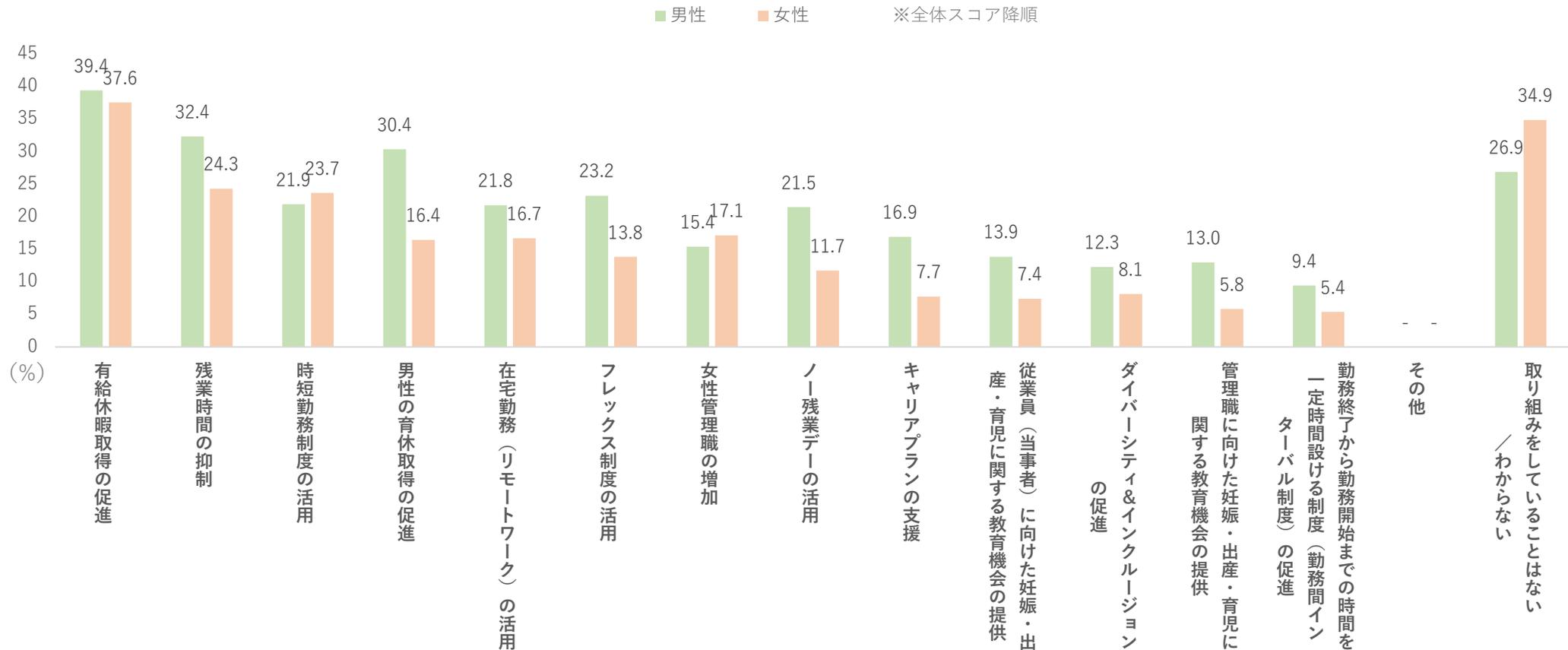
企業が実施している働き方等の取り組みは、「有給休暇取得の促進」が最も高く、次いで「取り組みをしていることはない/分からない」が高い。

■ あなたの勤める企業は、現在それぞれの働き方や休暇制度の促進などに対する取り組みはされていますか。



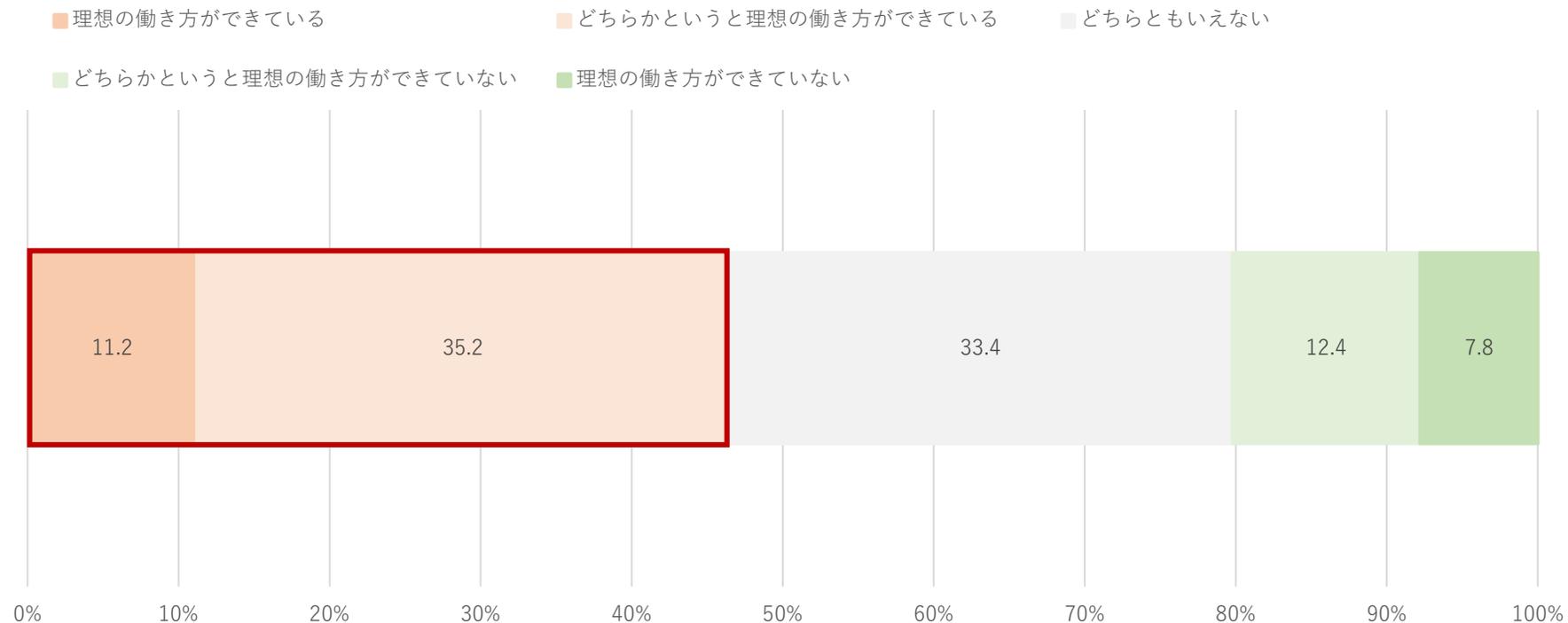
企業が実施している働き方等の取り組みは、  
男女ともに、「有給休暇取得の促進」が最も高い。

■ あなたの勤める企業は、現在それぞれの働き方や休暇制度の促進などに対する取り組みはされていますか。



理想の働き方ができている社会人は46.4%。

■あなたは現在理想の働き方ができていますか。

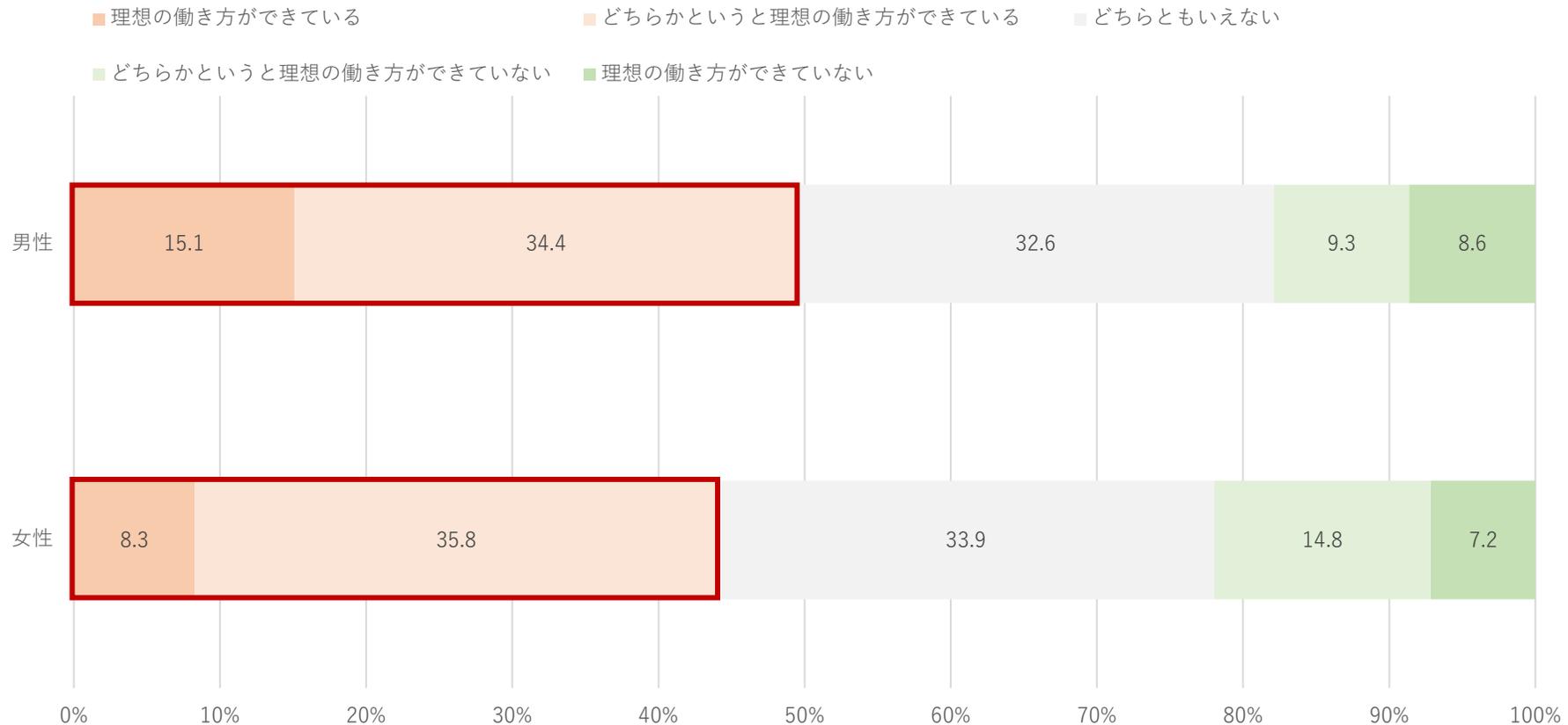


理想の働き方ができている+  
どちらかという理想の  
働き方ができている

46.4%

理想の働き方ができている男性は49.5%、女性は44.1%。

### ■あなたは現在理想の働き方ができていますか。



理想の働き方ができている+  
どちらかという理想の  
働き方ができている

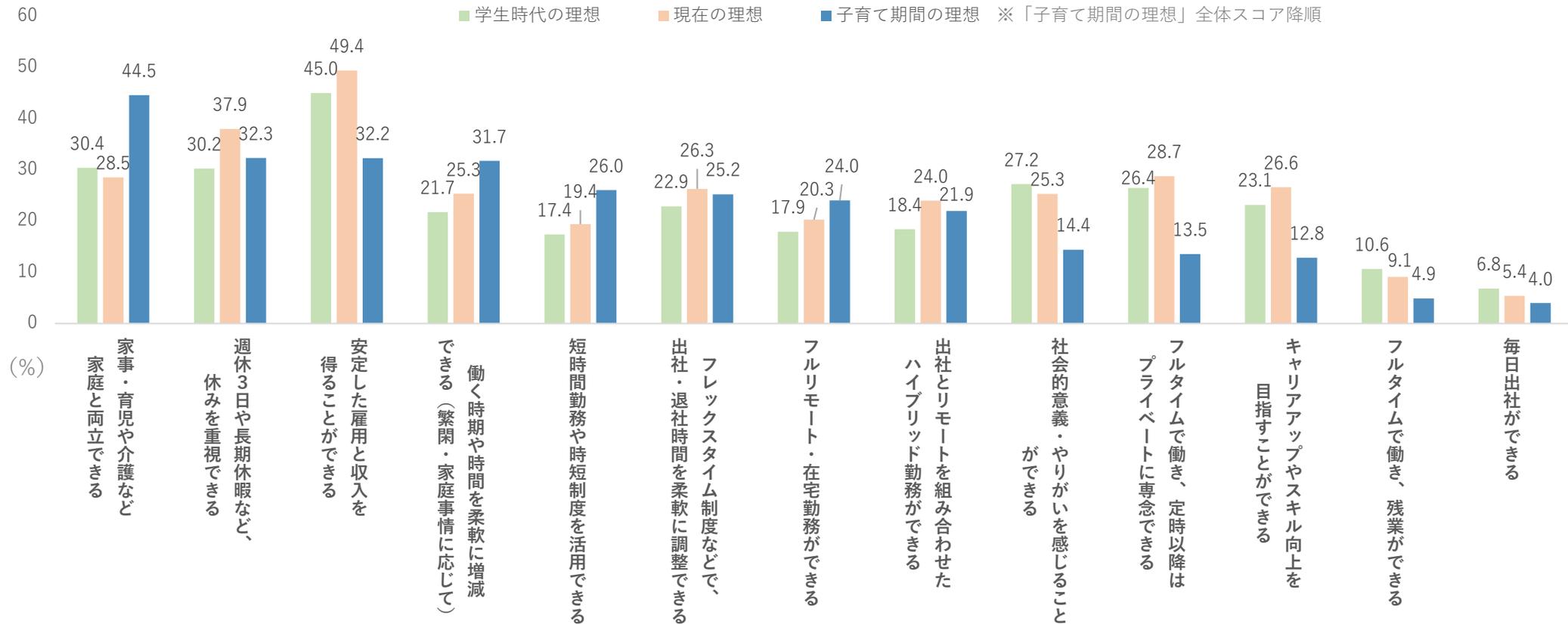
49.5%

44.1%

男性：  
N = 424  
女性：  
N = 587

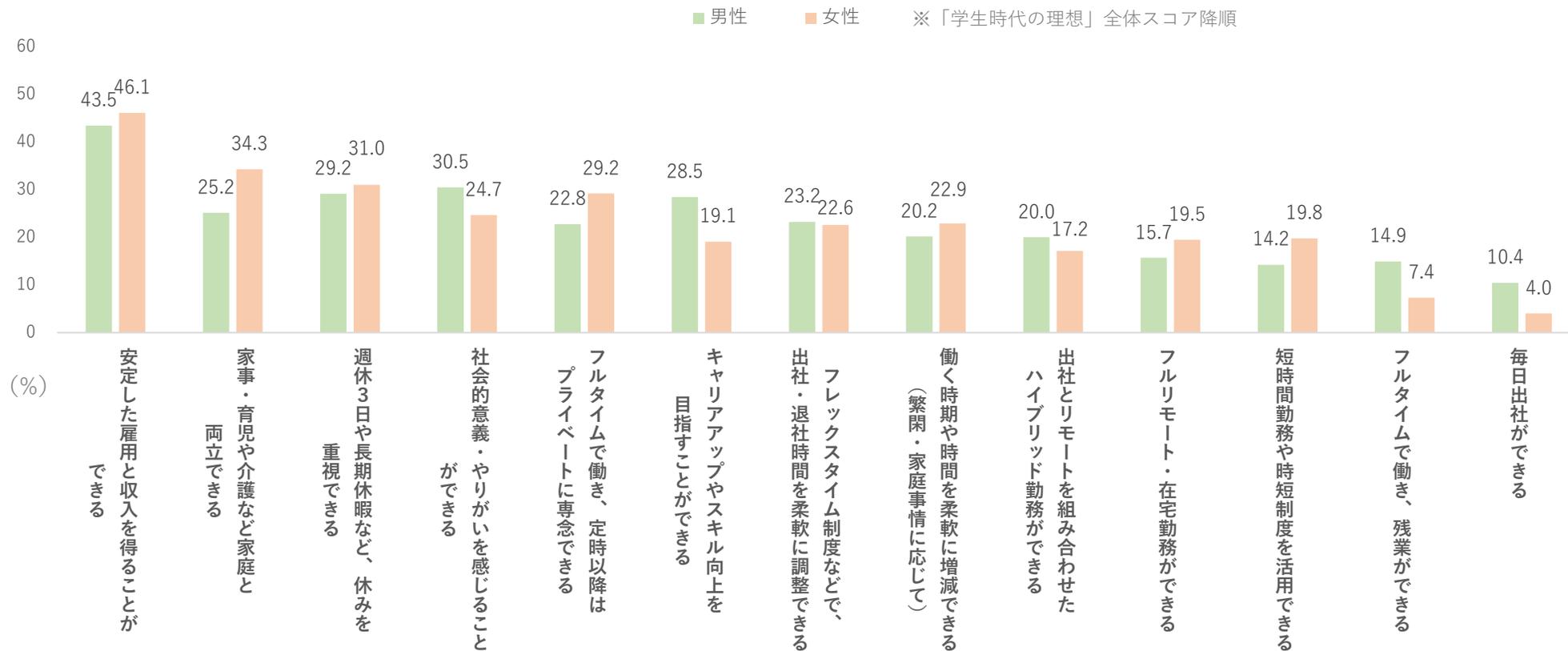
理想の働き方としてそれぞれの時期で重視する社会人が最も多い項目は、  
 就活時、現在：「安定した雇用と収入を得ることができる」  
 子育て期間：「家事・育児や介護など家庭と両立できる」

■ あなたの理想の働き方について、就活時、現在、子育てをする時期のそれぞれ教えてください。



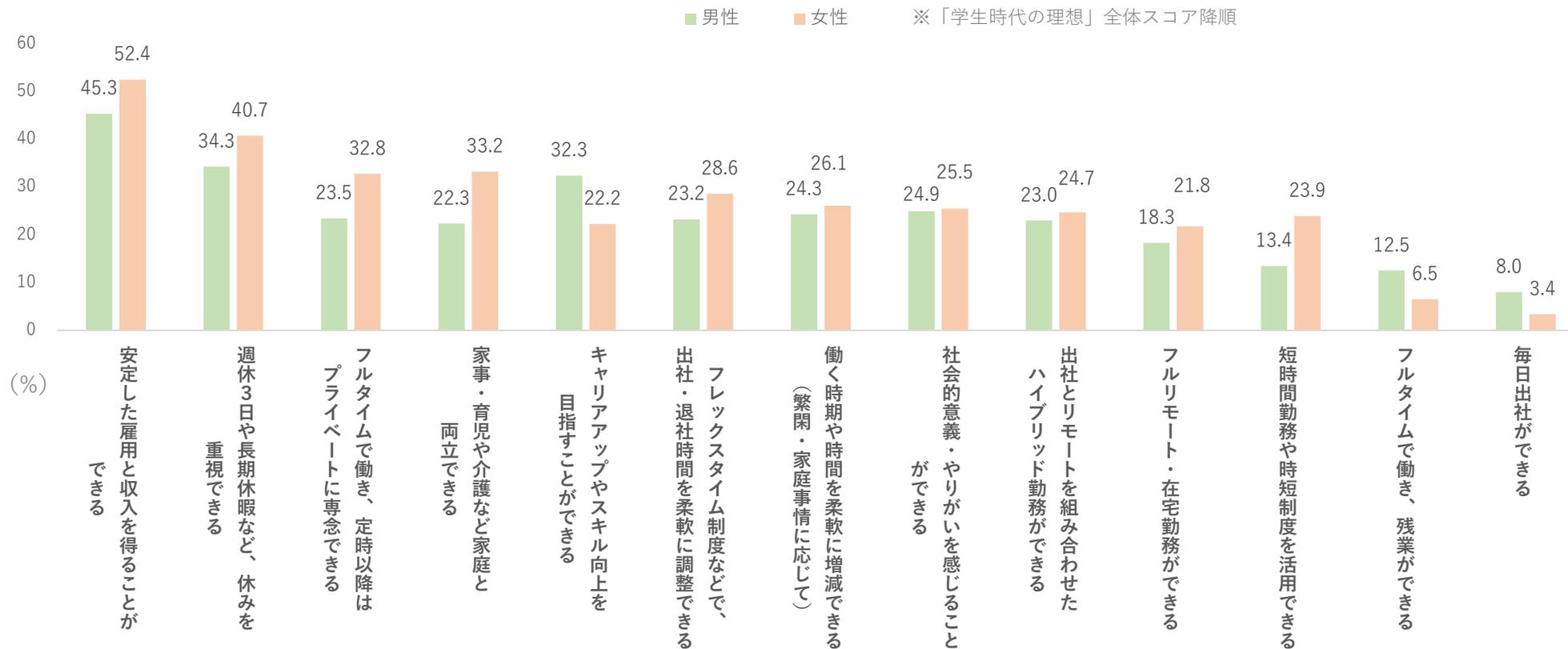
理想の働き方として「就活時」に重視する社会人が最も多い項目は、男女ともに「安定した雇用と収入を得ることができる」。

■ あなたの理想の働き方について、就活時、現在、子育てをする時期のそれぞれ教えてください。



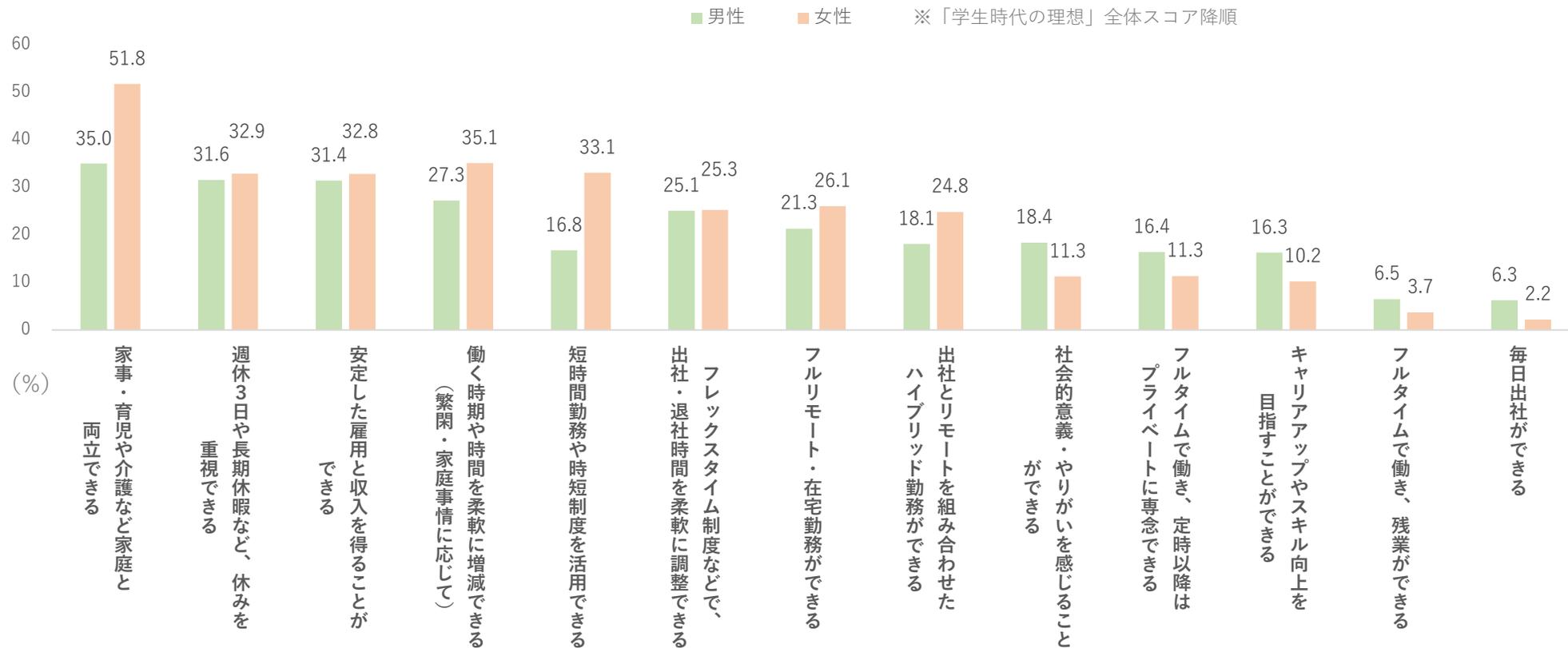
理想の働き方として「現在」重視する社会人が最も多い項目は、男女ともに「安定した雇用と収入を得ることができる」。

■ あなたの理想の働き方について、就活時、現在、子育てをする時期のそれぞれ教えてください。



理想の働き方として「子育て期」に重視する社会人が最も多い項目は、男女ともに「家事・育児や介護など家庭と両立できる」。

■ あなたの理想の働き方について、就活時、現在、子育てをする時期のそれぞれ教えてください。



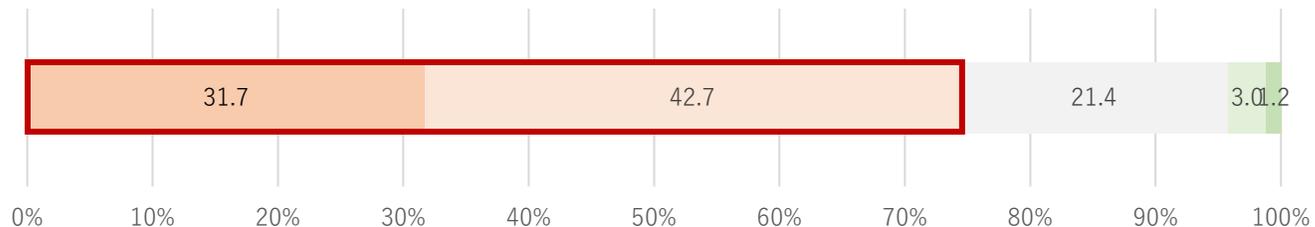
理想の働き方が実現した際に、  
 仕事のモチベーションが向上する社会人：74.4%  
 仕事と育児を両立することのモチベーションが向上する社会人：79.9%  
 家事育児に対するモチベーションが向上する社会人：78.1%

■理想の働き方が実現した際、以下のそれぞれのモチベーションがどの程度変化するかを教えてください。

※子育て期間理想の働き方がある方が対象

■ 向上する ■ どちらかというと向上する ■ どちらともいえない ■ どちらかというと向上しない ■ 向上しない

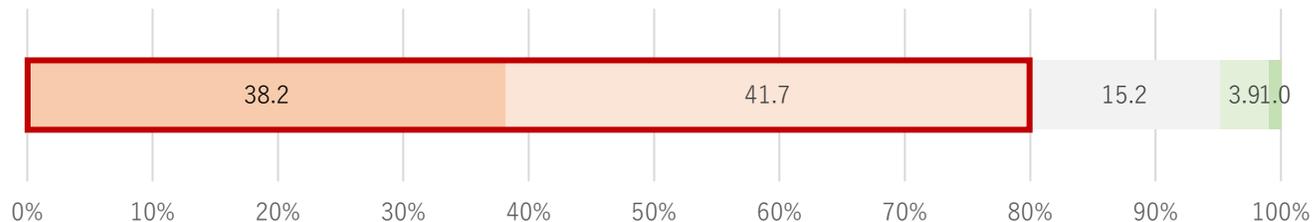
仕事のモチベーション



向上する+  
 どちらかという  
 と向上する

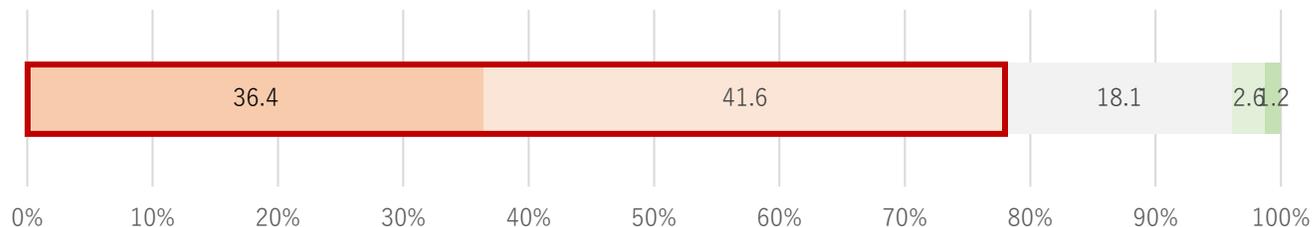
74.4%

仕事と育児を両立することのモチベーション



79.9%

家事育児に対するモチベーション



78.0%

理想の働き方が実現した際に、

仕事のモチベーションが向上：男性76.3%、女性73.0%

仕事と育児を両立することのモチベーションが向上：男性78.4%、女性81.0%

家事育児に対するモチベーションが向上：男性79.2%、女性77.2%

■理想の働き方が実現した際、以下のそれぞれのモチベーションがどの程度変化するかを教えてください。

※子育て期間理想の働き方がある方が対象

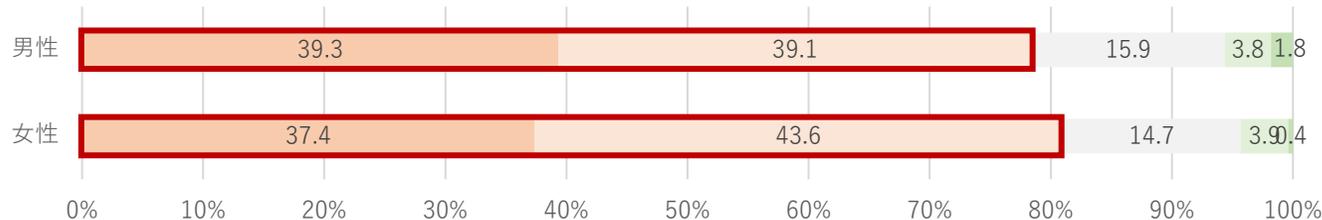
仕事のモチベーション



向上する+  
どちらかという  
向上する

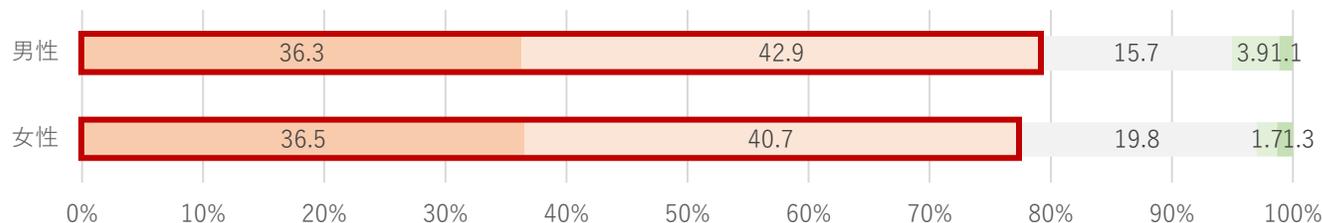
76.3%  
73.0%

仕事と育児を両立することのモチベーション



78.4%  
81.0%

家事育児に対するモチベーション



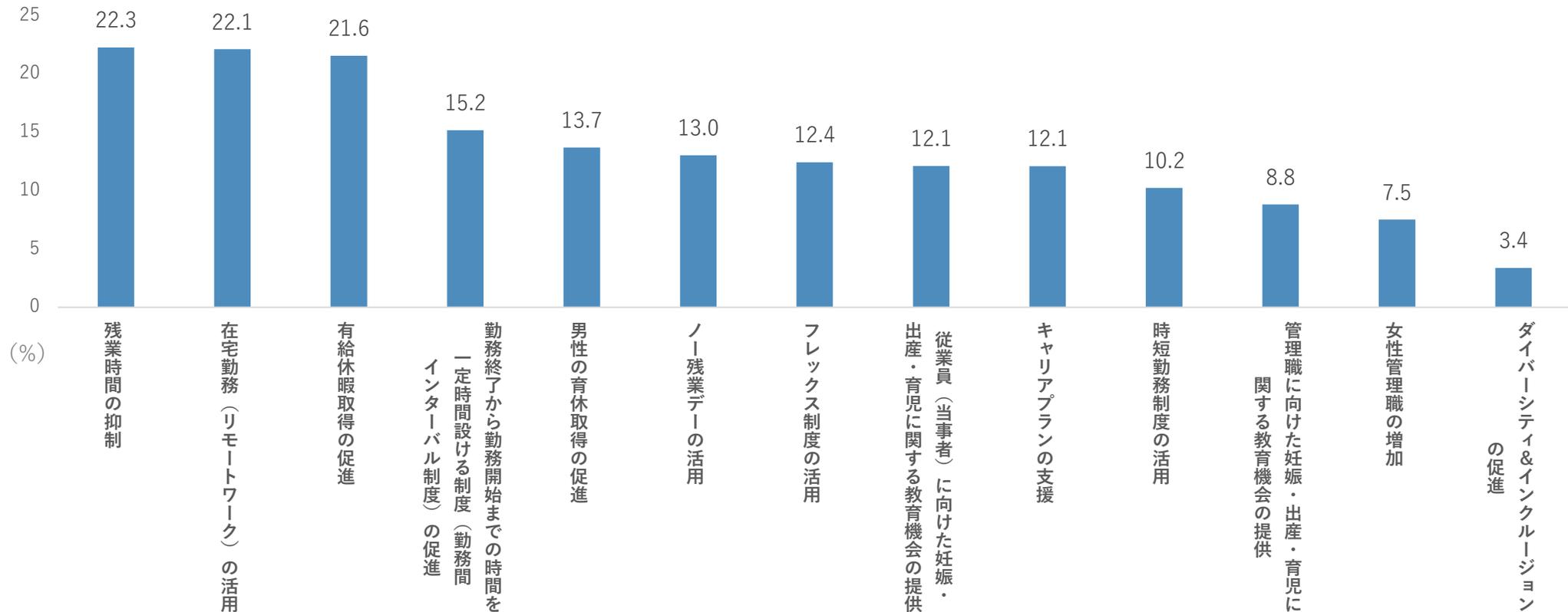
79.2%  
77.2%

男性：  
N = 366  
女性：  
N = 534

理想の働き方を実現するために社会人が求める支援は、「残業時間の抑制」を選んだ割合が最も高く、次いで「在宅勤務の活用」が高い。

■あなたが理想の働き方ができていないと感じる要因は、以下のどのような制度や取り組みが充実していないことにあると感じますか。

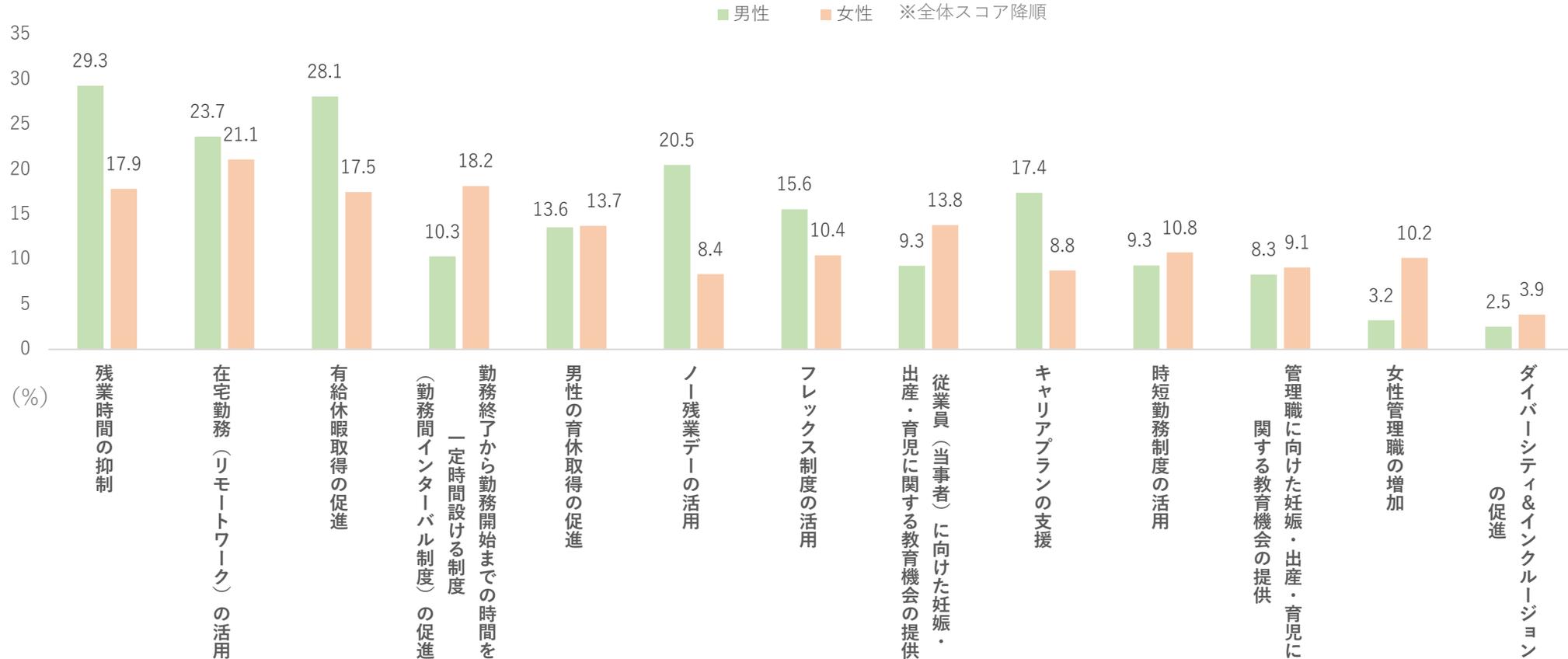
※理想の働き方できていない方が対象



理想の働き方実現に必要な支援は、  
男性で「残業時間の抑制」、女性で「在宅勤務の活用」が最も高い。

■あなたが理想の働き方ができていないと感じる要因は、以下のどのような制度や取り組みが充実していないことにありますか。

※理想の働き方できていない方が対象

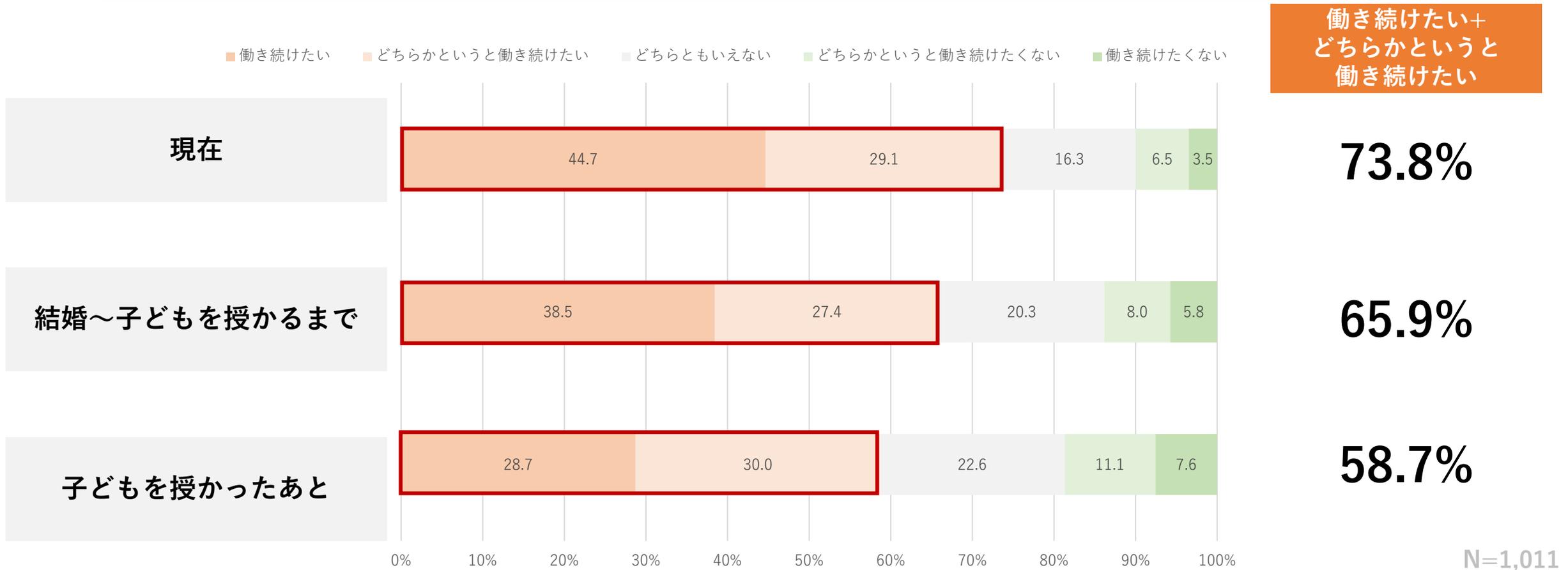


現在、今の職場で働き続けたい：73.8%

結婚してから子どもを授かるまでの期間、今の職場で働き続けたい：65.9%

子どもを授かった後の期間、今の職場で働き続けたい：58.7%

■それぞれの期間の中で、あなたはどの程度今の職場で働き続けたいと考えていますか。



今の職場で働き続ける意向は、  
現在：男性74.8%、女性73.0%

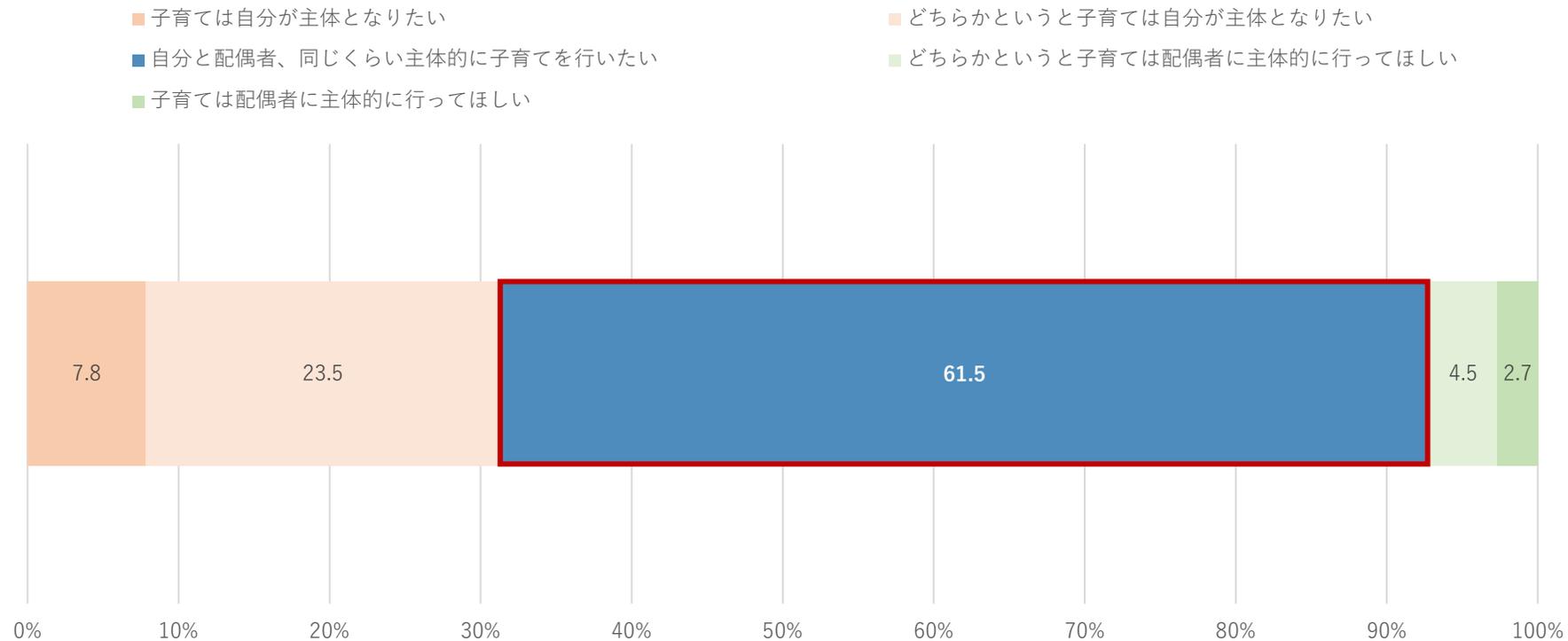
結婚してから子どもを授かるまでの期間：男性61.0%、女性72.5%  
子どもを授かった後の期間：男性69.2%、50.7%

■それぞれの期間の中で、あなたはどの程度今の職場で働き続けたいと考えていますか。



子育てへの関わり方について、  
「自分と配偶者、同じくらい主体的に子育てを行いたい」と回答した社会人は61.5%。

### ■あなたは将来子育てにどの程度関わりたいと思いますか。



自分と配偶者、  
同じくらい主体的に  
子育てを行いたい

61.5%

子育てへの関わり方について、  
「自分と配偶者、同じくらい主体的に子育てを行いたい」と回答した男性は64.4%、  
女性は59.3%。

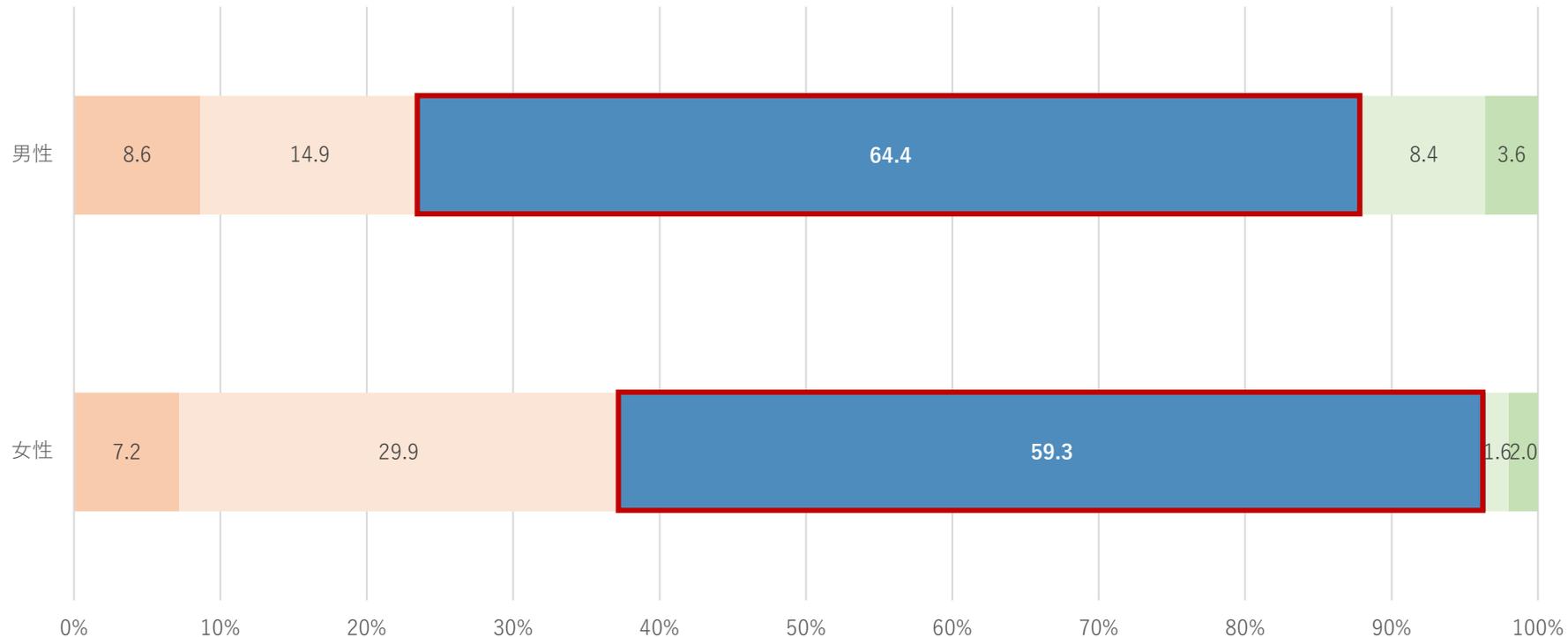
### ■あなたは将来子育てにどの程度関わりたいと思いますか。

- 子育ては自分が主体になりたい
- 自分と配偶者、同じくらい主体的に子育てを行いたい
- 子育ては配偶者に主体的に行ってほしい
- どちらかという子育ては自分が主体になりたい
- どちらかという子育ては配偶者に主体的に行ってほしい

自分と配偶者、  
同じくらい主体的に  
子育てを行いたい

64.4%

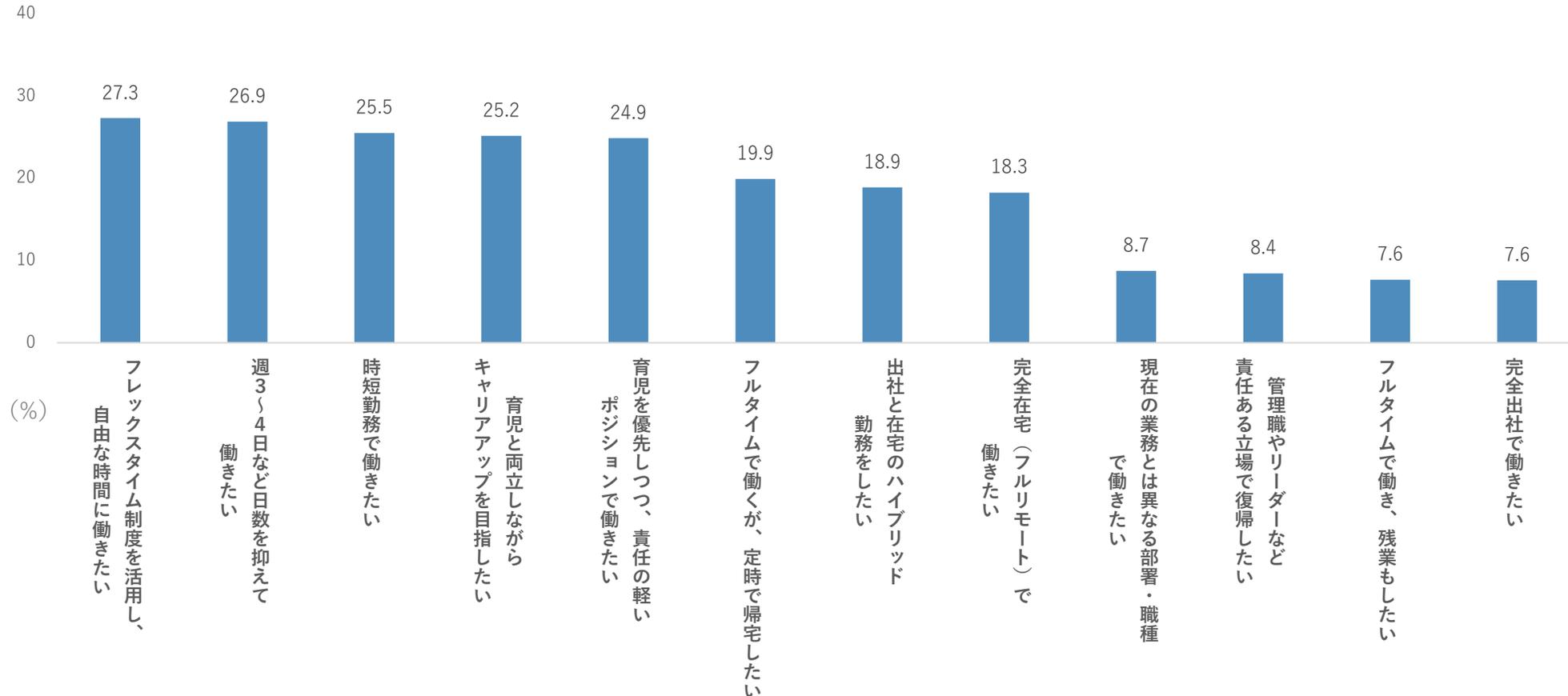
59.3%



男性：  
N = 424  
女性：  
N = 587

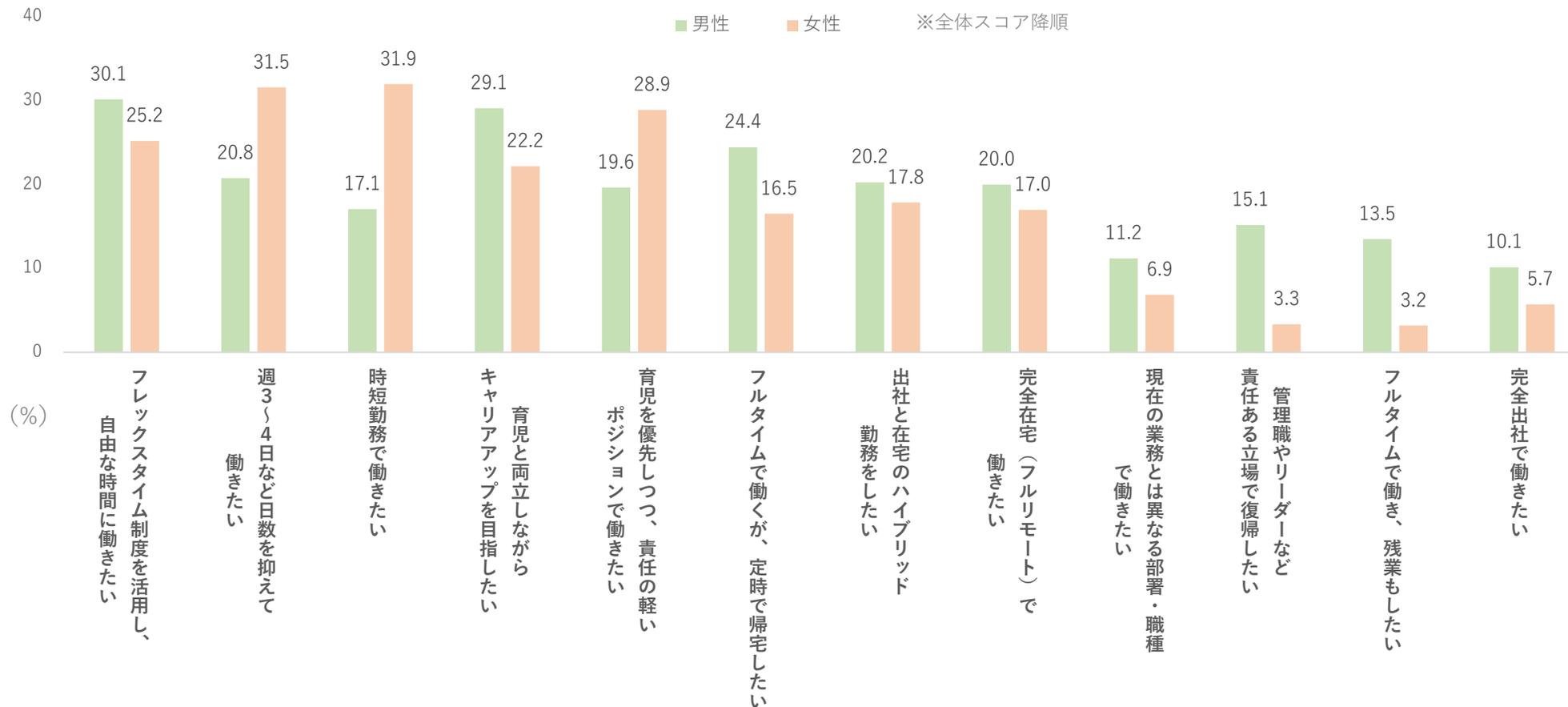
社会人の育休取得後の理想の働き方は、「フレックスタイム制度を活用し、自由な時間に働きたい」が最も高く、次いで「週3～4日など日数を抑えて働きたい」が高い。

■あなたが育休取得後に理想とする働き方を教えてください。



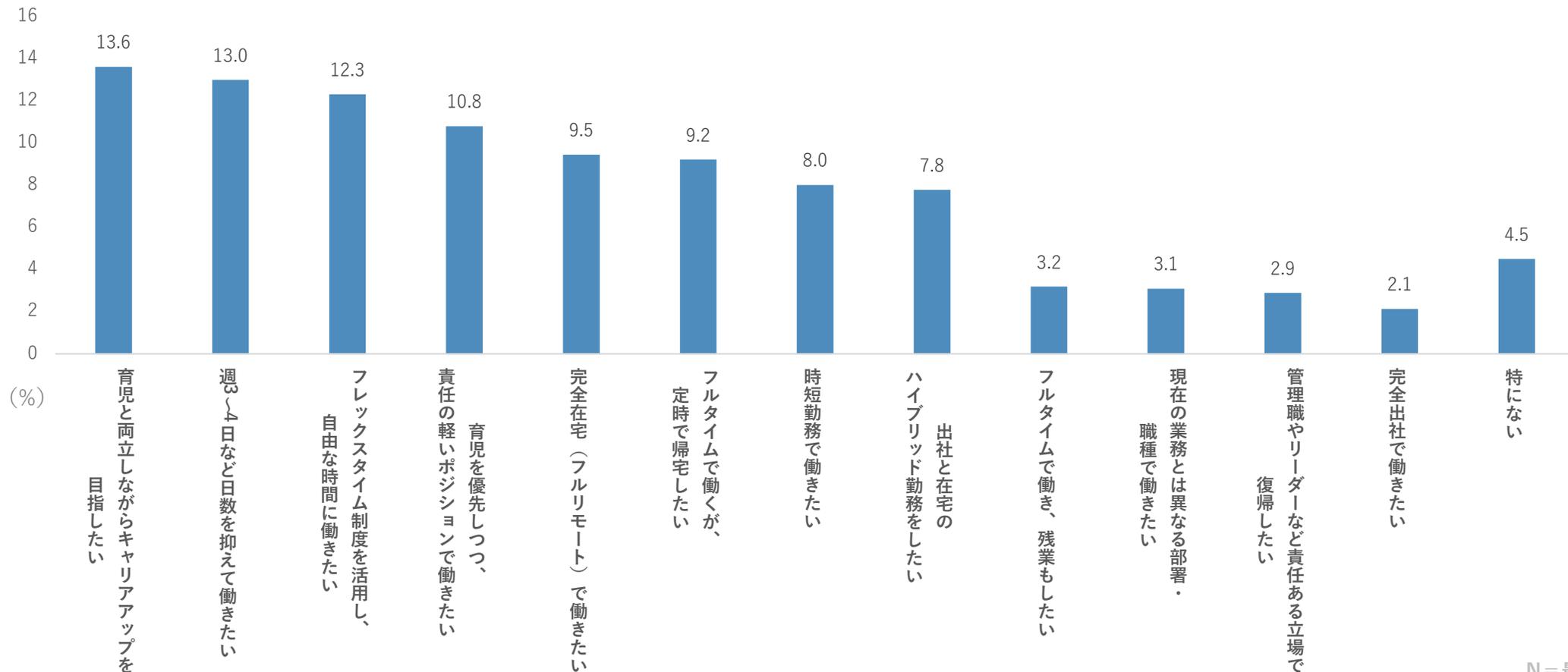
社会人の育休取得後の理想の働き方として、  
男性は「フレックスタイム制度を活用し、自由な時間に働きたい」が最も高く、  
女性は「時短勤務で働きたい」が最も高い。

■あなたが育休取得後に理想とする働き方を教えてください。



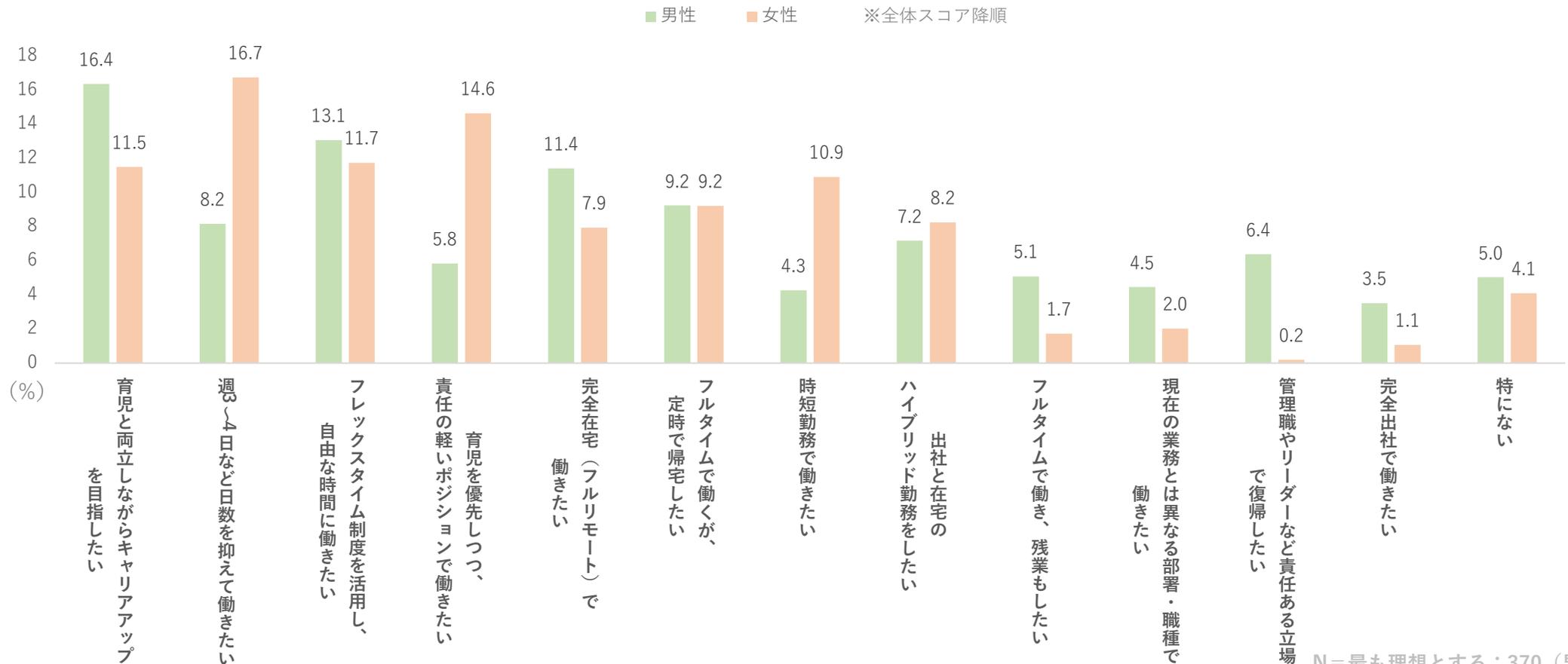
社会人の最も理想とする働き方として、  
「育児と両立しながらキャリアアップを目指したい」が最も高い。

■あなたが育休取得後に理想とする働き方を教えてください。



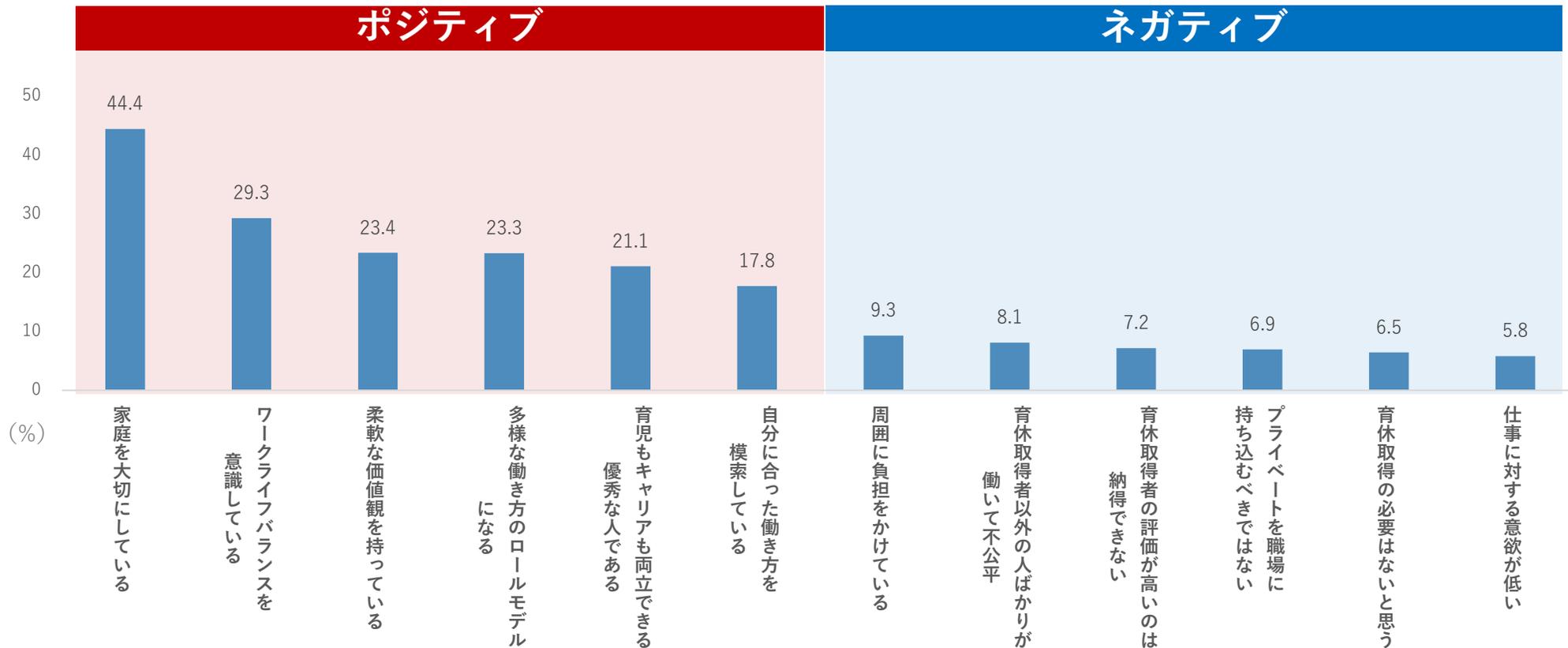
育休取得後の理想の働き方として、  
男性は「育児と両立しながらキャリアアップを目指したい」が最も高く、  
女性は「週3～4日など日数を抑えて働きたい」が最も高い。

■あなたが育休取得後に理想とする働き方を教えてください。



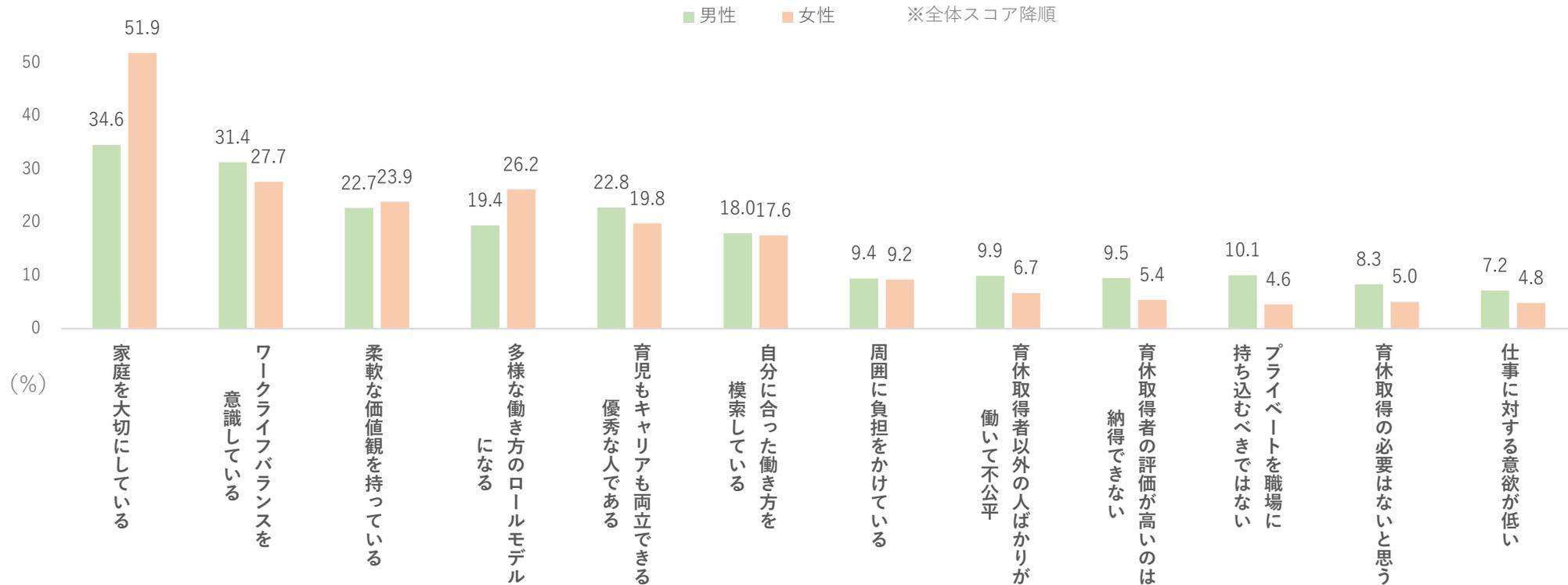
男性育休取得者に対してポジティブな印象を抱く社会人が多い。  
 男性育休取得者へのイメージとして、「家庭を大切にしている」が最も高い。

■あなたが育休取得者に抱いている印象を教えてください。



男性育休取得者に抱いているイメージは、  
男女ともに「家庭を大切にしている」が最も高く、  
次いで「ワークライフバランスを意識している」が高い。

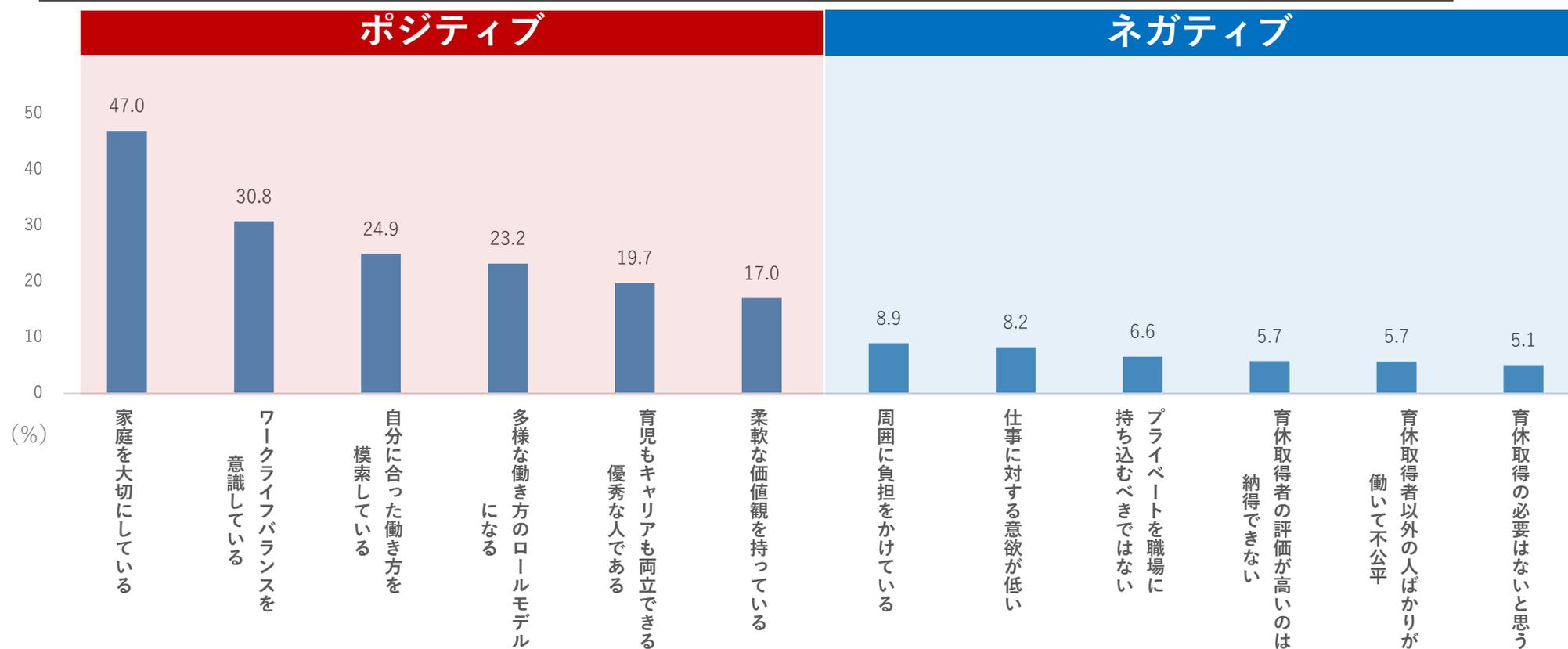
■あなたが育休取得者に抱いている印象を教えてください。



男性：  
N = 424  
女性：  
N = 587

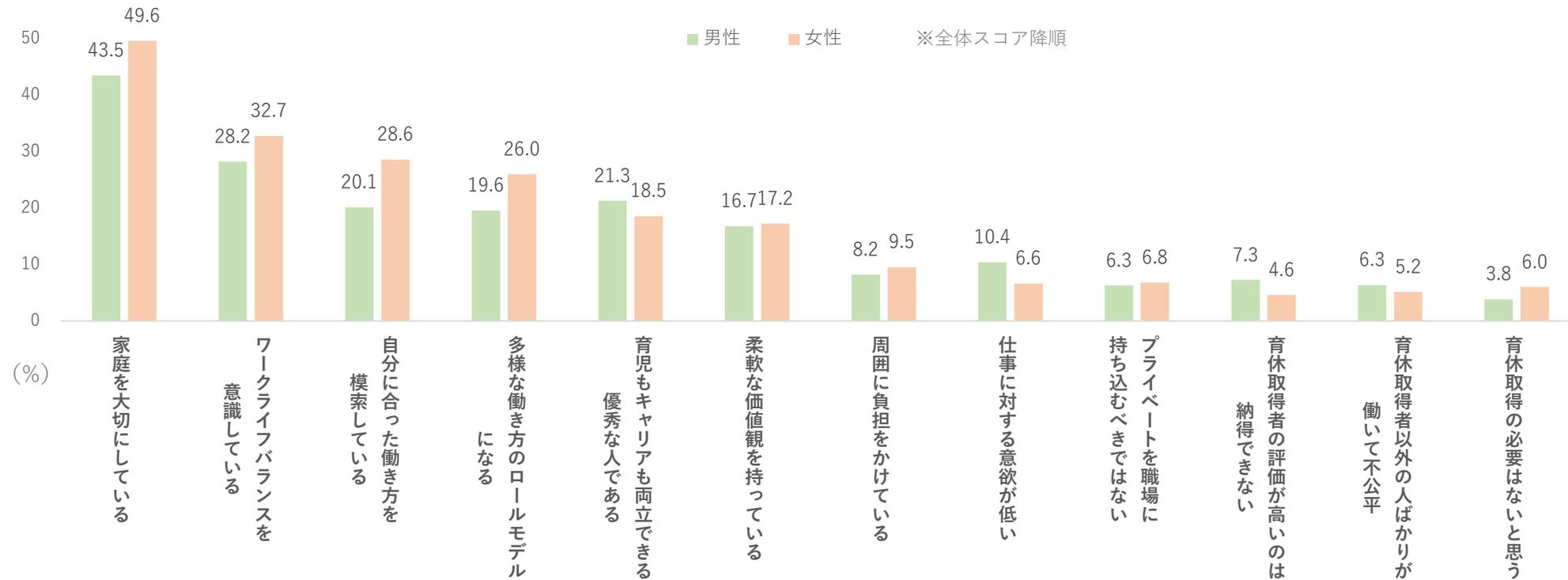
女性育休取得者に対してポジティブな印象を抱く社会人が多い。  
女性育休取得者へのイメージとして、「家庭を大切にしている」が最も高い。

■あなたが育休取得者に抱いている印象を教えてください。



女性育休取得者に抱いているイメージは、男女ともに「家庭を大切にしている」が最も高く、次いで「ワークライフバランスを意識している」が高い。

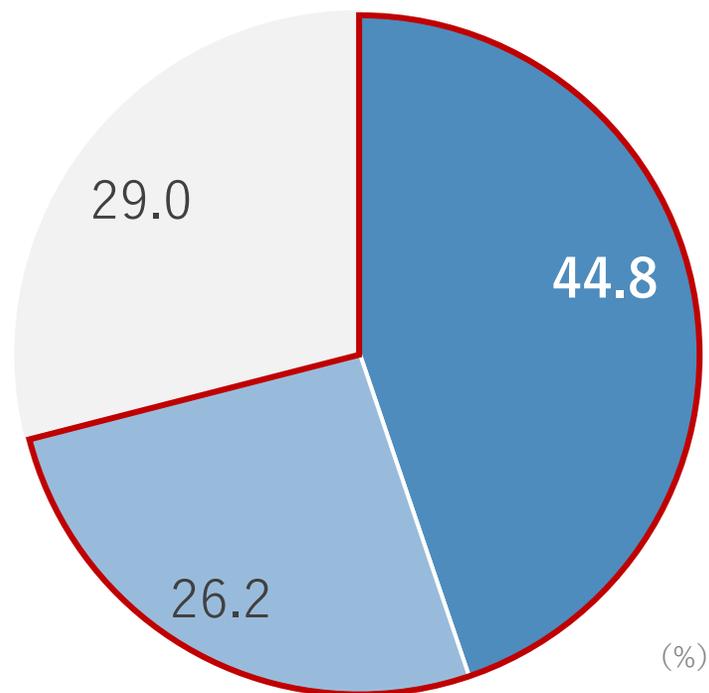
■あなたが育休取得者に抱いている印象を教えてください。



社内で身近に育休取得者がいる/いた社会人：44.8%。  
 身近にはいないが、社内に育休取得者がいる/いた社会人：26.2%。

■ あなたの勤める会社では、身近に育休取得者がいますか。

■ 社内で身近に育休取得者がいる/いた   ■ 身近にはいないが、社内に育休取得者がいる/いた   ■ 社内に育休取得者がいない



社内に育休取得者が  
いる/いた

**71.0%**

社内で身近に育休取得者がいる/いた：男性49.8%、女性41.0%  
 身近にはいないが、社内に育休取得者がいる/いた：男性25.7%、女性26.6%

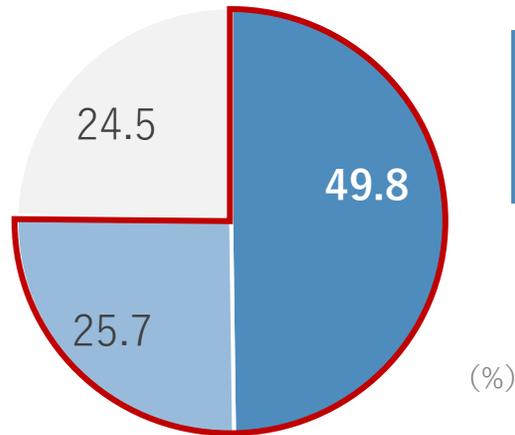
■ あなたの勤める会社では、身近に育休取得者がいますか。

■ 社内で身近に育休取得者がいる/いた

■ 身近にはいないが、社内に育休取得者がいる/いた

■ 社内に育休取得者がいない

男性

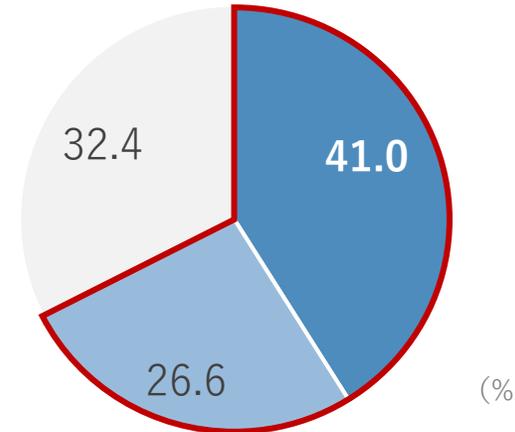


社内に育休取得者が  
いる/いた

**75.5%**

(%)

女性



社内に育休取得者が  
いる/いた

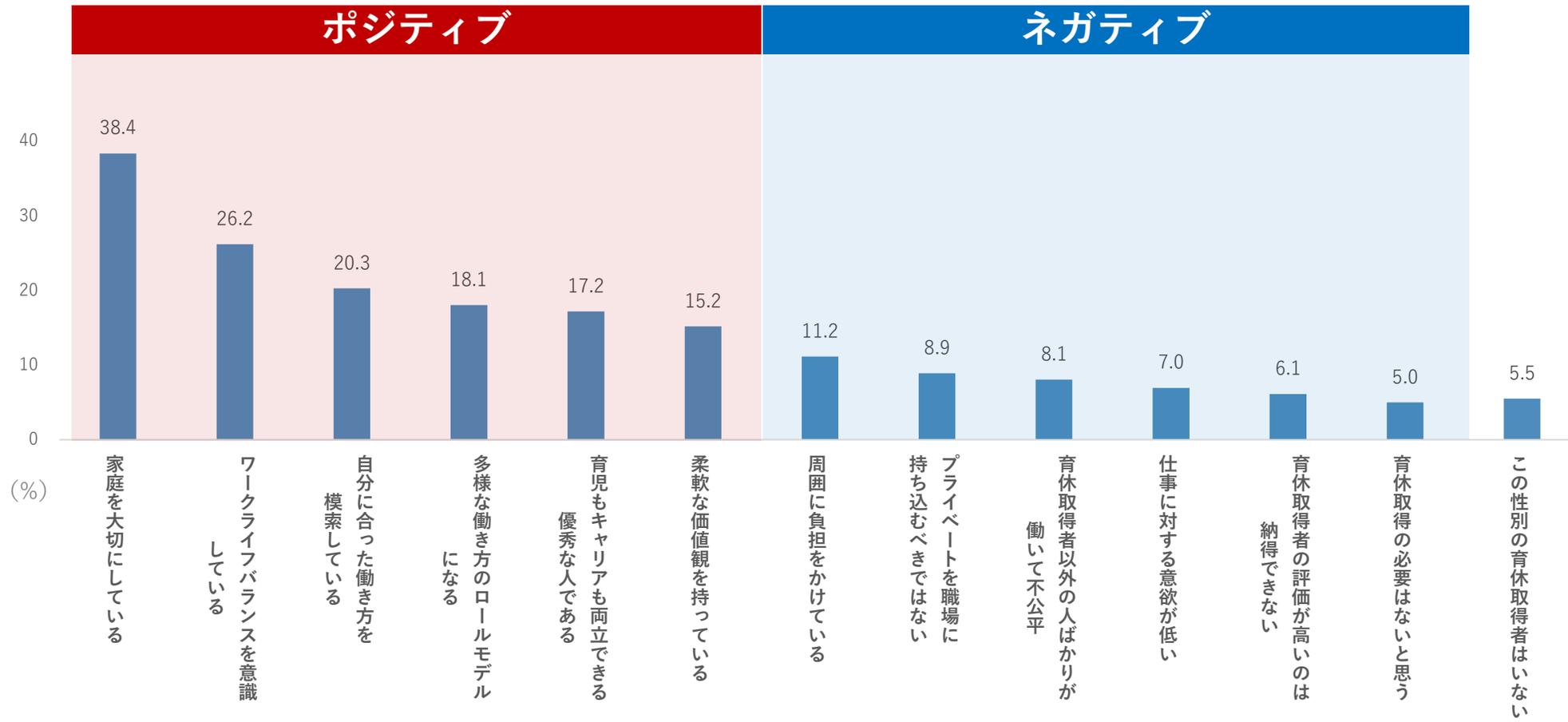
**67.6%**

(%)

# 女性育休取得者に対する社内の雰囲気は ポジティブな印象であると感じている社会人が多い。

■ 育休取得者に対する社内の印象として、あなたが感じていることをすべて教えてください。

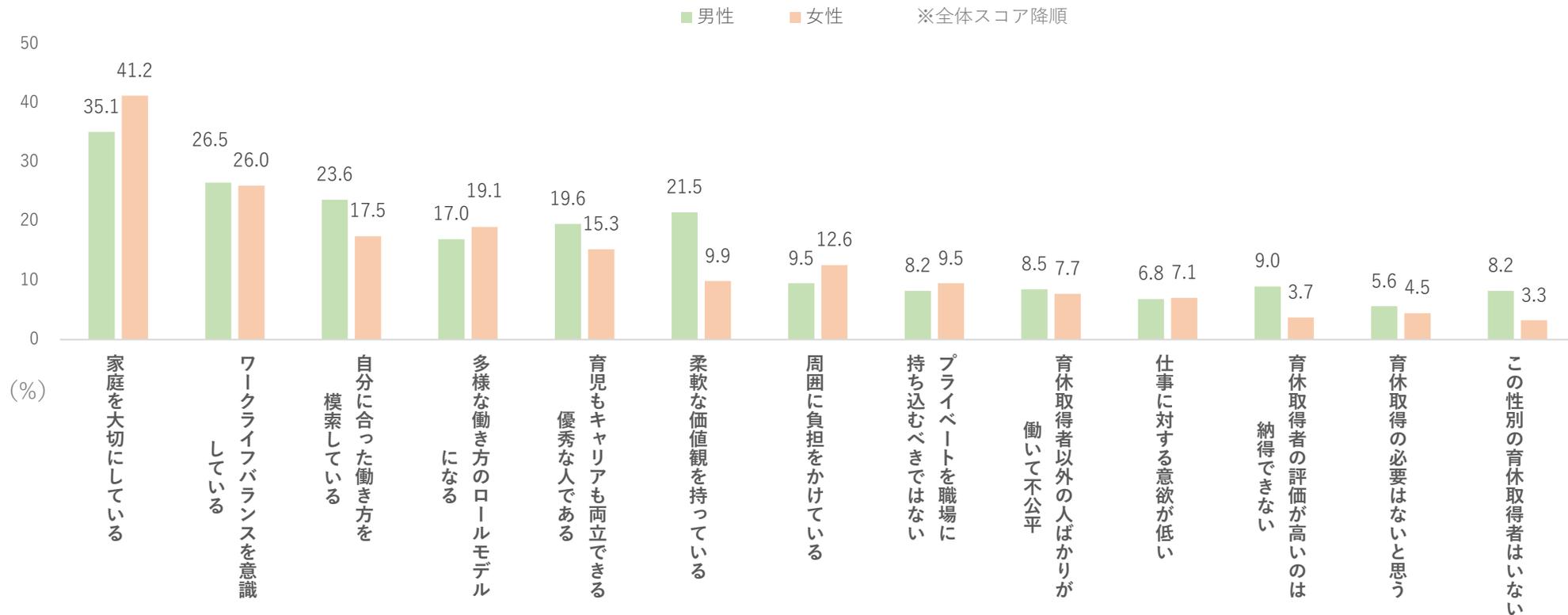
※社内に育休取得者がいる方が対象



女性育休取得者に対する社内の雰囲気として、男女ともに「家庭を大切にしている」を選んだ割合が最も高い。

■ 育休取得者に対する社内の印象として、あなたが感じていることをすべて教えてください。

※社内に育休取得者がいる方が対象

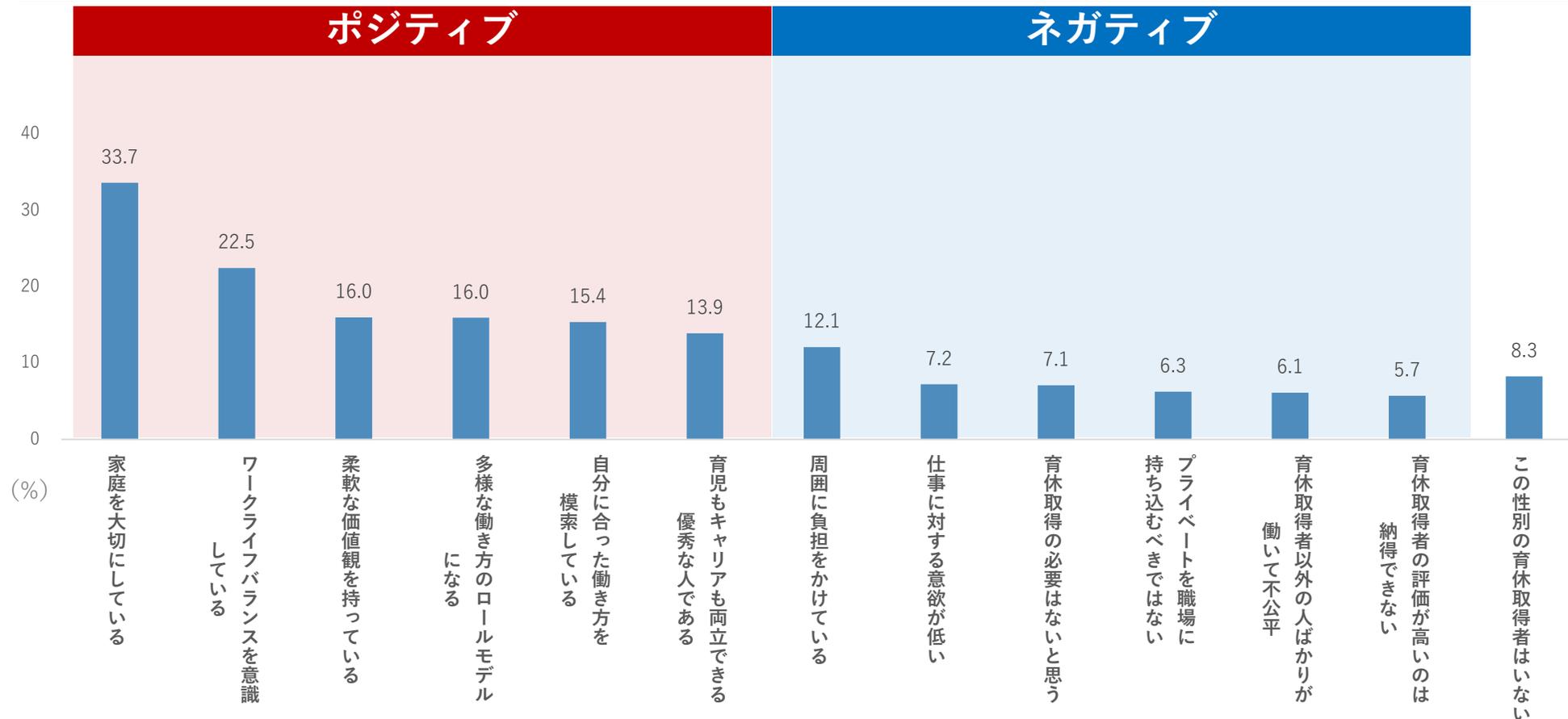


男性：N = 316  
女性：N = 408

# 男性育休取得者に対する社内の雰囲気は ポジティブな印象であると感じている社会人が多い。

■ 育休取得者に対する社内の印象として、あなたが感じていることをすべて教えてください。

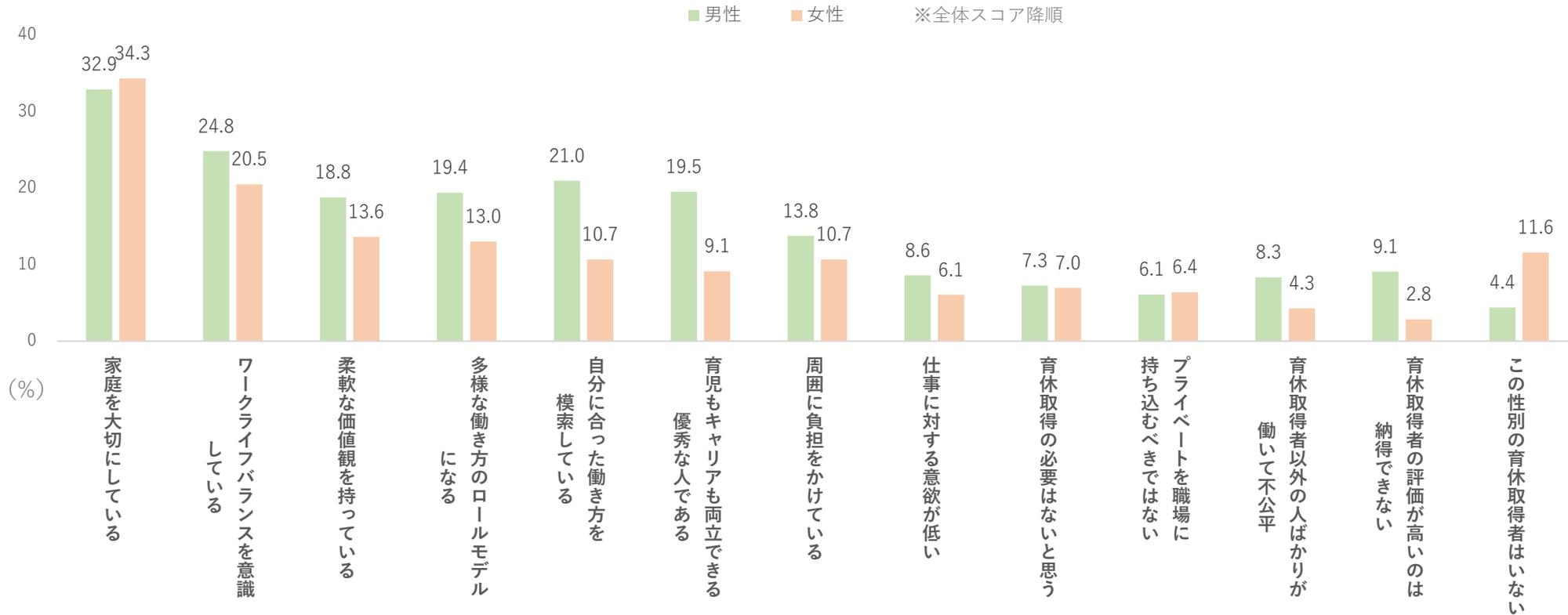
※社内に育休取得者がいる方が対象



男性育休取得者に対する社内の雰囲気として、  
男女ともに「家庭を大切にしている」を選んだ割合が最も高い。

■ 育休取得者に対する社内の印象として、あなたが感じていることをすべて教えてください。

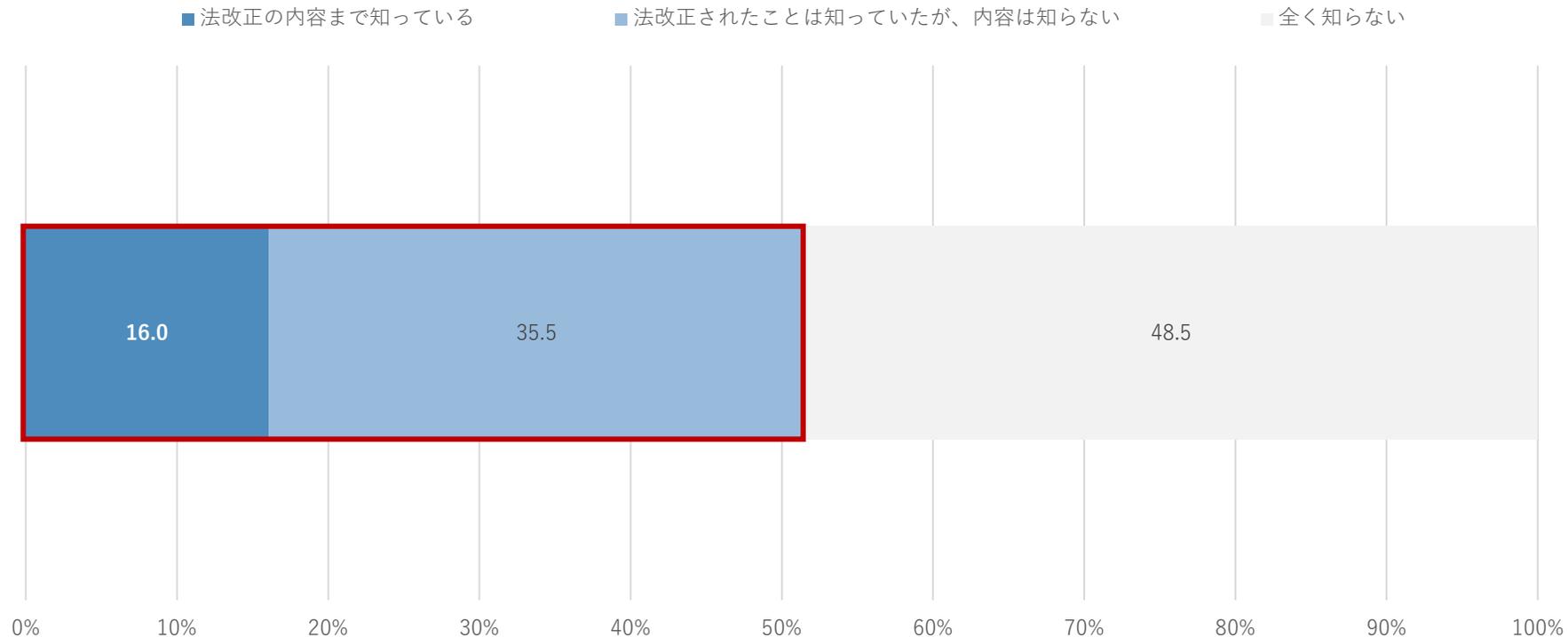
※社内に育休取得者がいる方が対象



男性：  
N = 316  
女性：  
N = 408

育児・介護休業法等の改正の内容まで知っている社会人は16.0%。  
法改正されたことは知っていたが、内容は知らない社会人は35.5%。

■あなたは、「育児・介護休業法」等に関する法改正が行われ、  
2025年4月1日から段階的に施行されていることをご存じでしたか。

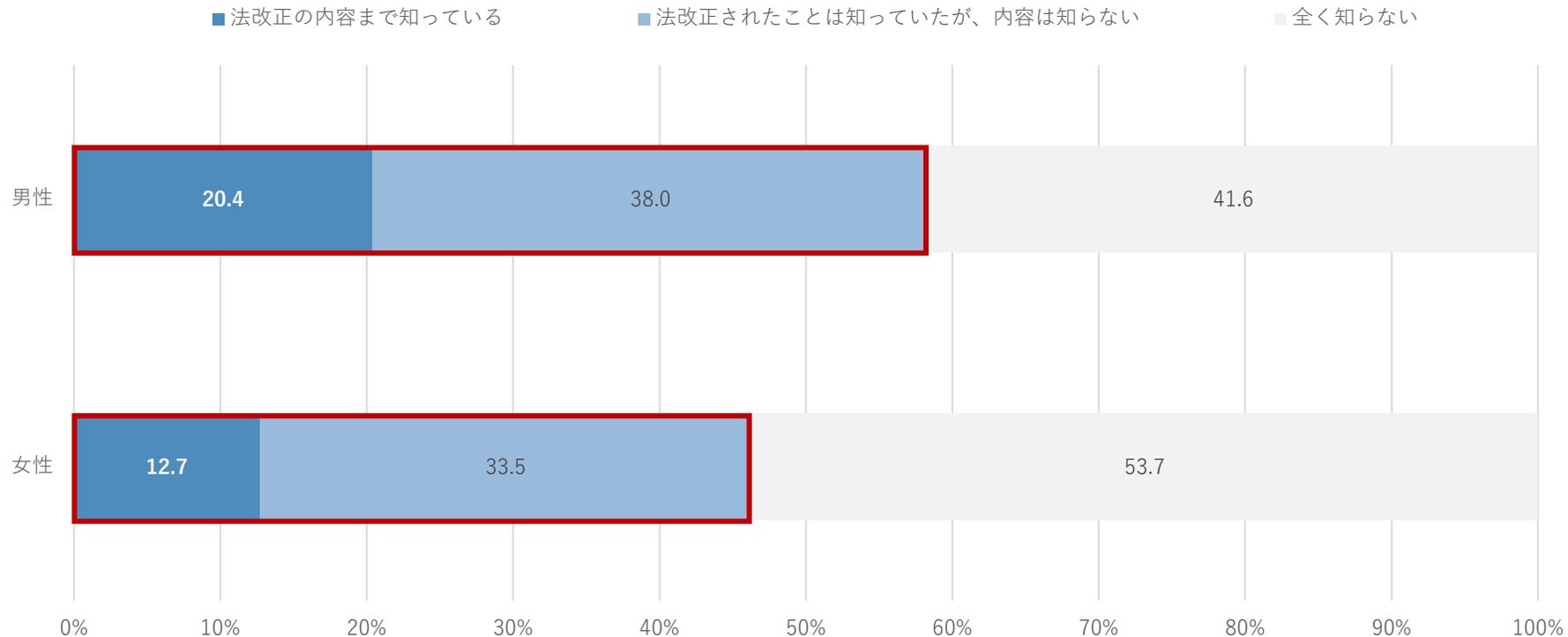


法改正されたことを  
知っていた

51.5%

育児・介護休業法等の改正の内容まで知っている男性は20.4%、女性は12.7%。  
法改正されたことは知っていたが、内容は知らない男性は38.0%、女性は33.5%。

■あなたは、「育児・介護休業法」等に関する法改正が行われ、  
2025年4月1日から段階的に施行されていることをご存じでしたか。



法改正されたことを  
知っていた

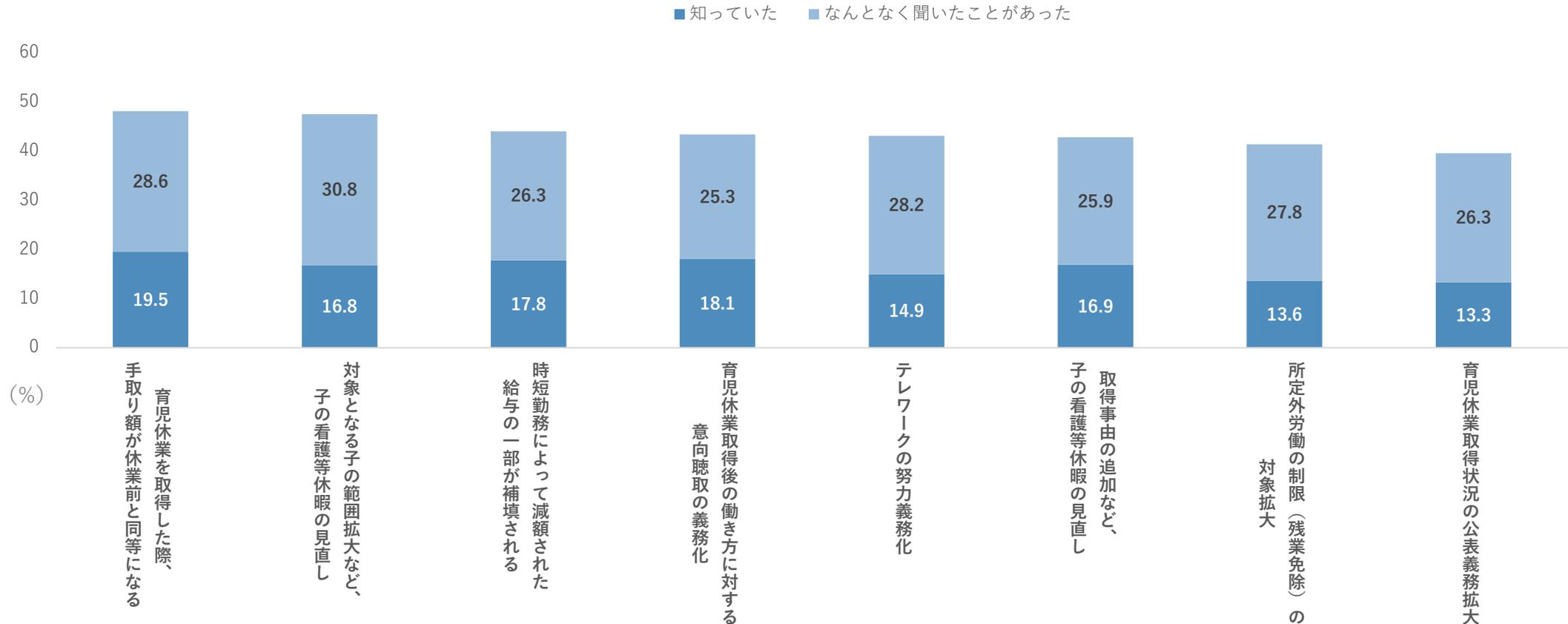
58.4%

46.2%

男性：  
N = 424  
女性：  
N = 587

社会人の育児・介護休業法等の改正の具体認知は、  
 「育児休業を取得した際、手取り額が休業前と同等になる」が最も高く、  
 次いで「対象となる子の範囲拡大など、子の看護等休暇の見直し」が高い。

■あなたは、現在の育児休業制度や短時間勤務に関する新しい取り組みや改正された内容について、以下の項目の中でご存じのものをすべてお選びください。



男性では「育児休業を取得した際、手取り額が休業前と同等になる」の認知度が最も高く、女性では「対象となる子の範囲拡大など、子の看護等休暇の見直し」が最も高い。

■あなたは、現在の育児休業制度や短時間勤務に関する新しい取り組みや改正された内容について、以下の項目の中でご存じのものをすべてお選びください。

